茨 城 の 文 化 財

第 63 集（令和６年度）

茨 城 県 教 育 委 員 会

序

文化財は、わが国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日の世代に伝えられてきた貴重な国民的財産です。豊かな自然と歴史に恵まれた本県も、有形・無形の貴重な文化財や自然の造形を数多く有しています。

こうした文化財は、わが国の歴史、伝統、文化を正しく理解するために欠くことのできないものであり、文化のさらなる向上発展の礎となるものです。そのため、文化財の保存とともに積極的な公開活用を図ることがますます重要となっております。

令和４年４月には、文化財保護法の一部改正により、これまでの有形文化財、有形民俗文化財、記念物と併せ、文化財全般にわたり登録制度が整備され、施行から３年が経過したところです。このような中、県教育委員会では、文化財の効果的な活用を図るとともに、それらを良好なかたちで次の世代に伝えていくため、様々な施策を講じており、今後とも皆様の一層の御理解と御協力をお願いする次第です。

さて、本書では令和６年度に指定された国・県指定文化財及び登録された国登録文化財等について収録するとともに、国・県指定及び国登録等の文化財一覧表を掲載いたしました。

また、令和６年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要、令和５年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要なども収録いたしました。本書が多くの方々に活用され、文化財の保存・活用の一助となれば幸いです。

結びに、本書の作成にあたり御協力をいただきました茨城県文化財保護審議会委員をはじめ、関係市町村文化財主管課並びに文化財の所有者及び保護団体の皆様方に対しまして、深く感謝申し上げます。

令和７年３月 31 日

茨城県教育委員会

教 育 長　　柳 橋　常 喜

例　　　言

1　本書は、文化財保護法の規定に基づき、令和６年度に指定や選定を受けた国指定文化財等３件、登録原簿に登録された登録文化財１件及び茨城県文化財保護条例の規定に基づき、令和６年度に県指定文化財となった１件について、解説を収録したものである。

2　国・県指定文化財等総数は令和７年３月 31 日、市町村別指定文化財数量は令和７年３月１日現在のものである。

3　茨城県文化財保護審議会委員は、次の各氏である。

会　長	小野寺　　淳
副会長	徳　丸　亞　木
委　員	浅　見　龍　介
委　員	伊　藤　紫　織
委　員	金　出　ミチル
委　員	小　森　正　明
委　員	谷　口　陽　子
委　員	千　葉　真由美
委　員	白　田　正　子
委　員	藤　井　英二郎
委　員	藤　川　昌　樹
委　員	古　家　晴　美
委　員	山　田　利　博

4　令和６年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要は、茨城県埋蔵文化財センター（いせきぴあ茨城）運営方針及び令和６年 12 月までの事業実績をもとに編集したものである。

5　国・県等が実施する開発行為に係る埋蔵文化財の取扱い状況は、「ひたちなか地区土地造成事業（水戸陸軍飛行学校及び水戸飛行場跡）の試掘調査」について記したものである。

6　遺跡発掘調査報告は、令和５年度に県内で実施された埋蔵文化財発掘調査の概要を、市町村教育委員会、公益財団法人茨城県教育財団及び調査担当者が作成した埋蔵文化財発掘調査概要調査票に基づき、茨城県教育委員会が集約、編集したものである。

目　　次

序

例　言

1　令和６年度に指定及び選定された国指定文化財等 …………………………………………… 1
（１）国指定重要文化財（考古資料）　茨城県三昧塚古墳出土品（追加指定） …………… 2
（２）国指定史跡　鹿島神宮境内附郡家跡（追加指定） ………………………………………… 3
（３）選定保存技術の選定・保存団体の認定　茅葺・（一社）日本茅葺き文化協会（既選定・追加認定） ……………………………………………………………………………………… 4

2　令和６年度に指定された県指定文化財 ……………………………………………………… 6
茨城県指定有形文化財　考古資料　考第 33 号　十五郎穴横穴群出土品（一括） …… 7

3　令和６年度に登録された国登録有形文化財 ………………………………………………… 13

4　国・県指定文化財等一覧 ………………………………………………………………………… 15
（１）国・県指定文化財等総数 ……………………………………………………………………… 16
（２）国指定文化財等一覧 …………………………………………………………………………… 17
（３）ユネスコ無形文化遺産一覧 …………………………………………………………………… 30
（４）県指定文化財一覧 ……………………………………………………………………………… 31
（５）国登録文化財一覧 ……………………………………………………………………………… 61

5　市町村別指定文化財数 …………………………………………………………………………… 69
令和６年度新規指定（解除）市町村指定文化財一覧 ………………………………………… 73

6　令和６年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要 ……………………………………………… 74

7　国・県等が実施する開発行為に係る埋蔵文化財の取扱い状況 ……………………………… 79

8　令和５年度茨城県遺跡発掘調査報告 …………………………………………………………… 93

１　令和６年度に指定及び選定された国指定文化財等

（１）国指定重要文化財（考古資料）

茨城県三昧塚古墳出土品（いばらきけんさんまいづかこふんしゅつどひん）　一括（いっかつ）（員数変更及び追加指定）

指定日　令和６年８月 27 日

所有者　茨城県

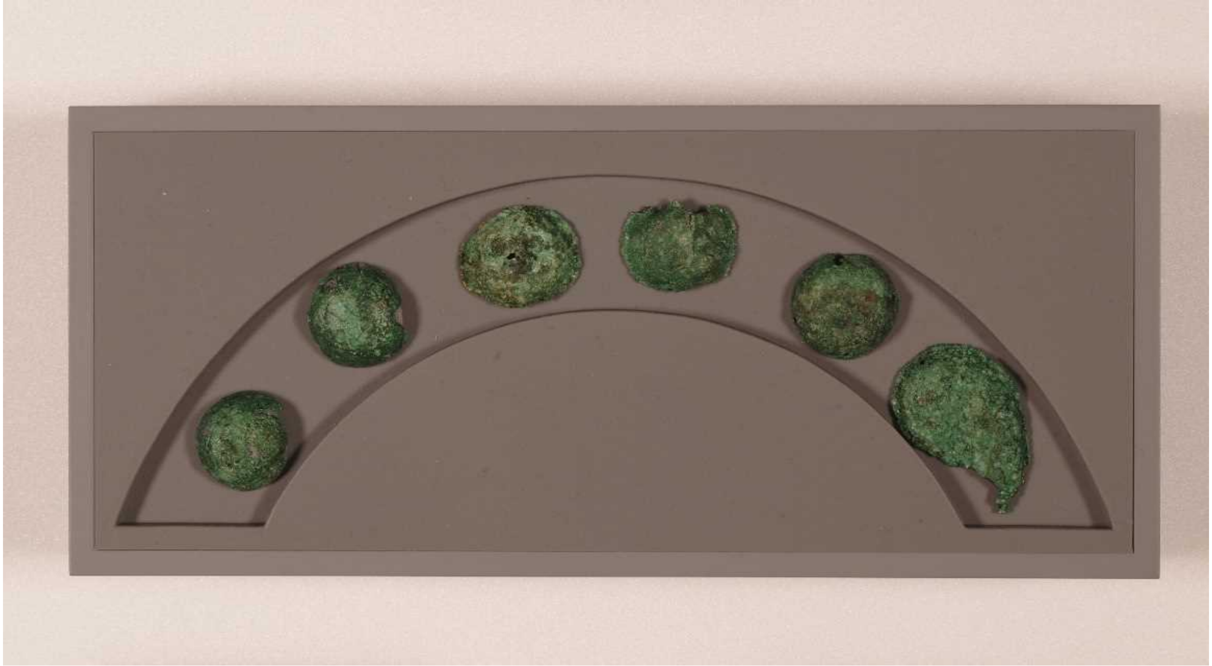
（茨城県立歴史館保管）

（明治大学に一部寄託）

三昧塚古墳は、茨城県行方市沖洲（なめがたしおきす）に所在する墳丘全長 87.3m の前方後円墳で、古墳時代中期末から後期初頭の築造と推定されており、この古墳から出土した多数の副葬品が平成 30 年（2018）に重要文化財に指定された。

その後、令和元年度（2019）より３カ年をかけ、所有者の茨城県を事業主体として、指定品全体を対象とした保存修理事業が実施された。その結果、金銅垂飾付耳飾に伴うとされていた金銅板の細片から銅飾金具２点分の形状が復元されるとともに、附の鉄製品残欠中から鉄鏃４点分の形状が復元された。そのため、これらを本指定に組み入れて員数を変更した。

また、分類・収納が完了し（平箱 20 箱分）、保管状況が整った明治大学が保管する未指定の甲冑小札の残欠、及びおおよその種類を判別しえた茨城県立歴史館が保管する未指定の埴輪残欠９点について、附として追加指定した。



左２つの銅飾金具が追加指定となった

【写真提供　茨城県立歴史館】

（２）国指定史跡

鹿島神宮境内（かしまじんぐうけいだい）　附（つけたり）　郡家跡（ぐうけあと）（追加指定）

指定日　令和７年３月 10 日
所在地　茨城県鹿嶋市大字宮中
　　　　字神野向 110 番８
面　積　244.48 ㎡

鹿島神宮は、武甕槌神（たけみかづちのかみ）を祭神とする、古来より朝廷・藤原氏・武家の崇敬を集めた我が国を代表する神社の一つである。茨城県東端の太平洋を望む鹿島台地上に所在し、律令国家の東国・蝦夷経営の拠点にもなった。『常陸国風土記（ひたちのくにふどき）』によれば、「香島天之大神」は天之大神社・坂戸社・沼尾社の三社からなり、大化５年（649）に海上（うなかみ）国造と那賀（なか）国造の部内を割いて鹿島神郡を置き、天智天皇の代に「神之宮」を造営したとされる。その後も名神大社あるいは常陸国一宮と位置付けられ、中世以降も源頼朝が社領を寄進したのをはじめとして武家の崇敬を集めた。現在の社殿は江戸幕府による寄進である。坂戸・沼尾の二社は神宮の摂社として神宮境内北方に鎮座する。また、『風土記』には、神宮の南に鹿島郡家が置かれ、古くは神宮の北の沼尾池にもとの郡家があったと伝えている。

昭和 51 年（1976）以降継続して行われた発掘調査によって、神宮の南 1.5 キロメートルに位置する神（か）野向（のむかい）遺跡において、８世紀前半から 10 世紀初め頃までの３期に及ぶ官衙政庁・厨家・正倉院・工房等の施設が見つかった。「鹿島郡厨」等の墨書土器も出土しており、『風土記』に見える鹿島郡家跡と考えられる。昭和 61 年以降、現在までに坂戸・沼尾社を含む神宮境内及び鹿島郡家跡が史跡指定されている。

今回、郡家跡の正倉院を囲む大溝跡の周辺一画について条件が整ったことから、追加指定し、保護の万全を図るものである。

（文化庁文化財第二課「新指定の文化財－記念物－」『月刊文化財』令和７年３月号、第一法規より転載）

（３）選定保存技術の選定・保存団体の認定

茅葺（かやぶき）　一般社団法人日本茅葺き文化協会（既選定・保存団体の追加認定）

選定・認定日	令和６年 10 月９日
保存団体	一般社団法人日本茅葺き文化協会
代表者	代表理事　安藤　邦廣 （筑波大学名誉教授）
事務所の所在地	つくば市北条 184

茅葺は、我が国では草葺の一種として古くから建造物の種類と地域を問わず広範囲に使用され、農・山村の民家では、今なお若干ながらそれを見ることができる。しかし、一般には茅場制度の消滅と原野の開発によって良質の茅が得られなくなり、「茅手（かやで）」と呼ばれた葺師も年とともに減少し、現在では兼業として僅かにその技術を伝えているにすぎず、それも老齢化して、一般の需要がない今日では、専業として成り立たないことから後継者を育成することも困難となっている。

茅葺は、古代に行われたと考えられる「元吊り」の工法から次第に改良されて近世には既に現在みられる工法になっていったと思われるが、なお地域的には幾つかの技法の差がみられ、それが茅葺きの地方色として伝統的に残されている。

現在重要文化財として保存されている茅葺の建造物を維持し、後世に伝えるためには茅葺の技術は欠くことができない重要な技術である。

公益社団法人全国寺社等屋根工事技術保存会が保存団体として昭和 55 年（1980）に認定されている。

一般社団法人日本茅葺き文化協会は、建造物保存修理の主たる技術である屋根工事のうち、茅葺に係る文化と技術の継承と振興を図り、もって日本文化と地域社会の発展に資することを目的に組織された団体である。茅葺民家居住者、技能者、研究者、支援自治体等が集まって平成１１年（1999）に設立された全国茅葺き民家保存活用ネットワーク協議会（日本ナショナルトラスト内）を母体とし、発展的に組織替えをして、同 22 年に一般社団法人として発足した。

以来、技能者に加えて一般会員の参加を得て、茅葺に係る研修や、研究者、地域住民との対話を実施してきた。平成 30 年には技能者により組織される部会（茅葺き職人連合）を発足し、この部会を中心に、茅葺に係る技能継承のための研修を継続的に実施している。研修では全国を６ブロックに分割し、茅葺の地域性に配慮して、後進の指導・育成に尽力している。

団体を構成する技能者は、全国の重要文化財建造物保存修理工事に従事するほか、各地に存する重要伝統的建造物群保存地区における茅葺屋根工事にも従事するなど、幅広く文化財建造物の修理に実績をもつ。

以上のように同会は、茅葺技術の保存上適当と認められる事業を行う団体である。

（文化庁文化財第一課「選定保存技術の選定・認定」『月刊文化財』令和６年 11 月号、第一法規より転載）

茅葺技術継承のための研修実施状況

【写真提供　一般社団法人日本茅葺き文化協会】

２　令和６年度に指定された
県指定文化財

（１）茨城県指定有形文化財　考古資料

考第33号

十五郎穴横穴群出土品（一括）

（じゅうごろうあなよこあなぐんしゅつどひん　いっかつ）

指定日　令和６年12月26日
所在地　茨城県ひたちなか市中根3499
　　　　ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
所有者　ひたちなか市

１　概要

十五郎穴横穴群は、ひたちなか市のほぼ中央、那珂川の支流である大川と本郷川に挟まれた標高30mほどの舌状台地縁辺部に位置する。横穴墓は墳丘（盛り土）を持つ古墳とは異なり、台地の斜面や崖などに横穴を掘って造った追葬ができる埋葬施設である。当横穴群は那珂川の河口を眺望できる台地の東端崖面に造られており、造営は古墳時代終末期（７世紀前葉）に始まり、平安時代初期（９世紀前葉）まで使用されている。これらは谷津によって北から指渋支群、館出支群、笠谷支群に分けられており、これまでの調査により274基が確認され、未確認のものを含めると総数は500基を超え、東日本最大規模の横穴墓群であるとされ、令和６年に国史跡に指定された。なお、指渋支群の台地上には７世紀前葉築造の史跡虎塚古墳が、笠谷支群の台地上には笠谷古墳群が所在する。

今回茨城県指定文化財有形文化財として指定する資料は、館出支群Ｉ区第32号墓出土の銅製金具方頭大刀１点、館出支群Ｉ区第35号墓から出土した一括資料266点（大刀１点、刀子５点、鉄鏃19点、不明鉄製品１点、鉄釘181点、土器58点、砥石１点）の合計267点である。第32・35号墓は東西に隣り合った横穴墓である。

館出支群I区第32号墓は、崩落により羨道部と玄門部羨道側が失われているが、逆台形の平面形の玄室にアーチ形天井を伴う横穴である。第35号墓は、ドーム形天井を伴う横穴であり、墓前域、羨道部、玄門部、玄室からなる構造で、床面には入口から奥へ1mほどの部分を掘りくぼめて、奥壁・左右壁前の三方でコの字型になるように屍床をつくりだすという特異な構造である。

２　資料の歴史的価値

館出支群I区第32号墓出土の銅製の方頭金具のつく大刀（第５図：全長推定80㎝）は、玄室の床面から鞘に収められた状態で出土した。反りのない直刀で、縁金物や鐔（つば）、鞘口（さやくち）、金具、足金物、責金具、鞘尻金具がそろっており、それらは銅製である。付属する刀装具は、正倉院御物の黒作大刀に類似しており、全国的に見ても貴重な資料である。

館出支群Ｉ区第35号墓出土の資料は大刀（蕨手刀）・刀子・鉄鏃・鉄釘・土器等266点である。このうち玄室内からは大刀１口、刀子５口、鉄鏃19点、不明鉄製品１点、鉄釘181点、人骨が出土した。玄室内は、覆土の流入が玄室入口で止まったためほぼ、最後の葬送儀礼の状態を保っている（第３図）。大刀（第６図：全長51.8㎝、重さ879ｇ）は刀を持つ部分が植物の蕨に似ていることから名付けられた蕨手刀で、鞘に収められた状態で出土した。残存状態もよく、縁金物や鐔、鞘口金物、足金物、責金具

、鞘尻金具といった刀装具がそろっている。蕨手刀は、東北経営・蝦夷征伐と関連が深いと考えられているもので、出土例は全国で約300点以上あり、陸奥国（現宮城県）が最も多く、出羽・信濃・上野と続く。県内では２例目という希少性もあるが、東北経営・蝦夷征伐に関わる常陸国の地理的・物理的役割を解く遺物でもあり、非常に貴重な資料である。

刀子５口のうちのひとつである金銅製金具付刀子（第９図：全長24.6㎝）は、金銅製の拵（こしらえ）がそろった豪華なものであり、鎺（はばき）、帯執（おびとり）金具、鞘尻（さやじり）金具が金銅製の豪華なもので、一部に木質が残存している。類例が正倉院宝物にみられるだけで出土品としては他に例がなく、その所有者には中央との関わりや中央に貢献をした人物が想定されている。

鉄鏃（第８図）は鏃身が長三角形、五角形のもので19点、その内完形品は２点のみで、全長は12～13㎝である。これらは８～10世紀前半頃に各地で多く見られるものである。

鉄釘は181点あり、これらの鉄釘と残存した木質部の詳細な検討から、玄室内の東側と西側にそれぞれ唐櫃（からびつ）があったと推定された。さらに唐櫃の塗膜片の分析からはこの唐櫃は、針葉樹材の表面に黒色顔料（掃墨（はいずみ））を混和した漆を１層塗布していたものであることが判明した。横穴墓内に櫃の存在を明らかにした類例はなく、全国で唯一の重要な事例である。

羨道部と墓前域からは、土器（須恵器）57個体と砥石1点が三か所にまとまった状態で出土した（第１図）。土器（第２図：須恵器）は常陸国の官窯である水戸市の木葉下（あぼっけ）窯産とみられ、使用痕が認められない未使用品、あるいは使用したとしても数回程度のものがほとんどである。これらは奈良時代（８世紀中後葉）のもので、供膳用の食器と小型壺で構成されている。出土状況から、複数回の儀礼の痕跡ではなく、最後に行われた葬送儀礼、供献儀礼後に片づけられた集積のあとと考えられる。また、玄室内からは平安時代初期（９世紀前葉）の土器（第７図：須恵器）１点が出土しており、この時期が本第35号墓の最後の利用であることが導ける。

３　まとめ

以上のことから、館出支群Ⅰ区第32号墓、第35号墓が最後に利用された時期の埋葬行為にともなう葬送儀礼・追善供養に使用されたと思われる大刀や刀子、鉄釘、土器類などが、まとまって良好な状態で出土した非常に稀な事例として、極めて学術的・歴史的にも価値が高いものである。さらに、館出支群Ⅰ区第32号墓出土の方頭大刀、第35号墓出土の大刀（蕨手刀）や刀子、唐櫃の存在を示唆した鉄釘などは、この地域と中央との関係を考える上でも、また、十五郎横穴墓の被葬者が対東北政策（東北経営・蝦夷征伐）との関わりを裏付ける上でも、重要な意味を持つものである。さらに、これらの一括資料は当該地の歴史的意義を後世に伝えることができる重要なものであり、将来にわたり永く守り伝えていくべきものである。

参考文献

ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社編『十五郎穴横穴墓群　―東日本最大級の横穴墓群の調査―』（ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社文化財調査報告第42集、ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社、2016年10月）

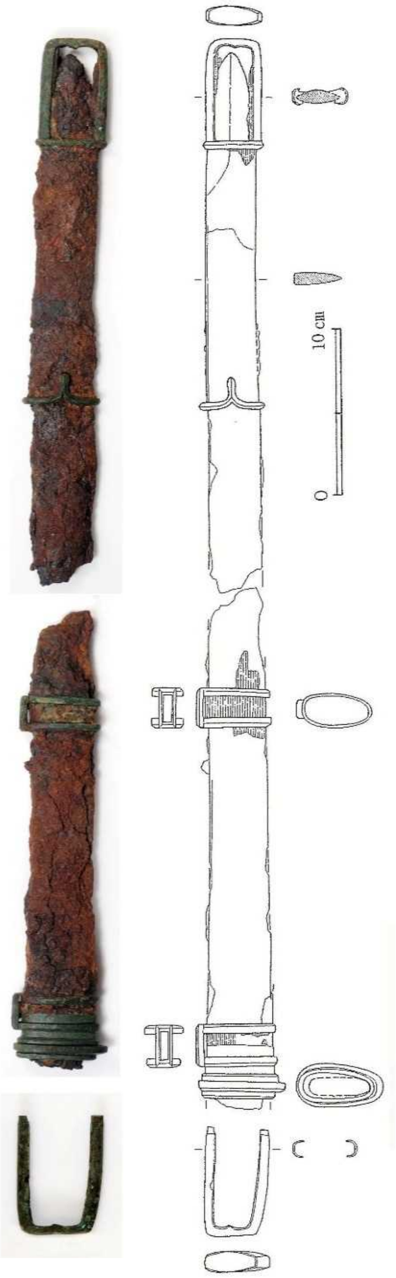
（茨城県文化財保護審議会　谷口 陽子 委員、白田 正子 委員）

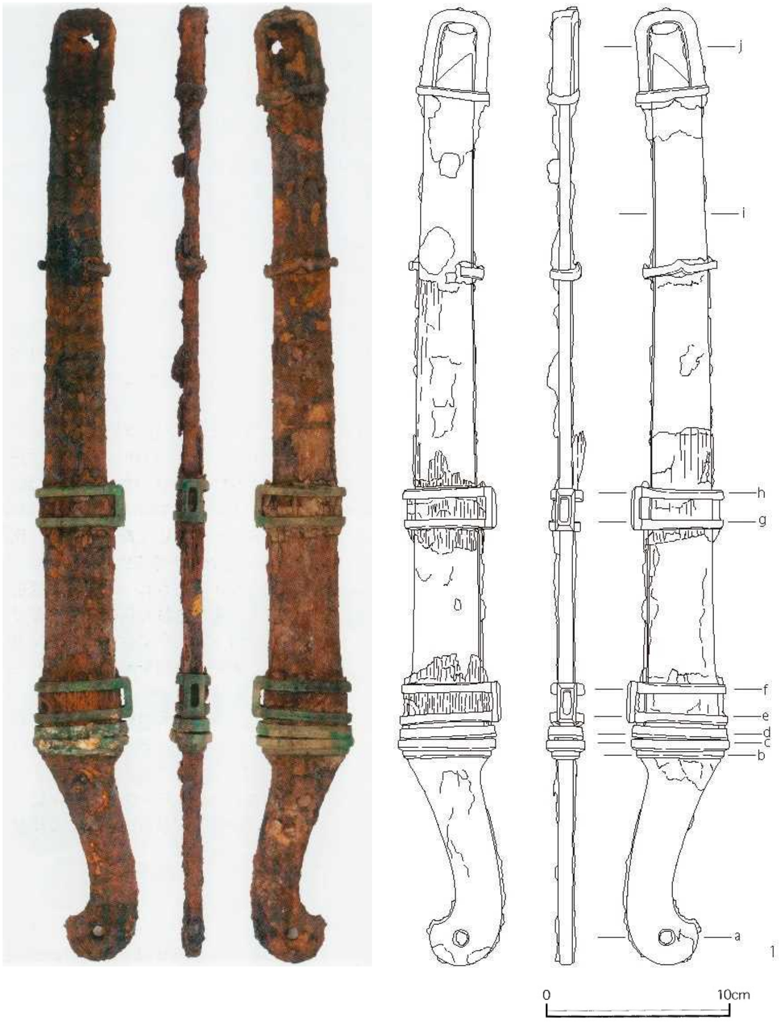
第１図　　館出支群Ｉ区第35号墓羨道部遺物出土状況

第２図　　館出支群Ｉ区第35号羨道部出土土器（須恵器）

第３図　　館出支群Ｉ区第 35 号墓玄室：右上角に大刀、刀子、鉄釘

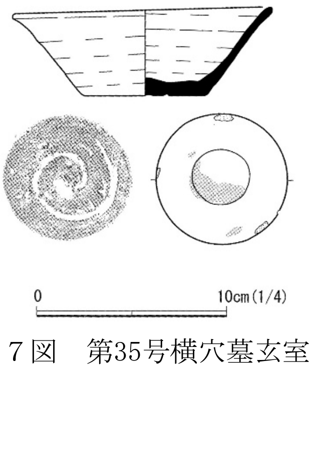
第４図　　館出支群Ｉ区第35号墓玄室内大刀・刀子出土状況



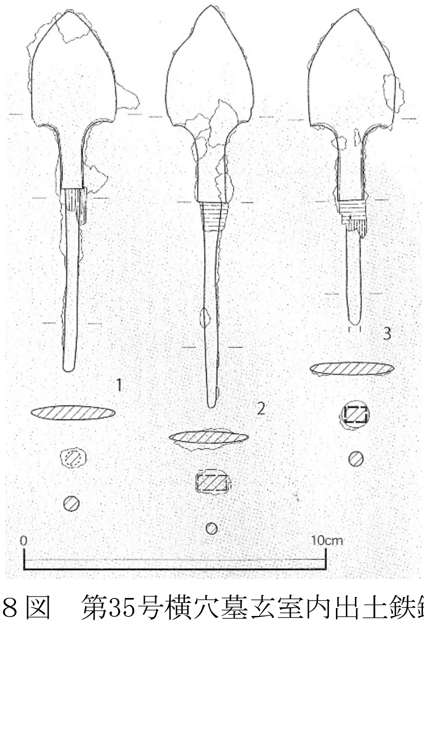


第６図　第35号横穴墓玄室内出土大刀

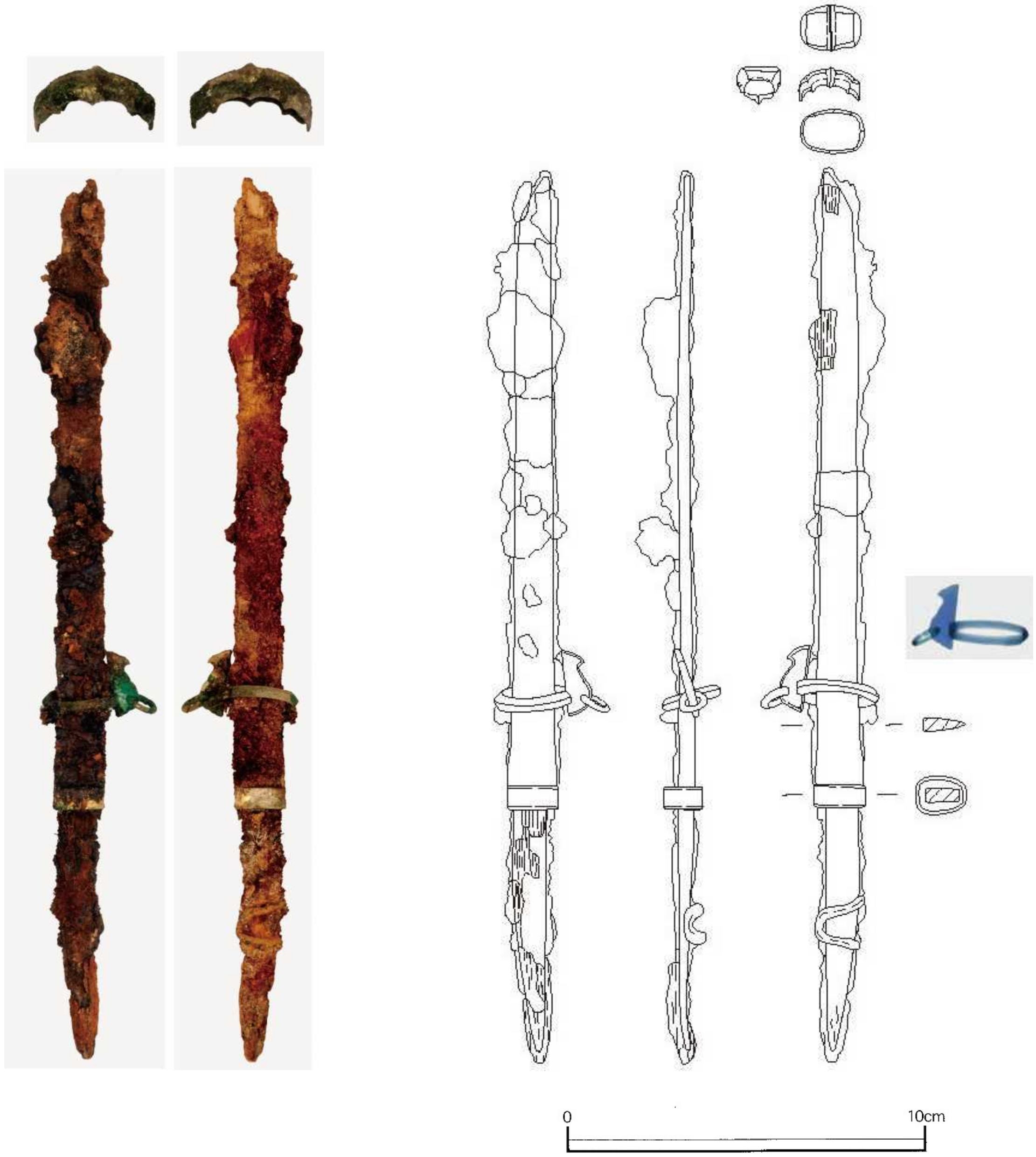
第５図第 32 号横穴墓出土大刀



第７図　第35号横穴墓玄室内出土土器



第８図　第35号横穴墓玄室内出土鉄鏃



第９図　第 35 号横穴墓玄室内出土金銅製金具付刀子

【写真・図版提供　ひたちなか市教育委員会】

３　令和６年度に登録された
国登録有形文化財

◇令和７年３月 13 日登録

<table>
<tr><th>登録番号</th><th>名称</th><th>建築年代</th><th>所在地</th><th>登録基準</th></tr>
<tr><td rowspan="2">08-0320</td><td rowspan="2">旧紫山塾主屋</td><td>昭和３年／
昭和 51 年</td><td>土浦市
真鍋５丁目 2132</td><td>1　国土の歴史的景観に寄与しているもの</td></tr>
<tr><td colspan="3">土浦市真鍋の八坂神社東隣に位置する水戸学の旧私塾兼住宅主屋。敷地中央に建ち２階建て寄棟造。
東面に入母屋造の玄関を突出し、全体矩(かね)折(おり)（直角）の平面とした、近代和風の住宅。</td></tr>
</table>

【写真提供　土浦市教育委員会】

４　国・県指定文化財等一覧

（１）国・県指定文化財等総数（令和７年３月31日現在）

国･県指定文化財

区分	種　類	国指定					県指定	合　計
		指定文化財		国宝	特別	計		
有形文化財	建造物	重要文化財	３３			３３	７７	１１０
	絵　画		7			7	８３	９０
	彫　刻		１５			１５	１６４	１７９
	工芸品		１５	2		１７	１２８	１４５
	書　跡						３４	３４
	古文書						１０	１０
	考古資料		6			6	２９	３５
	歴史資料		4			4	１０	１４
無形文化財		重要無形文化財	1			1	4	5
民俗文化財	有形民俗文化財	重要有形民俗文化財	1			1	6	7
	無形民俗文化財	重要無形民俗文化財	3			3	３３	３６
記念物	遺　跡	史　跡	３１		3	３４	５６	９０
	名勝地	名　勝	4			4	5	9
	動物・植物・地質鉱物	天然記念物	8			8	５８	６６
合　計			１２８	2	3	１３３	６９７	８３０

国選定重要伝統的建造物群保存地区

名　称	所在地
桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市

選定保存技術の選定･保存団体の認定

選定保存技術	2	茅採取、茅葺
保存団体	1	日本茅葺き文化協会

記録作成等の措置を講ずべき無形文化
無形の民俗文化財総数（国選択）

無形文化財	工芸技術	3
無形の民俗文化財	風俗慣習	１０
	民俗芸能	9
	民俗技術	1
合　計	２３	

ユネスコ無形文化遺産

名　称	所在地
結城紬	結城市
山・鉾・屋台行事	日立市
伝統建築工匠の技―木造建造物を受け継ぐための伝統技術―	つくば市

国登録有形文化財･国登録有形民俗文化財･国登録記念物

種　別		数　量	備　考
有形文化財	建築物	２５３	家屋・公共建築物等
	土木構造物	１３	水路・水槽等
	その他工作物	２９	門・煙突・橋梁・擁壁等
	小　計	２９５	
有形民俗文化財		2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具ほか
記念物		3	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦（※） 岡山氏庭園（養浩園）

（※）「岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦」の登録基準は、遺跡関係と名勝地関係の両方。

（２）国指定文化財等一覧

（令和７年３月 31 日現在）

ア　国　宝

No.	種類	名　称・数　量	所　有　者	指定年月日	時代等
1	工芸品	直刀（ちょくとう）　黒漆平文大刀拵（くろうるしひょうもんたちこしらえ） （附 刀唐櫃（かたなからびつ）　１合）　１口 （茨城県立歴史館寄託）	鹿嶋市宮中2306-１　鹿島神宮	昭 30. 6. 22	奈良～平安時代
			刀身長さ 224.0cm、反り 0.7cm。普通の大刀の３振分もある長大な大刀。無銘。「ふつのみたまのつるぎ」と呼ばれる神宝。		
2	工芸品	短刀　銘「筑州住（ちくしゅうのじゅう）　行弘（ゆきひろ）　観応元年八月日」　１口 （土浦市立博物館保管）	土浦市大和町９－１　土浦市	昭 32. 2. 19	南北朝時代
			師である左文字（さもじ）の作風に近似し、その作風樹立を知る上で観応元年（1350）の年紀は貴重。土浦藩土屋（つちや）家旧蔵品。		

イ　国指定重要文化財

【建造物】

（表中の凡例）　解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、　自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名　称　・　数　量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
1	鹿島神宮本殿・拝殿・幣殿・石の間　４棟 （附棟札２枚）	鹿嶋市宮中2306-１　鹿島神宮	明 34. 3. 27	江戸初期
	祭神は武甕槌大神。常陸国の一の宮。元和５年（1619）徳川秀忠の造営。　屋根・塗装修理（平 23～25）			
2	鹿島神宮摂社奥宮本殿　１棟（附棟札１枚）	鹿嶋市宮中2306-１　鹿島神宮	明 34. 3. 27	慶長 10 年(1605)
	旧本殿を元和５年（1619）に移築［棟札］。三間社流造、檜皮葺。			
3	佐竹寺本堂　１棟	常陸太田市天神林町 2404　佐竹寺	明 39. 4. 14	室町後期
	天文 15 年（1546）造営。寄棟造、茅葺。江戸時代後期に改造。			
4	大宝八幡（だいほうはちまん）神社本殿　１棟	下妻市大宝 667　大宝八幡	明 39. 4. 14	天正５年(1577)［棟札］
	多賀谷尊経（たがやたかつね）の造営。三間社流造。　解（明 42）・屋根現状変更（昭 40）			
5	小山寺（おやまじ）三重塔　１棟	桜川市富谷 2190　小山寺	明 39. 4. 14	寛正６年（1465）
	多賀谷朝経（たがやともつね）が願主。総高 21.5m。関東以北では最古に属する和様建築。とち葺。　防災（昭 57）・解（平２）			
6	楞厳寺（りょうごんじ）山門　１棟	笠間市片庭 761-４　楞厳寺	大６．４．５	室町中期［建築手法］
	四脚門。切妻造、茅葺。禅宗様式。　解（大９）・屋根修理（平 15）			
7	西蓮寺仁王門　１棟	行方市西蓮寺 504　西蓮寺	大６．４．５	天文 12 年(1543)［柱盤墨書］
	安政９年移築。三間一戸楼門（二階は寛政頃撤去）。寄棟造。　解（昭 34）			
8	西蓮寺相輪橖（そうりんとう）　１棟　（附棟札１枚）	行方市西蓮寺 504　西蓮寺	大６．８．13	弘安 10 年(1287)
	元寇の弘安の役を記念して建立。錫杖のような形に特色。　解（明 36・昭 51・平 17）			
9	八幡宮本殿　１棟	水戸市八幡町８-54　八幡宮	昭 29. 9. 17	慶長３年（1598）
	和様に禅宗様を混用し地方色濃厚。入母屋造、とち葺（平７～11 解体時に柿葺から変更）。　解（平７～11）			

No.	名称・数量	所在地・所有者	指定年月日	建築年代
10	旧弘道館（正庁・至善堂・正門附塀）　３棟	水戸市三の丸１－６　（管）茨城県	昭 39．5．26	天保 12 年（1841）
	正庁・至善堂とも書院造建築の正統をひく、大規模な藩校遺構。　正庁自・半解（昭 37）			
11	薬王院本堂　１棟（附厨子１基、附棟札２枚）	水戸市元吉田町 682 薬王院	昭 41．6．11	享禄２年（1529）［蟇股墨書］
	大型の密教系七間堂。入母屋造、茅葺形銅板葺。　解（昭 43～45）			
12	鹿島神宮楼門　１棟（附旧扉十字柄２組）	鹿嶋市宮中 2306－１　鹿島神宮	昭 41．6．11	寛永 11 年（1634）
	三間一戸（二階建）。入母屋造、銅板葺。　解（昭 16）・塗（昭 49・昭 62～平元・平４）・部（平６）			
13	坂野家住宅　４棟 （主屋、書院、文庫蔵、表門）	常総市大生郷町 2037　常総市	昭 43．4．25	江戸中～後期
	主屋：豪農住宅。茅葺。　解（平 14～17）・防災設備工事（平 17） 表門及び塀：江戸後期の薬医門。切妻造、茅葺。　書院・文庫蔵：追加指定（令５．９．25）			
14	旧飛田家住宅　１棟	古河市長谷町 38-18　古河市	昭 43．4．25	江戸中期
	旧金砂郷町の飛田家住宅主屋を古河総合公園内に移築復原（昭 50）古い曲屋形式。寄棟造、北面土庇附属、茅葺。			
15	中崎家住宅　１棟	水戸市鯉淵町 2897　個人	昭 43．4．25	元禄元（1688）［土台墨書］
	地侍の系譜をひく農家の直屋。寄棟造、茅葺。　解（昭 49）			
16	椎名家住宅　１棟	かすみがうら市加茂　個人	昭 43．4．25	延宝２年（1674）
	現存する東日本最古級の民家、直屋形式。寄棟造、茅葺。　解（昭 46）・屋根修理（平 24）			
17	塙家住宅（主屋・土間）　２棟	笠間市安居　個人	昭 51．2．3	江戸後期
	現状は曲屋と同じ外観だが当初は主屋と釜屋が別棟。　主屋：寄棟造、茅葺。半解（昭 56）			
18	山本家住宅　１棟	神栖市奥野谷　個人	昭 51．2．3	江戸中期
	網元（あみもと）名主の家。曲屋形式。寄棟造、茅葺。　解（平５）・部（平 24）			
19	平井家住宅　１棟	稲敷市柴崎　個人	昭 51．2．3	元禄頃［伝承］
	17 世紀末の民家建築。せがい造りの軒や二重梁の小屋組に特色。茅葺。　解（平 11～14）			
20	大塚家住宅　１棟	つくば市栗原　個人	昭 51．2．3	江戸中期
	平面構成が整形四間取りなど、新しい民家形式への移行段階。寄棟造、茅葺。　屋根葺替（平２）			
21	旧茨城県立太田中学校講堂　１棟	常陸太田市栄町 58　茨城県	昭 51．2．3	明治 37 年［学校沿革誌］
	旧制中学校の講堂、駒杵勤治の設計。木造。建築面積 296.7 ㎡。一階建、桟瓦葺。南面玄関ポーチ、東・西面出入口庇付。各鉄板葺。			
22	旧茨城県立土浦中学校本館　１棟 （附　棟札１枚）	土浦市真鍋４－４－２　茨城県	昭 51．2．3	明治 37 年（1904） ［棟札］
	本格的洋風学校建築の一部。木造。建築面積 987.9 ㎡。一階建、天然スレート葺。駒杵勤治の設計。 屋根葺替（昭 42 カラーアスベストコロニアル葺・平 29 天然スレート葺）・現状変更（平 29 フィニアル復原等）			
23	鹿島神宮仮殿　１棟	鹿嶋市宮中 2306－１　鹿島神宮	昭 51．5．20	元和５年（1619）［方立墨書］
	元和造営時の社殿の一つ。本殿の造営に際して神霊を仮安置するための建物。入母屋造、檜皮葺。　解（平９）			
24	竜禅寺三仏堂　１棟	取手市米ノ井 467　竜禅寺	昭 51．5．20	永禄 12 年（1569）以前［納札］
	和様に禅宗様が混じる。向拝部分後補。寄棟造、茅葺。　半解（昭 61）・茅屋根修理（平 18）			

<table>
<tr><th>No.</th><th>名　称・数　量</th><th>所在地・所有者</th><th>指定年月日</th><th>建築年代</th></tr>
<tr><td rowspan="2">25</td><td>善光寺楼門　1棟</td><td>石岡市太田 940-1　善光寺</td><td>昭 58. 12. 26</td><td>室町後期</td></tr>
<tr><td colspan="4">小田氏の創建。三間一戸。寄棟造、茅葺。
解・防災設備工事（平７）。環境整備（止水壁工事 平14）。葺替（令２）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">26</td><td>笠間稲荷神社本殿　1棟（附 棟札１枚）</td><td>笠間市笠間 39　笠間稲荷神社</td><td>昭 63. 1. 13</td><td>万延元年(1860)［棟札］</td></tr>
<tr><td colspan="4">本殿及び旧拝殿よりなる。社殿全体を覆う豊かな彫り物（江戸末期流行の立川流大工の技）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">27</td><td>佛性寺本堂　1棟（附 旧露盤１個）</td><td>水戸市栗崎町 1984　佛性寺</td><td>昭 63. 1. 13</td><td>天正 13 年(1585)［隅木墨書］</td></tr>
<tr><td colspan="4">側柱・入側柱とも円柱８本を立てた八角円堂。一重、茅葺。　現状変更（平 26 瓦葺から茅葺に戻す）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">28</td><td>横利根閘門　1構</td><td>稲敷市西代地先　国土交通省</td><td>平 12. 5. 25</td><td>大正 10 年(1921)</td></tr>
<tr><td colspan="4">横利根川と利根川の合流点近くにある煉瓦造複閘式閘門。土木技術史上、煉瓦造閘門の一つの到達点を示す。利根川改修工事における代表的土木構造物</td></tr>
<tr><td rowspan="2">29</td><td>来迎院多宝塔　1基</td><td>龍ケ崎市馴馬町　来迎院</td><td>平 18. 12. 19</td><td>弘治２年(1556)［宝珠銘］</td></tr>
<tr><td colspan="4">三間多宝塔。柿葺。細部に禅宗様。室町期の北関東における寺院建築の特徴を示す。　解（平 10～12）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">30</td><td>シャトーカミヤ旧醸造場施設　3棟
事務室、醗酵室、貯蔵庫</td><td>牛久市中央３-20-４
オエノンホールディングス株式会社</td><td>平 20. 6. 9</td><td>明治 36 年(1903)</td></tr>
<tr><td colspan="4">明治中期の本格的な煉瓦造ワイン醸造所の主要部がほぼ完存しており、高い歴史的価値がある。
災害復旧（平 23～27）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">31</td><td>石岡第一発電所施設　3所、３基、３棟
取水堰堤、沈砂池、第一号水路橋、第二号水路橋、水槽余水路、調圧水槽、本館発電機室、本館旧変圧器室、本館変電室</td><td>高萩市大字横川
及び北茨城市中郷町石岡
東京発電株式会社</td><td>平 20. 12. 2
（水槽解除
平 23. 10. 25）</td><td>明治 44 年（1911）
本館変電室
大正５年（1916）
取水堰堤、沈砂池
大正 12 年(1923)</td></tr>
<tr><td colspan="4">施設を構成する本館。橋梁等の類型を異にする構造物全般にわたり鉄筋コンクリート技術を用いたわが国で最初の発電所施設であり、中でも本館はわが国に現存する最古級の鉄筋コンクリート造建築物として貴重である。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">32</td><td>内外大神宮内宮・外宮・御遷殿　3棟
（附 内宮御門　１棟、　外宮御門　１棟）</td><td>筑西市小栗　内外大神宮</td><td>平 21. 12. 8</td><td>内宮・外宮：延宝７年(1679)
御遷殿：天正２年（1574）</td></tr>
<tr><td colspan="4">両本殿は、本格的な神明造三間社本殿で、内宮、外宮の本殿二棟を並立させる社殿形式の古例として重要である。
解（平７～８）・上屋設置（平 12）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">33</td><td>旧矢中家住宅　本館､別館　2棟</td><td>つくば市北条　個人</td><td>令５. 9. 25</td><td>昭和 13～24 年(1938～49)</td></tr>
<tr><td colspan="4">近代的建築材料を併用した木造建築で、陸屋根など和洋折衷の意匠や技術が多用される優れた近代和風住宅。日本の気候風土を考慮した実験的な住宅として、学術的な意義も認められる。</td></tr>
</table>

【絵画】

<table>
<tr><th>No.</th><th>名　称・数　量</th><th>所　有　者</th><th>指定年月日</th><th>制作時代</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">紙本著色　拾遺古徳伝　9巻
（東京国立博物館寄託）</td><td>那珂市瓜連 1221　常福寺</td><td>明 36. 4. 15</td><td>正安３年（1301）</td></tr>
<tr><td colspan="3">親鸞の遺弟覚如が常陸門徒のために起稿した宗祖親鸞の拾遺。</td></tr>
</table>

No.	名　称・数　量	所　有　者	指定年月日	制作時代
2	紙本著色　聖徳太子絵伝　1巻	那珂市本米崎 2270　上宮寺	大４．３．26	鎌倉末期（推定）
	（茨城県立歴史館寄託）	顕如から賜ったと伝える。詞書１段・絵 14 段。大和絵の伝統。		
3	絹本著色　法然上人像　1幅	那珂市瓜連 1221　常福寺	大５．３．24	鎌倉後半
	（東京国立博物館寄託）	法然が曲ろく（僧が用いる椅子）上に座す形式は珍しい。		
4	絹本著色　十六羅漢像　16 幅	龍ケ崎市若柴町 866　金竜寺	大６．４．５	鎌倉末期
	（茨城県立歴史館寄託）	道元持ち帰りと伝わるが、宋代李竜眠様を学んだわが国の作か。		
5	紙本著色　拾遺古徳伝（残闕）　1巻	鉾田市鳥栖 1013　無量寿寺	大６．４．５	正安３年（1301）
		覚如によって撰述された拾遺古徳伝の一つ。慶長 13 年（1608）火災に遭遇。		
6	絹本著色　高峰（こうほう）和尚像　1幅	土浦市高岡 1890　法雲寺	昭 24．２．18	室町時代
	庚寅絶岸可湘の讃及甲午王剛中の賛がある 絹本著色　復庵（ふくあん）和尚像自賛　1幅 附絹本著色　中峰（ちゅうほう）和尚像　1幅 （土浦市立博物館寄託）	頂相（ちんぞう）（肖像画）。法雲寺の開基は中峯。弟子の復庵が道場を建立。高峰は 13 世紀中国の人。小田治久が後光厳天皇の命により七堂伽藍を創建する。		
7	絹本著色　聖徳太子絵伝　4幅	坂東市みむら 1793　妙安寺	昭 43．４．25	鎌倉末期
	（東京国立博物館寄託）	太子の事跡場面を自由に配置した掛幅形式の大和絵系譜の絵伝。		

【彫刻】

No.	名　称・数　量	所　有　者	指定年月日	時　代
1	木造　薬師如来及両脇侍像　3軀	城里町石塚 1423　薬師寺	明 44．８．９	鎌倉初期
	（附 銅造胎内仏　1軀）	寄木造、漆箔。中尊坐像高 137.8cm、日光 170.8cm、月光 171.2cm。		
2	木造　浮彫（うきぼり）如意輪観音像　1面	城里町上入野 3912　小松寺	明 44．８．９	平安時代か唐代
		木造・一部彩色。共木で浮き彫り精巧。縦 8.5cm、横 7.3cm。		
3	木造　薬師如来坐像　1軀	常陸太田市下利員 957 西光寺（管理団体 常陸太田市）	明 44．８．９	平安末期 （平17～18 修理）
		寄木造、漆箔。当初の光背、九重蓮華座あり。定朝様。像高 143.7cm。		
4	木造 観世音菩薩立像（寺伝延命観音像） 1軀（附 前立尊　1軀）	桜川市本木１　楽法寺	明 44．８．９	平安前期
		一木造、彩色剥落、翻波式衣文。前立像は同形八臂像で鎌倉時代。		
5	木造　薬師如来坐像　1軀	笠間市来栖 2696　岩谷寺	大３．４．17	鎌倉初期
		寄木造、漆箔、等身坐像。光背当初。台座鎌倉中期。定朝様。像高 84.8cm。		
6	木造　薬師如来立像　1軀	笠間市来栖 2696　岩谷寺	大３．４．17	鎌倉中期
	建長五年七月藤原時朝ノ銘アリ	寄木造、漆箔、玉眼、像高 185cm。像は大ぶり螺髪を旋毛形に彫出。		
7	木造　聖徳太子立像　1軀	水戸市酒門町 2056　善重寺	大４．８．10	鎌倉末期
	（太子堂安置）	上質顔料による盛り上げ彩色。十六歳孝養太子像。像高 132.5cm。		
8	木造　阿弥陀如来坐像　1軀	茨城町鳥羽田 656　円福寺	大４．８．10	鎌倉初期
	胎内ニ応長二年四月十五日修理ノ銘アリ	寄木造、漆箔、定朝様。胎内に応長２年（1312）の修理銘。像高 84.3cm。		
9	木造　不動明王及二童子（にどうじ）立像　3軀	つくばみらい市板橋 2370　不動院	大４．８．10	平安末期
		寄木造、古色。３尊とも衣文浅く面相も誇張なく温雅。像高 100cm。		

No.	名　称・数　量	所　有　者	指定年月日	時　代
10	木造　釈迦如来立像　1軀	鉾田市大蔵113　福泉寺	大５.８.17	鎌倉末期
		寄木造、素地。螺髪を縄状に巻く。平行線状の衣文。像高165.5cm。		
11	木造　薬師如来坐像　1軀	土浦市下高津２-10-22　常福寺	大９.８.16	平安末期
		寄木造、漆箔。量感のある体部などに特色。像高121cm。		
12	木造　千手観音立像　1軀 背面ニ建長四年七月藤原時朝ノ銘アリ	笠間市片庭775　楞厳寺	大９.８.16	鎌倉中期
		寄木造、漆箔、玉眼。鎌倉地方様式の好例。像高193.9cm。		
13	木造　弥勒仏立像　1軀 像内に宝治元年四月、藤原時朝等の銘がある	笠間市石寺429　弥勒教会	大９.８.16	鎌倉中期
		寄木造、漆箔、玉眼。運慶開始の様式に宋風を加味、像高175.2cm。		
14	木造　観音菩薩立像　1軀 （寺伝延命観音像）（観音堂安置） 像内に貞治二年の修理銘がある	筑西市中舘522　観音寺	大11.４.13	鎌倉末期
		寄木造古色彫眼。延命観音として知られる宋風の六臂像。 像高102.2cm。　名称変更（昭39.5.26）		
15	鉄造　阿弥陀如来立像 西念、良覚作　1軀 背面に弘長四年四月、大大工権守入道西念、大仏師日向房良覚等の陽鋳銘あり	常陸太田市中染町23 中染町（管理団体 常陸太田市）	平26.８.21	鎌倉時代
		像高 164cm。大きさや鋳上がりの良好さから鉄仏の代表作。原型の像が残り、当時の鋳造技術を知る上でも貴重。		

【工芸品】

No.	名　称・数　量	所　有　者	指定年月日	時　代
1	太刀（銘則包（のりかね）作・附 糸巻太刀拵（いとまきたちごしらえ））　1口 （茨城県立歴史館寄託）	水戸市宮町２-５-13　東照宮	明44.４.17	鎌倉中期
		長さ76.6cm、反り3.0cm強。福岡一文字（いちもんじ）派名工の作。		
2	銅鐘　1口 元徳庚午十月ノ銘アリ（附 鐘銘拓本１巻）	潮来市潮来428　長勝寺	明44.８.９	元徳２年（1330）
		銘文刻字の勝れた名鐘。大檀那北条高時。大施主は千葉氏と記載。		
3	太刀 銘吉宗（附 糸巻太刀拵）　1口 （東京国立博物館寄託）	つくば市筑波１　筑波山神社	大７.４.８	鎌倉中期
		長さ71.2cm、反り2.3cm。作者は福岡一文字派の名工。		
4	太刀　銘備州長船家助応永廿一年二月日 1口	つくばみらい市南太田　個人	大９.４.15	室町時代
		長さ73.6cm、反り3.2cm。応永21年（1414）の作。		
5	銅鐘　1口 建永年中筑後入道尊念ノ銘アリ	土浦市大手町４-16　等覚寺	大９.８.16	鎌倉初期
		八田知家が建永年間につくらせた梵鐘。鐘の銘文では本県最古。		
6	銅鐘　1口 建治元年八月大工丹治久友等ノ銘アリ	土浦市宍塚1461　般若寺	大９.８.16	建治元年(1275)
		有名な鋳物師丹治久友作。鎌倉時代の典型的な鐘の形をもつ。		
7	金銅板両界曼荼羅　2面 建久五季六月十三日筑後国清楽寺ノ銘アリ （東京国立博物館寄託）	利根町布川3004　徳満寺	昭11.５.６	建久５年（1194）
		押し出し、毛彫りが施された金銅薄板の両界曼荼羅。　修理（平15）		
8	太刀　銘「備州長船住景光」　1口	つくば市小野川　個人	昭13.７.４	鎌倉時代
		長さ２尺４寸（約72cm）、反り８分（約2.4cm）。		

No.	名　称　・　数　量	所　有　者	指定年月日	時　代
9	太刀　銘「守家(もりいえ)造」　1口	土浦市大和町９－１　土浦市	昭 25．８．29	鎌倉中期
	（土浦市立博物館保管）	華やかな乱れ刃を焼く畠田一派の名匠。土浦藩土屋家旧蔵品。		
10	太刀　銘「信房(のぶふさ)作」　1口	土浦市大和町９－１　土浦市	昭 25．８．29	鎌倉初期
	（土浦市立博物館保管）	古備前と古一文字(こいちもんじ)にみられる信房の作品。土浦藩土屋家旧蔵品。		
11	太刀　銘「恒次(つねつぐ)」　1口	土浦市大和町９－１　土浦市	昭 25．８．29	鎌倉初期
	（土浦市立博物館保管）	古青江派の代表鍛冶で同派中屈指の優品。土浦藩土屋家旧蔵品。		
12	短刀　銘「国光(くにみつ)」　1口	土浦市大和町９－１　土浦市	昭 28．３．31	鎌倉後期
	（土浦市立博物館保管）	短刀の名手、新藤五国光の作品。土浦藩土屋家旧蔵品。		
13	網代笈(あじろおい)　1背	桜川市西小塙 1677　月山寺	昭 32．２．19	室町時代
		箱形の笈で銅製鍍金の観音開き扉あり。背・側面に竹製網代。		
14	梅竹蒔絵鞍(まきえくら)（附　四手蒔絵居木１双）　1背	鹿嶋市宮中 2306－１　鹿島神宮	昭 34．６．27	鎌倉末頃か
	（茨城県立歴史館寄託）	現在知られる蒔絵の和鞍の中では最も古い。　（追加　昭 51.6.5）		
15	朱漆(しゅうるし)足付盥(あしたらい)　4口	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	平３．６．21	室町時代
	六蔵寺二対内、細工根来寺重宗、本願法印恵範の朱漆銘がある	三足付盥で衆僧が罪を懺悔するために行う布薩盥に浄める盥。		

【考古資料】

No.	名　称　・　数　量	所　有　者	指定年月日	時　代
1	銅印　印文「静神宮印」　1顆 （附 印筥１合　寛文丁未、源光圀在銘） （茨城県那珂郡静村出土）	那珂市静９　静神社	昭 29．３．20	平安時代
		印面は方形で「静神宮印」の文字を刻む。印筥は印を納めるもの。		
2	埴輪男子立像　1軀 （群馬県藤岡市本郷出土） （茨城県立歴史館寄託）	石岡市高浜　個人	昭 34．12．18	古墳後期
		全高 139.9 ㎝。つばの広い帽子をかぶった男子像。		
3	茨城県武者塚古墳出土品　一括 （上高津貝塚ふるさと歴史の広場保管）	土浦市大和町９－１　土浦市	平 26．８．21	７世紀
		太刀や銀の帯状金具など特異な武器及び装身具 96 点で構成。みずら状の頭髪や経錦を含む（附指定）。古墳時代終末の葬送儀礼や服飾を復元する上で学術的価値が高い。		
	茨城県泉坂下遺跡出土品　一括	常陸大宮市中富町 1087-14　常陸大宮市	平 29．９．15	弥生時代
		再葬墓群からの出土遺物が主体。人面付壺形土器１点、壺形土器 53 点、甕形土器残欠２点、滑石玉５点、総数 61 点からなる。東日本における弥生時代特有の再葬墓の在り方を理解する上で良好な資料群。		
5	茨城県三昧塚古墳出土品　一括 （茨城県立歴史館保管） （明治大学に一部寄託）	水戸市笠原町 978－６　茨城県	平 30．10．31 令６．８．21(追)	古墳時代
		霞ケ浦に面した沖積低地に築かれた前方後円墳からの出土品一括。金銅製の装飾品や、銅鏡、鉄製の武器・武具、金銅製の馬具など。中でも馬形の立飾りが付く金銅馬形飾付透彫冠は、他に類例がない。東国における首長層の葬送や社会実態を考える上で、学術的価値が高い。		

No.	名　称・数　量	所　有　者	指定年月日	時　代
6	茨城県風返稲荷山古墳出土品　一括 （かすみがうら市歴史博物館保管）	かすみがうら市坂 1029－1 かすみがうら市	令５．６．27	古墳時代後期末
		霞ケ浦沿岸に築かれた前方後円墳からの出土品一括。銅鋺や金・銀で装飾された武器や馬具など。最末期の前方後円墳における副葬品の組み合わせを示す好例で、この時代における金工品の種類や製作技術、変遷をみるうえでも重要。		

【歴史資料】

No.	名　称・数　量	所　有　者	指定年月日	時　代
1	鷹見泉石関係資料　3,153 点 文書・記録類　686 点 絵図・地図類　768 点 書籍類　466 点 書状類　912 点 絵画・器物類　321 点 （古河歴史博物館保管）	古河市長谷町 38-18　古河市	平 16．６．８ （員数変更： 平 24．９．６）	江戸時代
		下総国古河藩家老鷹見泉石（1785～1858）の洋学、地理学をはじめとする科学技術などに関する幅広い学問の事跡と譜代大名家の家老としての情報収集のあり方を示す資料群。　保存修理（平 17～）		
2	一橋徳川家関係資料　4,715 点 文書・記録類　4,017 点 書画・典籍類　224 点 器物類　460 点 写真　14 点 （茨城県立歴史館保管）	水戸市笠原町 978－６　茨城県	令２．９．30	江戸時代
		各分野の資料が質量ともにまとまって伝存。一橋徳川家の家格、家政、所領経営、または幕政への関与、将軍家や大名家との交際、家の内外における儀礼の実際を窺うことができ、江戸時代の政治史、文化史、古文書学を研究する上で貴重。		
3	長久保赤水関係資料　693 点 地図・絵図類　84 点 文書・記録類　279 点 典籍類　274 点 書画・器物類　56 点 （高萩市歴史民俗資料館保管）	高萩市本町１-100-１　高萩市	令２．９．30	江戸時代
		長久保赤水の子孫にあたる複数の家に伝来した赤水手沢の一括資料。赤水の学問の内容、交友関係、生涯の事績を考える上で最もまとまった資料群で、江戸時代中後期の文化史、地図史等の研究において学術価値が高い。		
4	五馬力誘導電動機〈明治四十三年、久原鉱業所〉　１台 附　設計図面　５枚 （日立オリジンパーク保管）	東京都千代田区丸の内１－６－６ 株式会社日立製作所	令５．６．27	明治時代
		明治 43 年（1910）に久原工場所日立鉱山工作課長小平浪平の指導のもと製造された、日本人により設計製造された現存最古の誘導電動機。本機の構造などを明らかにする設計図面類もともに保存されており、電動機械国産化の礎を築いた機械として、産業技術史上に学術的価値が高い。		

ウ　国指定重要無形文化財

No.	名　　称	所在地	保持団体・保持者	指定年月日
1	結城紬　（平織）	結城市結城 13-２	本場結城紬技術保持会	昭 31．4．24
		真綿から指で紬ぎ出した撚りのない糸をそのまま使用した織物		
		装飾を施さず漆を塗ることだけで仕上げる技法。		

エ　国指定重要有形民俗文化財

No.	名　称　・　数　量	所　有　者	指定年月日
1	日立風流物（ふりゅうもの）（山車）　１基	日立市宮田町　神峰神社（管理団体 日立市）	昭 34．5．6
		高さ 15m、幅３m、長さ８m、重さ５ t。全国的にも著名な山車。 修理（平９～12、平 17）	

オ　国指定重要無形民俗文化財

No.	名　　称	所 在 地 ・ 保 護 団 体	指定年月日
1	綱　火	つくばみらい市　綱火保存連合会	昭 51．5．4
		空中に縦横十文字に張りめぐらした麻綱の上を花火を仕掛けた人形を自在に操りながら演技する。小張松下流と高岡流がある。	
2	日立風流物	日立市宮田町　日立郷土芸能保存会	昭 52．5．17
		神峰神社の大祭のとき、４つの町内から１台ずつ出す山車において、操り人形芝居を繰り広げる。	
3	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町　常陸大津の御船祭保存会	平 29．3．3
		豊漁や海上安全を祈願して、巨大な木造船に神輿を載せて陸上を曳行する。	

カ　国指定特別史跡及び史跡

No.	種類	名　称　・　数　量	所 在 地	所有者	指定年月日
1	特別史跡	旧弘道館	水戸市三の丸１-６	鹿島神社ほか	大 11．3．8（史） 昭 27．3．29（特史）
			管理団体（大 11．11．７）茨城県		
			９代藩主斉昭が天保 12 年（1841）に創立した水戸藩の藩校。		
2	特別史跡	常陸国分寺跡	石岡市府中５-１ほか	国分寺	大 11．10．12（史） 昭 27．3．29（特史） 令４．11．10（追）
			管理団体（大 12．12．13）石岡市		
			奈良時代の常陸国の国分寺（僧寺）跡。金堂・講堂の基壇や礎石など残る。		
3	特別史跡	常陸国分尼寺跡	石岡市若松３-１	石岡市	大 11．10．12（史） 昭 27．3．29（特史） 昭 47．6．28（追）
			管理団体（大 12．12．13）石岡市		
			国分寺の北西 500mにある尼寺（法華滅罪之寺）跡。		
4	史跡	舟塚山古墳　１基	石岡市北根本 597 ほか	文部科学省ほか	大 10．3．3
			管理団体（大 11．5．23）石岡市		
			県下第一の大型前方後円墳（全長 186m）。５世紀後半（推定）。		

No.	種類	名　称　・　数　量	所 在 地	所有者	指定年月日
5	史跡	常磐公園	水戸市常磐町及び見川町	茨城県ほか	大 11. 3. 8
			管理団体（大 11.11. 7）茨城県		
			天保 13 年（1842）斉昭が開設した偕楽園を中心に桜山、丸山を含む庭園。		
6	史跡	吉田古墳　1基	水戸市元吉田町 345、347	明利酒類株式会社	大 11. 3. 8
			管理団体（大 11.11. 7）水戸市		平 22. 8. 5（追）
			横穴式石室の奥壁に線刻によって武器・武具などが描かれている。		
7	史跡	愛宕山古墳　1基	水戸市愛宕町 2132～2134	愛宕神社ほか	昭 9. 5. 1
			管理団体（昭 9. 7. 25）水戸市		
			那珂川流域中最大の前方後円墳（全長 136.5m）。		
8	史跡	大宝（だいほう）城跡（じょう）	下妻市大宝、筑西市関館・中村新田	八幡神社ほか	昭 9. 5. 1
			管理団体（昭 9. 7. 25）下妻市、筑西市		
			南北朝時代の城。南朝方の拠点（下妻氏の居城）。		
9	史跡	関城跡	筑西市関館 1-99	文部科学省ほか	昭 9. 5. 1
			管理団体（昭 9. 7. 25）筑西市		
			南北朝時代の城。南朝方の拠点（関氏の居城）。		
10	史跡	小田城跡	つくば市小田 2377 ほか	つくば市ほか	昭 10. 6. 7
			管理団体（昭 10. 7. 26）つくば市		
			小田氏の居城。北畠親房が「神皇正統記」を著した地。		
11	史跡	新治廃寺跡附上野原瓦窯跡	筑西市及び桜川市	筑西市ほか	昭 17. 7. 21
			管理団体　筑西市、桜川市		昭 52. 2. 3（追）
			新治郡衙の北の寺院跡、及び寺院の瓦を供給した窯跡。		
12	史跡	佐久良東雄（さくらあずまお）旧宅	石岡市浦須	個人	昭 19. 3. 7
			国学普及に努めた幕末の志士佐久良東雄が 9 歳まで生活した居宅。		
13	史跡	新治郡衙跡	筑西市古郡 180 ほか	筑西市ほか	昭 43. 5. 20
			古代の郡役所跡。多数の建物群が検出された。		
14	史跡	馬渡埴輪（まわたりはにわ）製作遺跡	ひたちなか市馬渡 2881-3 ほか	ひたちなか市	昭 44. 8. 5
			古墳時代後期の埴輪製作遺跡。		昭 60. 8. 12（追）
15	史跡	大串貝塚	水戸市塩崎町 1015-2	水戸市	昭 45. 5. 11
			縄文時代前期。シジミを主体の貝塚が 3 カ所に点在。		
16	史跡	虎塚古墳	ひたちなか市中根 3494-1	ひたちなか市	昭 49. 1. 23
			7 世紀前半の前方後円墳。横穴式石室に本県随一の彩色壁画。		
17	史跡	上高津貝塚	土浦市上高津・中高津・宍塚	土浦市	昭 52. 10. 4
			管理団体（昭 53. 5. 6）土浦市		
			縄文時代中期～晩期。5 カ所の貝層が環状に並ぶシジミ主体の貝塚。		
18	史跡	平沢官衙遺跡	つくば市平沢 353 ほか	つくば市	昭 55. 12. 4
			官衙（役所）跡。規格性をもって多くの掘立柱建物が並ぶ。		
19	史跡	広畑貝塚	稲敷市飯出広畑 635-1 ほか	稲敷市	昭 57. 2. 27
			縄文時代後期～晩期。貝層はハマグリなどの貝塚で製塩土器を出土。		

No.	種類	名　称　・　数　量	所　在　地	所有者	指定年月日
20	史跡	鹿島神宮境内附郡家跡	鹿嶋市宮中2306−１ほか	鹿嶋市、鹿島神宮	昭61．８．４
			（追　平元．９.22、平11．１．14、平13．１．15、平17．３．２、平20．７．20 令７．３． 10）		
21	史跡	小幡北山埴輪製作遺跡	茨城町小幡2735-45ほか	茨城町	平４．１．21
			古墳時代後期の埴輪製作遺跡。		
22	史跡	真壁城跡	桜川市真壁町古城・山尾	桜川市	平６．10．28
			中世から戦国末期までの真壁氏の居城。		
23	史跡	陸平（おかだいら）貝塚	美浦村馬見山字貝売391−２ほか	美浦村	平10．９．11
			縄文中～後期。明治12年に初めて日本人による本格的な発掘調査。		
24	史跡	結城廃寺跡附結城八幡瓦窯跡（ゆうきはちまんかわらがまあと）	結城市大字上山川字古屋敷31ほか	結城市	平14．９．20 平29．10．13（追）
			奈良～室町中期の大寺院跡、及びこの寺院の創建時の瓦を供給した窯跡。		
25	史跡	金田官衙遺跡（こんだかんが）	つくば市金田字吹上1473−１ほか	つくば市	平16．２．27 令２．10．６（追）
			奈良～平安時代（８世紀前葉～９世紀中葉）に営まれた古代官衙関連遺跡。		
26	史跡	台渡里官衙遺跡群（台渡里官衙遺跡・台渡里廃寺跡）	水戸市渡里町字前原ほか	水戸市ほか	平17．７．14 平23．９．21（追）
			奈良・平安時代に営まれた那賀郡衙に関連する正倉院跡及び寺院跡。		
27	史跡	水戸徳川家墓所	常陸太田市瑞龍町字瑞龍山2845ほか	公益財団法人徳川ミュージアムほか	平19．７．26
			管理団体（平23.12．６）公財徳川ミュージアム		
			２代藩主徳川光圀が定めた儒教葬の形式で営まれた大規模な大名家墓所。		
28	史跡	常陸国府跡	石岡市総社１-278ほか	石岡市	平22．８．５
			古代常陸国の役所跡。７世紀末から11世紀にかけての高い計画性をもつ建物群の変遷が判明。		
29	史跡	西山御殿跡（にしやまごてんあと）（西山荘（せいざんそう））	常陸太田市新宿町字西山590ほか	公益財団法人徳川ミュージアム	平28．３．１
			徳川光圀が元禄４年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観が残されている。		
30	史跡	泉坂下遺跡	常陸大宮市泉字坂下894ほか	常陸大宮市ほか	平29．10．13
			弥生時代中期前葉の再葬墓遺跡。墓域の全貌が判明した貴重な事例。人面付壺形土器をはじめとする出土品61点が国指定文化財に指定されている。		
31	史跡	瓦塚窯跡	石岡市部原字高芝604−１の一部ほか	管理団体　石岡市	平29．10．13
			古代常陸国の窯跡（35基）。操業は７世紀前葉から10世紀前葉。常陸国における瓦生産の導入過程から常陸国府・国分寺の造瓦体制を知ることができる。		
32	史跡	長者山官衙遺跡（ちょうじゃやまかんが）及び常陸国海道跡（ひたちのくにかいどうあと）	日立市十王町伊師字愛宕脇3586ほか	管理団体　日立市	平30．10．15
			奈良・平安時代の官衙遺跡。古代官道と思われる道路跡に東接する８世紀中葉から10世紀代の掘立柱建物群と礎石建物群。		
33	史跡	磯浜古墳群	東茨城郡大洗町磯浜町字日下ケ塚2865−８ほか	管理団体　大洗町	令２．３．10
			古墳時代前期から中期初頭の古墳群。前方後円墳２基、前方後方墳１基、円墳１基ほか６基から構成され、関東における古墳の展開を考える上で重要。		

No.	種類	名　称　・　数　量	所 在 地	所有者	指定年月日
34	史跡	十五郎穴横穴群	ひたちなか市中根字館出 3490 番１ほか 27 筆	管理団体　ひたちなか市	令６．２.21
			関東平野の北縁、那珂川の支流に挟まれた舌状台地南端部に位置する東日本最大級の横穴墓群。７世紀前葉に造営が始まり、９世紀前葉まで追葬で使用された。古墳時代終末期から平安時代初頭の東日本社会を考える上で重要。		

キ　国指定名勝

No.	種類	名　　称	所 在 地	所有者	指定年月日
1	名勝	常磐公園	水戸市常磐町・見川町	茨城県	大 11. 3．8
			岡山市の後楽園、金沢市の兼六園と並ぶ日本三名園の一つ。		
2	名勝	桜川（サクラ）	桜川市磯部 135 ほか	管理団体（大 14.8.13）桜川市	大 13.12. 9 昭 49. 6.25（追）
			磯部稲村神社の参道をはさんで、約１kmに及ぶ桜並木。古くは磯部の百色桜。		
3	名勝	袋田の滝及び生瀬滝	大子町袋田	管理団体　大子町	平 27. 3.10
			約 1,500 万年前の火山角礫岩層の断崖を流れ落ちる風致の優れた２つの滝。袋田の滝は「四度の滝」の異称をもつ。空海の命名伝説に始まり、近世の水戸藩主、近代の文人墨客等が訪れた風致の優秀な滝。		
4	名勝	西山御殿跡（西山荘）	常陸太田市新宿町字西山 590 ほか	公益財団法人徳川ミュージアム	平 28. 3．1
			徳川光圀が元禄４年（1691）に隠居した邸宅跡。光圀が理想郷とした景観。		

ク　国指定天然記念物

No.	名　称　・　数　量	所　在　地	管理者	指定年月日	樹勢回復事業等
1	ハマナス自生南限地帯	鹿嶋市大小志崎 527 ほか	鹿嶋市	大 11. 3．8	
2	いぶき山イブキ樹叢	日立市十王町伊師 2204	日立市	大 11.10.12	平 13
3	安良川の爺スギ　１株	高萩市安良川 1173	八幡宮	大 13.12. 9	平 14・15
4	白旗山八幡宮のオハツキイチョウ	水戸市八幡町８-54	白旗山八幡宮	昭４．4．２	
5	大戸のサクラ　１株	茨城町大戸 1539	茨城町	昭７．7.23	平９
6	片庭ヒメハルゼミ発生地	笠間市片庭 773、2078	楞厳寺ほか	昭９.12.28	
7	軍鶏（シャモ）	東京都、茨城県、秋田県、高知県、千葉県、青森県		昭 16. 8．1	
8	桜川のサクラ	桜川市磯部 135 ほか	桜川市	昭 49. 7.16	

ケ　国選定重要伝統的建造物群保存地区

No.	名　　称	所在地	区　　域	面　積	選定年月日
1	桜川市真壁伝統的建造物群保存地区	桜川市	桜川市真壁町真壁字下宿町、字高上町及び字大和町の全域並びに字上宿町及び字仲町の各一部	約 17.6ha	平 22. 6.29

コ　記録作成等の措置を講ずべき無形文化財（国選択）

工芸技術

No.	名　　称	所在地・保持者	概　　要	選択年月日
1	粟野春慶	東茨城郡城里町粟 稲川　義良（昭 58.11.５死亡） 稲川　昌三（平 10.１.８死亡）	城里町粟に伝わる、透明な漆を塗って器物の木地の木目を透かしてみせる春慶塗の技法を保持。	昭 51.４.20
2	西の内紙	常陸大宮市諸沢 菊池　五介（平３.２.14 死亡） 菊池　一男（平 16.３.31 死亡） 小野瀬角次（平 27.10.15 死亡）	地元で生産される那須楮を原料とした手漉き和紙の技術を保持。	昭 52.６.１
3	刺繍	龍ケ崎市 相沢吉太郎（昭 58.12.６死亡）	高度な刺繍の技術で、旧武家華族や神官の装束などを手がけた。	昭 53.３.25

サ　記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（国選択）

（ア）風俗慣習

No.	名　　称	所在地	概　　要	選択年月日
1	田植に関する風俗	茨城県内	田植え唄・田植え踊り・田の神祭をはじめ、田植に係る風俗。（昭和 42 年記録保存）	昭 30.３.２
2	狩猟習俗	茨城県内	野生の鳥獣を捕らえる狩猟に際し受け継がれてきた風俗。（昭和 48 年記録保存）	昭 30.３.２
3	日立風流物	日立市宮田町	日立郷土芸能保存会（昭和 51 年記録保存）	昭 49.12.４
4	盆行事	茨城県内	旧暦７月 13 日に祖霊を迎え、16 日に祖霊を送るまでの盆中に行われる行事。（平成 12 年記録保存）	昭 52.５.19
5	常陸大津の御船祭	北茨城市大津町	常陸大津の御船祭保存会（昭和 59 年・平成 27 年記録保存） ５年毎の佐波波地祇神社の祭礼。	昭 54.12.７
6	大畑のからかさ万灯	土浦市大字大畑	からかさ万灯保存会（平成 29 年記録保存）	昭 57.12.21
7	五所駒滝神社の祭事	桜川市	五所駒滝神社祭事保存会（平成 28 年記録保存） 世話人制度で運営される夏祭りを中心とした年間の祭礼習俗。	昭 61.12.17
8	北関東のササガミ習俗	茨城県、栃木県	２月８日と 12 月８日のコトヨウカ、あるいは片方に、庭にササガミサマを祭る習俗。（平成 16 年調査）	平 12.12.25
9	お枡廻しの習俗	福島県、茨城県	枡そのものや籾を入れた枡を神体にして複数の集落が祭祀を引き継いでいく特色ある習俗。 （平成 27 年記録保存）	平 21.３.11
10	東関東の盆綱	茨城県、千葉県	盆行事の一つで、墓地と家々の間を子どもたちが藁で作った綱を曳いて歩き、先祖の霊を送迎する行事。	平 27.３.２

（イ）民俗芸能

<table>
<tr><th>No.</th><th>名　　称</th><th>所在地</th><th>保護団体</th><th>選択年月日</th></tr>
<tr><td>1</td><td>金砂田楽（かなさでんがく）</td><td>常陸太田市</td><td>金砂田楽保存会（昭和 51 年記録保存）</td><td>昭 46. 4 . 12</td></tr>
<tr><td>2</td><td>綱火</td><td>つくばみらい市</td><td>綱火保存連合会（昭和 51 年、同 61 年記録保存）</td><td>昭 46. 11. 11</td></tr>
<tr><td>3</td><td>真家のみたま踊</td><td>石岡市真家</td><td>真家みたま踊保存会（昭和 52 年記録保存）</td><td>昭 47. 8 . 5</td></tr>
<tr><td>4</td><td>大串のささらと大野のみろく</td><td>水戸市</td><td>大串のささらと大野のみろく保存団体連合会</td><td>昭 48. 11. 5</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">鹿島の祭頭祭（さいとうさい）</td><td>鹿嶋市、神栖市</td><td>祭頭囃保存会（昭和 55 年記録保存）</td><td rowspan="2">昭 51. 12. 25</td></tr>
<tr><td colspan="2">鹿島神宮で毎年３月９日に行われる春を告げる勇壮な祭り。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6</td><td rowspan="2">あんば囃子</td><td>稲敷市</td><td>あんば囃子保存会</td><td rowspan="2">昭 53. 1 . 31</td></tr>
<tr><td colspan="2">航海・漁撈の神として信仰を集めた大杉神社に伝わる囃子。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">7</td><td rowspan="2">那珂湊の獅子とみろく</td><td>ひたちなか市</td><td>六町目の獅子保存会、元町のみろく保存会
（昭和 57 年、昭和 58 年記録保存）</td><td rowspan="2">昭 55. 12. 12</td></tr>
<tr><td colspan="2">毎年８月末に行われる天満宮祭礼の御神幸行列に供奉する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">8</td><td rowspan="2">龍ケ崎の撞舞（つくまい）</td><td>龍ケ崎市</td><td>撞舞保存会（平成 24 年記録保存）</td><td rowspan="2">平 11. 12. 3</td></tr>
<tr><td colspan="2">八坂神社祇園祭最終日、高い柱に登り様々な曲芸を演じる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">9</td><td rowspan="2">鹿島みろく</td><td>鹿嶋市</td><td>保護団体なし（平成 25 年記録保存）</td><td rowspan="2">平 21. 3 . 11</td></tr>
<tr><td colspan="2">太鼓を伴奏に鹿島信仰にかかわる歌を歌ったり、歌に合わせて踊ったりする民俗芸能。</td></tr>
</table>

（ウ）民俗技術

<table>
<tr><th>No.</th><th>名　　称</th><th>所在地</th><th>保護団体</th><th>選択年月日</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td rowspan="2">霞ケ浦の帆引網漁の技術</td><td>土浦市、かすみがうら市、行方市</td><td>土浦帆曳船保存会、霞ケ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会、行方市帆引き船保存会</td><td rowspan="2">平 30. 3 . 8</td></tr>
<tr><td colspan="2">折本良平が明治初期に考案。複数の布を繋いだ大きな一枚帆で風を受け、風力を利用して船体を横滑りさせながら、袋状の網を曳いて漁獲する漁撈（ぎょろう）技術。</td></tr>
</table>

シ　選定保存技術の選定・保存団体の認定

No.	選定保存技術	保　存　団　体			選定・認定
	名　称	団体名	代表者	所在地	年月日
1	茅採取	一般社団法人日本茅葺き文化協会	代表理事　安藤　邦廣	つくば市北条	平 30. 9 . 25
		茅採取は、茅葺に用いるためのススキやヨシなどを育成し、採取する技術。茅刈り、茅立て、茅選（すぐ）りという一連の作業を手際よく行う。同協会は、「ふるさと文化財の森」に設定されている高エネルギー加速器研究機構茅場において、同技術の保存・伝承に尽力している。			
2	茅葺	一般社団法人日本茅葺き文化協会	代表理事　安藤　邦廣	つくば市北条	令 6 . 10. 9
		茅葺は、草葺の一種として用いられる工法で、重要文化財をはじめとした現在保存されている茅葺の建造物を維持し、後世に伝えるために欠くことのできない技術。同協会は、技能継承のための研修等を継続的に実施するなどして、茅葺に係る文化と技術の継承と振興に尽力している。			

（３）ユネスコ無形文化遺産一覧

（令和７年３月 31 日現在）

No.	名　称　等	概　　要	登録年月日
1	結城紬（茨城・栃木）	結城紬は、結城市及び栃木県小山市を中心に製織されている。糸はすべて真綿から手つむぎしたもののみを使用し、絣（かすり）模様は手くびりにより、織りには経糸（たていと）を腰で吊る織機を用いるなど、伝統的な技法を継承している。古代より受け継がれてきた技術と文化が世界に認められた。	平 22. 11. 16
2	山・鉾・屋台行事 〔日立風流物〕	地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となって執り行う「山・鉾・屋台」の巡行を中心とする祭礼行事。平成 21 年に無形文化遺産に登録された日立風流物（茨城）、京都祇園祭の山鉾行事（京都）に、国指定重要無形民俗文化財 31 件を追加し、計 33 件の行事として平成 28 年に拡張登録された。	平 21. 9 . 30 平 28. 11. 30
3	伝統建築工匠の技―木造建造物を受け継ぐための伝統技術― 〔茅採取〕	古代以来途絶えることなく伝統を受け継ぎながら、工夫を重ねて発展してきた 17 件の国選定保存技術。自然素材を建築空間に生かす知恵、周期的な保存修理を見据えた材料の採取や再利用、建築当初部材と取り替える新材との調和や一体化を実現する高度な技術が含まれている。	令 2 . 12. 17

（４）県指定文化財一覧

ア　有形文化財

【建造物】

（表中の凡例）　解：解体修理工事、半解：半解体修理工事、部：部分修理、　自：県補助事業以外の自費修理工事

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
1	三重塔　１棟	桜川市真壁町椎尾 3178 薬王院	昭 30. 6. 25	宝永元年（1704）再建。棟梁桜井瀬左衛門。
2	逢善寺(ほうぜんじ)仁王門　１棟	稲敷市小野 318　逢善寺	昭 32. 6. 26	万治年間。東京日枝神社より移築（明２）。 解（昭 50）
3	大生(おおう)神社本殿　１棟	潮来市大生 814　大生神社	昭 32. 6. 26	江戸中期。銅板葺。　解（昭 48～49）
4	厨子(ずし)　１基	稲敷市神宮寺 146　神宮寺	昭 33. 3. 12	室町末期。本瓦型板葺。　解（平２）
5	長勝寺本堂　１棟	潮来市潮来 428　長勝寺	昭 33. 3. 12	元禄年間。禅宗建築。入母屋造、茅葺。内部土間。　解（昭 56～60）
6	長勝寺楼門　１棟	潮来市潮来 428　長勝寺	昭 33. 3. 12	桃山期に建立し、移築か。二重二階門。 解（昭 56～60、銅板葺に変更）
7	旧水海道小学校玄関 １棟	水戸市緑町２-１-15 茨城県立歴史館	昭 33. 3. 12	明治 14 年（1881）建築。 移築復原（昭 48）
8	八坂神社本殿　１棟	つくば市玉取 2617 八坂神社	昭 34. 5. 22	宝永年間。流造。
9	鹿島神社本殿　１棟	桜川市真壁町上谷貝 1390 鹿島神社	昭 34. 5. 22	江戸中期。茅葺。 屋根（平 19）
10	薬王院仁王門　１棟	水戸市元吉田町 682　薬王院	昭 34. 5. 22	貞享期の八脚門。 解（平元～３）・自屋根（平 25）
11	石造祥光寺(しょうこうじ)多宝塔　１棟	桜川市本木 78　祥光寺	昭 35. 3. 28	建仁２年（1202）。石造。
12	不動院三重塔　１棟	つくばみらい市板橋　不動院	昭 35. 12. 21	安永５年（1776）。瓦棒銅板葺。　解（平７）
13	石造五輪塔　１棟	つくば市小田　小田中部区	昭 37. 10. 24	天文７年（1538）［刻銘］。
14	石造五輪塔　１棟	かすみがうら市山本 かすみがうら市	昭 39. 7. 31	天文 14 年（1545）［銘］。
15	不動院本堂　１棟	つくばみらい市板橋　不動院	昭 40. 2. 24	安永年間。重層の密教本堂。
16	国王神社本殿　１棟	坂東市岩井 951　国王神社	昭 41. 3. 7	天和３年（1683）の流造。茅葺。
17	厳島神社本殿　１棟	鉾田市子生 877　厳島神社	昭 43. 3. 28	元禄年間の禅宗様系。
18	石岡の陣屋門　１棟	石岡市総社１　石岡市	昭 43. 9. 26	文政 11 年（1828）。府中藩陣屋門。 解（平 15）
19	観音寺本堂　１棟	潮来市上戸(うわど)624　観音寺	昭 44. 3. 20	室町中～末期。寄棟造、茅葺。　解（平 10）
20	阿弥陀堂本堂　１棟	常陸太田市大里町 3708 来迎院（管理責任者　大里町）	昭 44. 3. 20	享保３年（1718）。方形造、茅葺。 屋根（平 29）
21	阿弥陀堂楼門　１棟	常陸太田市大里町 3708 来迎院（管理責任者　大里町）	昭 44. 3. 20	宝暦 10 年（1760）。入母屋造、茅葺。 屋根部（平 25）

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
22	笠間城櫓　1棟	笠間市笠間 323　真浄寺	昭 44.12. 1	江戸末期。笠間藩物見櫓。廃城の際移築(明 10)。
23	旧茂木家住宅　1棟	水戸市緑町２－１-15　茨城県立歴史館	昭 45. 5.28	江戸中期。旧牛堀町から移築復原（昭 48）。茅葺。　屋根（平 11）
24	旧所家住宅　1棟	潮来市日の出４－７　潮来市	昭 45. 5.28	18 世紀後半。桂村から移築復原（昭 47）。茅葺。銅板葺覆屋。
25	阿弥陀堂　1棟	行方市羽生 745　万福寺	昭 45. 9.28	貞享４年（1687）。茅葺。　屋根（平 25）
26	仁王門　1棟	行方市羽生 745　万福寺	昭 45. 9.28	天正年間。八脚門。茅葺。逢善寺から享保９年（1724）に移築［伝承］。屋根（平 25）
27	西光院本堂　1棟	石岡市吉生　個人	昭 45. 9.28	寛政３年(1791)。懸造、銅板葺。　半解(昭 47)
28	大洗磯前神社本殿・拝殿　２棟	大洗町磯浜町 6890　大洗磯前神社	昭 45. 9.28	本殿：元禄期、拝殿：江戸中期。　塗装（平 18～19）
29	長勝寺（方丈・書院・玄関・庫裡・隠寮）　1棟	潮来市潮来 428　長勝寺	昭 46. 3.29	元禄年間。瓦葺。
30	小山寺本堂・仁王門・鐘楼　３棟	桜川市富谷 2190　小山寺	昭 46.10.28	本堂：元禄 10 年(1697)。大修理(平４～５) 仁王門：享保 16 年(1731)。　解(平 23～24) 鐘楼：享保 16 年。
31	四脚門　1棟	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	昭 46.12. 2	室町末期。茅葺。　屋根(平 18)・解(平29～30)
32	前野家住宅　1棟	土浦市永井　個人	昭 47.12.18	直屋。文化３年（1806）［棟札］。
33	八柱神社本殿　1棟	桜川市真壁町塙世 968　八柱神社	昭 47.12.18	天明期建立。大聖天（歓喜天）を祀る。
34	鈴木家住宅　1棟	那珂市額田南郷　個人	昭 47.12.18	貞享４年（1687）改築。御殿と呼称。茅葺。
35	旧中山家住宅　1棟	古河市鴻巣 1045　古河市	昭 48. 8.27	17 世紀末。坂東市から移築復元（昭 49）。
36	冨岡家住宅　1棟	土浦市白鳥町　個人	昭 49. 3.31	江戸前期。茅葺。　屋根修理（平 22）
37	二十三夜尊堂（旧延方学校聖堂）　1棟	潮来市辻 197－７　月読神社	昭 49. 3.31	文化４年（1807）。唐様、銅板葺。内田山から移築（明 11）。　塗装（平 18）
38	無量寿寺鐘楼　1棟	鉾田市鳥栖 1013　無量寿寺	昭 49. 3.31	享保 12 年（1727）。茅葺。　避雷（昭 57）・屋根自・部自（平 15）
39	無量寿寺山門　1棟	鉾田市鳥栖 1013　無量寿寺	昭 49. 3.31	元禄頃。銅板葺（当初は茅葺）。
40	小野家住宅　1棟	日立市諏訪町　個人	昭 49.11.25	18 世紀前半。曲屋形式。山横目住宅。茅葺。
41	木村家住宅（旧水戸街道旅籠皆川屋）　1棟	かすみがうら市下稲吉　個人	昭 49.11.25	安政４年（1857）。水戸街道稲吉宿。　解体（昭 51）
42	不動院楼門　1棟	つくばみらい市板橋　不動院	昭 49.11.25	元禄年間。瓦棒銅板葺。　解（平 20～23）
43	雨引観音本堂　1棟	桜川市本木１　楽法寺	昭 50. 3.25	宝永７年（1710）。棟梁桜井瀬左衛門。密教本堂。
44	雨引観音仁王門　1棟	桜川市本木１　楽法寺	昭 50. 3.25	宝永年間。本瓦葺（明 23 変更。当初茅葺）。
45	旧宍戸城表門　1棟 （附宍戸氏家紋）	笠間市土師　個人	昭 51. 7. 5	天保 15 年（1845）。長屋門形式。桟瓦葺。明治初移築。　大規模修理（昭 60～61）

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
46	雨引観音楽法寺東照山王社殿（附棟札２枚）　１棟	桜川市本木１　楽法寺	昭 51．７．５	享保 12 年（1727）。　解（平元） 現状変更（平元:鉄板葺から柿葺へ）
47	雨引観音楽法寺多宝塔 （附棟札１枚）　１棟	桜川市本木１　楽法寺	昭 51．７．５	嘉永６年（1853）［棟札］。大規模多宝塔。 部（昭 56～58）・解（昭 63）
48	香取神社本殿　１棟	坂東市沓掛4124　香取神社	昭 52．５．２	18 世紀前期。木羽葺。 塗（平３）・部（平４）
49	鹿島神社本殿　１棟 （附棟札１枚）	つくば市大形　鹿島神社	昭 52．５．２	延享２年（1745）。柿葺。覆屋は瓦棒トタン葺。　部自（平 15・浜床）
50	国王神社拝殿　１棟	坂東市岩井 951　国王神社	昭 52．７．18	文化 14 年（社伝延宝３年）。茅葺。現状変更（昭 63、銅製グシ）。屋根（平 15・平 19）。
51	筑波山神社神橋　１棟	つくば市筑波１ 筑波山神社	昭 54．11．１	寛永 10 年（1633）。柿葺。元禄 15 年（1702）改修。　塗（昭 63）・部（令元）
52	筑波山神社境内社春日神社本殿・日枝神社本殿及両社拝殿　３棟	つくば市筑波１ 筑波山神社	昭 54．11．１	寛永 10 年（1633）［小屋裏墨書銘］。 もとは柿葺。現状は３棟とも瓦棒銅板葺。
53	筑波山神社境内社厳島神社本殿　１棟	つくば市筑波１ 筑波山神社	昭 54．11．１	寛永 10 年（1633）。春日造、柿葺。 塗装自（平８）
54	逢善寺本堂　１棟	稲敷市小野 318　逢善寺	昭 55．２．28	天保年間。密教本堂様式。銅板葺。 解（昭 56～61）
55	逢善寺書院・庫裡　１棟	稲敷市小野 318　逢善寺	昭 55．２．28	文久２年（1862）。豪壮。茅葺。 屋根（平 17）・庫裏屋根（平 19～20）
56	矢口家住宅　３棟 （附家相図７枚）	土浦市中央　個人	昭 55．12．25	天保末年。土蔵造、桟瓦葺。 部（昭 55、台所・食堂など） 屋根部（平３）・解（平 27）
57	旧水戸城薬医門　１棟	水戸市三の丸３-10-１ 茨城県教育委員会	昭 58．３．18	桃山末期。茅葺風銅板葺。 移築復原（昭 56）
58	穂積家住宅（主屋１棟・長屋門１棟・前蔵１棟・衣裳蔵１棟、敷地 4,172.71 ㎡、附屋敷図屏風１雙）　４棟	高萩市上手綱 2337 高萩市	平元．１．25	主屋：寛政元年（1789）。茅葺。 自解（平 12～15）・自屋根（平 22）
59	大場家住宅 （主屋１棟・表門１棟・通用門１棟、敷地 2,485.29 ㎡、附家相図等２枚） ３棟	行方市玉造甲 4533 公益財団法人 大山守大場家保存協会	平元．４．６	江戸中～後期。大山守住宅。茅葺。 解（平 16～20） 主屋：部（平２）・屋根（平４） 長屋門：屋根（平５・平 30） 通用門：屋根（平５・平 30） 現状変更（平８主屋役宅部脇・厠解体保存）
60	鷲子山上神社本殿（附棟札２枚）・随神門（附棟札１枚）　２棟	常陸大宮市鷲子 3627 鷲子山上神社	平２．１．25	本殿：天明８年（1788） 随神門：文化 12 年（1815） 本殿・随神門大修理 明治 24 年（1891）

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
61	吉沼八幡神社本殿・本殿 覆屋　２棟	つくば市吉沼 1456 吉沼八幡神社	平２．１．25	本殿：貞享２年（1685）［墨書］。茅葺 覆屋：慶応３年（1867）。桟瓦葺
62	観音寺本堂・仁王門　２棟 （附宮殿１基・須弥檀１基・棟札 14 枚・銘板１枚）	牛久市久野町 2976　観音寺	平３．１．25	本堂：宝永４年（1707）大修理。茅葺形銅板葺（本堂）。鉄板葺（仁王門）。 半解（平元）
63	金村（かなむら）別雷神社本殿・本殿 覆屋（附棟札１枚）　２棟	つくば市上郷 8319－１ 金村別雷神社	平３．１．25	正徳元年（1711）
64	綿引家住宅主屋・倉 ２棟	水戸市元吉田町　個人	平３．１．25	江戸後期。ともに茅葺
65	鴨鳥（かもとり）五所神社本殿　１棟 （附棟札２枚・銘札１枚）	桜川市大泉 1480 鴨鳥五所神社	平５．１．25	室町中期。銅板葺（昭 32 茅葺から変更）
66	熊野神社本殿　１棟 （附棟札８枚）	行方市島並 1298　熊野神社	平７．１．23	万治年間。銅板葺
67	旧取手宿本陣染野家住宅 主屋・土蔵　２棟 （附表門１棟）	取手市取手２-16-41 取手市教育委員会	平８．１．25	寛政７年（1795）。茅葺。 土蔵（昭 62・63）・主屋（平４～６）解 附追加指定表門（平 26．１.27）
68	月山寺（がっさんじ）書院　１棟	桜川市西小塙 1677　月山寺	平 10．１．21	江戸初期。茅葺。 自差茅（平 10・平 13）・解（平 27）
69	羽黒神社本殿　１棟 （附棟札１枚）	筑西市甲 37 宗教法人羽黒神社	平 14．１．25	寛永年間。享保年間に大修理。 自屋根修理（平 11）
70	上羽黒神社本殿及び拝殿 ２棟	筑西市岡芹 968－１ 宗教法人上羽黒神社	平 14．１．25	本殿・拝殿とも寛永期。 本殿屋根トタン塗装（平 18）
71	長禅寺三世堂　１棟	取手市取手２－９－１ 宗教法人長禅寺	平 16．１．８	宝暦 13 年(1763)再建。享和元年(1801)再営［ともに棟札］。寛政 12 年(1800)修理［擬宝珠刻銘］。
72	旧畑家住宅（麻生藩家老屋敷記念館）　１棟 （附表門１棟）	行方市麻生 1153－１　行方市	平 20．11．17	安政４年（1857）再建［棟札］。 屋根葺替・部分修理（平３～５） 自屋根葺替（平 22～23）
73	木村家住宅　１棟	茨城町長岡　個人	平 26．１．27	江戸末期（安政５、６年（1858-1859）頃）。 自・半解（平 17～19）
74	東漸寺観音堂・山門 ２棟 （附宮殿１基、棟札１枚）	取手市本郷３－９－19 宗教法人東漸寺	平 27．１．22	観音堂：寛文７年（1667）。茅葺型銅板葺。 自・解（平 18～20） 山門：元禄３年（1690）。茅葺。
75	佛性寺観音堂・仁王門 ２棟 （附観音堂宮殿（くうでん）１基、棟札１枚）	八千代町大字栗山 476 佛性寺	平 29．12．25	観音堂：延宝８年（1680）。鉄板葺（昭 38）。 仁王門：安永３年（1774）。桟瓦葺（昭 38）。 いずれももと茅葺

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	建立年代・現状屋根・修理実績
76	旧土肥家住宅　２棟	ひたちなか市阿字ケ浦町字千駄切 552-13　国営ひたち海浜公園「みはらしの里」 国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所	平 30.12.27	主屋：17 世紀中期頃。 隠居屋：宝永３年（1706）。 茅葺。 旧新利根村太田から移築復原（平 22）
77	旧小松家住宅　１棟	小美玉市下玉里 1831 小美玉市	令元.12.26	18 世紀後期。茅葺。曲屋「二つ曲がり」。 上玉里から移築復原（平９）

【絵画】

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	時　代・備　考
1	梵字曼陀羅　１幅	桜川市西小塙 1677　月山寺	昭 28. 7. 9	室町初期。刺繍曼荼羅。
2	五大尊絵像（ごだいそんえぞう）　２幅	常陸太田市玉造町 495　愛宕神社	昭 30. 1. 25	鎌倉末期。　表装（昭 55）
3	絹本曼荼羅　１幅	坂東市生子（おいご）1617　萬蔵院	昭 30. 6. 25	鎌倉時代。金剛界曼荼羅。
4	絹本普賢菩薩像（ふげんぼさつ）　１幅	土浦市文京町１-27　神龍寺	昭 30. 6. 25	室町時代。　修理（平９）
5	絹本当麻曼荼羅　１幅	結城市結城 1591　弘経寺	昭 32. 1. 25	鎌倉末期。
6	襖絵（紙本）　10 幅	結城市結城 1591　弘経寺	昭 32. 1. 25	江戸時代宝暦頃。与謝蕪村筆。
7	武者肖像画　１幅	結城市結城 461　孝顕寺	昭 32. 1. 25	桃山時代。結城政朝（まさとも）像。
8	両部曼荼羅　２幅	桜川市西小塙 1677　月山寺	昭 32. 6. 26	文亀２年（1502）［箱書］。
9	結城晴朝（はるとも）肖像画　１幅	結城市結城 461　孝顕寺	昭 32. 6. 26	慶長年間。
10	結城政朝（まさとも）夫人肖像画　１幅	結城市結城 461　孝顕寺	昭 32. 6. 26	天文年間。比丘尼姿。
11	夢窓国師頂相（むそうこくしちんぞう）　１幅	常陸太田市増井町 1514　正宗寺	昭 32. 6. 26	室町時代。　修理（昭 59）
12	月山（がっさん）和尚頂相（ちんぞう）　１幅	常陸太田市増井町 1514　正宗寺	昭 32. 6. 26	応永 12 年（1405）。
13	十六羅漢像　16 幅	常陸太田市増井町 1514　正宗寺	昭 32. 6. 26	李竜珉（りりゅうみん）様。　修理（昭 61～62）
14	土岐頼英（ときよりふさ）夫人肖像画　１幅	稲敷市下太田 79　智心院	昭 33. 3. 12	万治３年（1660）。
15	太嶽（だいがく）大和尚頂相　１幅	潮来市潮来 428　長勝寺	昭 33. 3. 12	元禄年間。
16	絹本着色 愛染明王画像　１幅	桜川市本木１　楽法寺	昭 34. 5. 22	鎌倉末期。
17	絹本着色 弁財天画像　１幅	桜川市本木１　楽法寺	昭 34. 5. 22	鎌倉末期。八臂（はっぴ）像。
18	絹本着色 十一面観音画像　１幅	桜川市本木１　楽法寺	昭 34. 5. 22	鎌倉末期。
19	絹本着色 釈迦十六善神画像　１幅	つくば市栗原 1129　北斗寺	昭 35.12.13	南北朝時代。
20	絹本着色 興教大師画像　１幅	つくば市栗原 1129　北斗寺	昭 35.12.13	鎌倉末期～南北朝初期。
21	絹本着色 黄不動明王画像　１幅	つくば市栗原 1129　北斗寺	昭 35.12.13	鎌倉時代。
22	絹本着色 御廟（ごびょう）天神画　１幅	常総市大生郷（おおのごう）町 1234 大生郷天満宮	昭 35.12.13	室町時代。
23	絹本着色 神酒天神（おみきてんじん）画　１幅	常総市大生郷町 1234 大生郷天満宮	昭 35.12.13	室町時代。

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	時　代・備　考
24	紙本(しほん)着色 北野天神縁起絵巻 ２巻	常総市大生郷町 1234　大生郷天満宮	昭 35.12.13	応永 22 年（1415）［銘］。
25	紙本着色 三十六歌仙絵　６幅	常総市大生郷町 1234　大生郷天満宮	昭 35.12.13	室町時代。
26	紙本著色 三十六歌仙（紙本歌帳を含む）　35 枚	那珂市静９　静神社	昭 37.10.24	松月軒等善(しょうげつけんとうぜん)筆。 天保年間に１枚焼失。
27	絹本著色 八景の図　３幅	筑西市中舘 522　観音寺	昭 37.10.24	延宝元年（1673）。狩野探幽筆。
28	絹本著色 十三仏　１幅	境町西泉田 1326-1 境町教育委員会	昭 37.10.24	室町時代か。
29	絹本著色 阿弥陀如来像　１幅	茨城町鳥羽田 656　円福寺	昭 37.10.24	鎌倉末期。
30	絹本著色 両界曼荼羅　２幅	古河市小堤 1405　円満寺	昭 38. 8.23	鎌倉時代。
31	絹本著色 来迎弥陀三尊像　１幅	坂東市岩井 1111　延命寺	昭 38. 8.23	鎌倉末期。
32	絵馬　１枚	筑西市甲 37　羽黒神社	昭 38. 8.23	寛永 15 年（1638）。軍馬絵。
33	絹本著色 土井利勝(としかつ)肖像画　１幅	古河市大手町７－１　正定寺(しょうじょうじ)	昭 39. 7.31	江戸時代。
34	絵馬　１枚	筑西市岡芹(おかぜり)968－１　上羽黒(かみはぐろ)神社	昭 39. 7.31	羽黒神社の絵馬と一対。
35	絹本著色 弁財天画像　１幅	水戸市緑町２－１－15 茨城県立歴史館	昭 39. 7.31	室町時代。　修理（平 16）
36	絹本著色 涅槃像　１幅	かすみがうら市中志筑 1353 長興寺 （茨城県立歴史館寄託）	昭 41. 3. 7	室町初期。
37	絹本着色 釈迦涅槃像　１幅	土浦市高岡 1890　法雲寺	昭 43. 3.28	宋画の影響。　修理（平３）
38	紙本着色 小田政治(まさはる)肖像画１幅	土浦市高岡 1890　法雲寺	昭 43. 3.28	大永２年（1522）［賛］。
39	紙本着色 小田氏治(うじはる)肖像画１幅	土浦市高岡 1890　法雲寺	昭 43. 3.28	天正 16 年（1588）［賛］。
40	絹本色糸 蓮糸織出(はすいとおりだし)六字名号 １幅	つくば市若栗 498　念向寺(ねんこうじ)	昭 44. 3.20	室町時代。刺繍。
41	絹本着色 愛染明王像　１幅	つくば市中根 530　慈恩寺	昭 44. 3.20	室町時代。
42	絹本着色 阿弥陀如来画像 １幅	小美玉市与沢　個人	昭 44. 3.20	鎌倉時代か。　修理（平８）
43	絹本着色 善導大師画像 １幅	小美玉市与沢　個人	昭 44. 3.20	鎌倉時代か。
44	絹本着色 聖徳太子勝鬘経(しょうまんきょう)御講讃(こうさん)図　１幅	小美玉市与沢　個人	昭 44. 3.20	鎌倉時代か。
45	絹本着色 金剛界大日如来画像 １幅	大洗町大貫町 802　西光院	昭 44. 3.20	室町時代。
46	絹本着色 両界曼荼羅　２幅	常陸太田市玉造町 495　愛宕神社	昭 44. 3.20	鎌倉時代。廃寺明王山弥勒寺伝来のもの。

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	時　代・備　考
47	絹本着色 阿弥陀三尊来迎仏 ３幅	かすみがうら市宍倉 787　最勝寺	昭 44. 12. １	鎌倉末期。　修理(平 16)
48	来迎の弥陀 １軸	筑西市大字森添島 1107-1　観音院	昭 45. ９. 28	鎌倉中期。
49	華山(かざん)潮来明月(めいげつ)舟遊の図 １枚	潮来市辻　個人	昭 46. 10. 28	渡辺崋山が榊原家滞在中に描く。
50	涅槃図 １幅	那珂市瓜連 1221　常福寺	昭 47. 12. 18	鎌倉末期。釈迦八相を描く。
51	智光(ちこう)曼荼羅 １幅	那珂市瓜連 1221　常福寺	昭 47. 12. 18	著色金泥画。
52	清海(せいかい)曼荼羅 １幅	那珂市瓜連 1221　常福寺	昭 47. 12. 18	紺地金泥画。
53	親鸞聖人画像 １幅	大洗町磯浜町 7920　願入寺	昭 47. 12. 18	真向御影(まむきのみえい)。　修理(平 16)
54	絹本著色 阿弥陀如来来迎図 １幅	日立市宮田町５－２－22 日立市郷土博物館	昭 49. ３. 31	鎌倉末期か。
55	絹本着色 両界曼荼羅 ２幅	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	昭 50. ３. 25	室町時代。　修理(昭 62-63)
56	絹本着色 弘法大師像 １幅	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	昭 50. ３. 25	修理(昭 63)
57	絹本着色 真言八祖(しんごんはっそ)像 ８幅	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	昭 50. ３. 25	修理(昭 56、57、59)
58	絹本着色 十二天立像 12 幅	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	昭 50. ３. 25	修理(昭 60、61)
59	絹本着色 六字経曼荼羅 １幅	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	昭 50. ３. 25	室町後期。
60	絹本着色 十三仏図 １幅	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	昭 50. ３. 25	室町末期。
61	絹本着色 釈迦十六善神図 １幅	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	昭 50. ３. 25	南北朝～室町初期。
62	紙本着色 制吒迦童子(せいたかどうじ)像 １幅	水戸市六反田町 767－２　六地蔵寺	昭 50. ３. 25	室町末期。
63	紙本着色 両界曼荼羅 ２幅	鹿嶋市浜津賀 378　慈眼寺(じがんじ)	昭 52. ５. ２	室町時代。
64	絹本著色 両界曼荼羅図 ２幅	筑西市桑山 1696－１　神宮寺	昭 57. ３. ４	室町前半。
65	扁額三十六歌仙絵 14 面	石岡市総社２－８－１ 常陸国総社宮	昭 58. ３. 18	文亀２ (1502) ～３年。
66	紙本著色 滝見観音図 雪村筆 １幅	常陸太田市増井町 1514　正宗寺	昭 62. １. 26	天文 11 年 (1542) 前後か。
67	絹本著色 如意輪観音像 １幅	常陸太田市増井町 1514　正宗寺	昭 62. １. 26	14 世紀前半頃。
68	絹本著色 滝見観音図 １幅	那珂市下大賀 1145　弘願寺 (茨城県立歴史館寄託)	昭 63. １. 25	雪村が正宗寺蔵「滝見観音図」を描いた際に参考にした作品。
69	紙本著色 伝真壁道無(どうむ) １幅	桜川市真壁町真壁 57－１　桜川市	平 11. 11. 25	16 世紀後半。真壁久幹を描く。
70	絹本墨画 芦雁図(ろがんず) 立原杏所(たちはらきょうしよ)筆 １幅	水戸市緑町２－１－15 茨城県立歴史館	平 14. １. 25	江戸後期。関東文人画の一人。
71	絹本著色 観　経(かんぎょう)十六観変相図 １幅	高萩市本町１－128　大高寺	平 14. １. 25	高麗 14 世紀初頭。
72	絹本著色 流　燈(りゅうとう) 横山大観筆 １幅	水戸市千波町 666－１ 茨城県近代美術館	平 16. １. ８	明治 42 年(1909)。五浦海岸で制作。
73	絹本著色 源頼朝像 狩野洞雲(とううん)筆 １幅	潮来市潮来 428　宗教法人長勝寺	平 16. 11. 25	元禄年間。太嶽の自賛あり。

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	時　代・備　考
74	紙本著色 釈迦羅漢像 雪村周継（せっそんしゅうけい）筆　３幅	石岡市柿岡 2136　宗教法人善慶寺 （茨城県立歴史館寄託）	平 17.11.25	中幅に釈迦と阿難・迦葉、左右幅に五人ずつ羅漢。晩年の作。
75	紙本墨画 維摩居士（ゆいまこじ）像（附徳川光圀書状４通 松平頼救跋１枚）　１幅	鉾田市大蔵 113　宗教法人福泉寺	平 17.11.25	維摩は在家の釈迦の弟子。中世の本格的な水墨画。
76	絹本著色 聖徳太子絵伝　１幅	東海村石神外宿　宗教法人願船寺	平 18.11.16	室町初期。略絵伝様式初期の作。
77	カルピスの包み紙のある静物 中村彝（つね）筆 油絵 麻布 1923 年 １面	水戸市千波町 666-１ 茨城県近代美術館	平 18.11.16	本県出身の洋画家中村彝晩年の代表作。
78	紙本淡彩 海島秋来（かいとうしゅうらい） 小川芋銭（うせん）筆　１幅	水戸市千波町 666-１ 茨城県近代美術館	平 22.11.18	本県出身の画家小川芋銭晩年の代表作。
79	絹本彩色 阿房劫火（あぼうごうか） 木村武山筆　１幅	水戸市千波町 666-１ 茨城県近代美術館	平 22.11.18	本県出身の画家木村武山の代表作。
80	絹本著色 毘沙門天像　１幅	筑西市黒子 214-１ 宗教法人東睿山千妙寺	平 28. １.21	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺宝。
81	絹本著色 日吉山王本地仏（ひえさんのうほんじぶつ）曼荼羅図　１幅	筑西市黒子 214-１ 宗教法人東睿山千妙寺 （茨城県立歴史館寄託）	平 29. １.26	鎌倉後期。東国における有力な天台宗寺院の千妙寺の寺宝。
82	紙本著色 金山寺図屛風 雪村周継筆　６曲１隻（せき）	笠間市笠間 39　笠間稲荷神社	平 29.12.25	室町末期。雄大な景観と繊細な建物等を幻想的に描く。
83	絹本著色阿弥陀如来来迎図 １幅	笠間市笠間 350　宗教法人月崇寺	令５.12.28	鎌倉時代。修行者の前に阿弥陀仏が現前するさまを表す。

【彫刻】

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	薬師如来木造　１軀	桜川市西小塙 1677　月山寺（がっさんじ）	昭 28. ７. ９	鎌倉後期。
2	鍍金仏（ときんぶつ）　１軀	水戸市緑町１－２－１　信願寺	昭 29. ８.18	鎌倉時代。善光寺式像。
3	薬師瑠璃光（るりこう）如来像　１軀	桜川市椎尾 3178　薬王院	昭 30. １.25	鎌倉後期。
4	聖徳太子木像　１軀	坂東市みむら 1793　妙安寺	昭 30. １.25	14 世紀後半。
5	阿弥陀如来像　１軀	水戸市緑町２－１-15 茨城県立歴史館	昭 30. １.25	鎌倉末期。安阿弥様。
6	金剛力士像　２体	坂東市生子 1617　萬蔵院	昭 30. ６.25	鎌倉時代か。
7	御神像　１軀	つくば市上境 328　体見神社	昭 30.11.25	天文年間の修理銘文。
8	木造佐白観音坐像　１体	笠間市笠間 1056-１　正福寺	昭 32. １.25	鎌倉半ば。千手観音。
9	菩薩像　２体	桜川市西小塙 1677　月山寺	昭 32. １.25	平安後期。
10	薬師如来像　１体	桜川市西小塙 1677　月山寺	昭 32. １.25	鎌倉時代。定朝様踏襲。

No.	名　称　・　数		所在地 及び 所有者		指定年月日	制作年代・備考
11	十一面観世音菩薩像	１軀	常陸太田市増井町 1514	正宗寺	昭 32. 6 . 26	鎌倉末期頃。
12	阿弥陀如来坐像及両脇侍像	３軀	潮来市潮来 428	長勝寺	昭 33. 3 . 12	鎌倉前期。
13	阿弥陀如来立像及両脇侍像	３軀	行方市羽生 745	万福寺	昭 33. 3 . 12	14 世紀前半。
14	地蔵菩薩立像	１軀	かすみがうら市戸崎 1300	松学寺	昭 33. 3 . 12	平安風の鎌倉時代作か。
15	阿弥陀如来坐像	１軀	牛久市奥原町 2412	願名寺（がんみょうじ）	昭 33. 3 . 12	13 世紀前半～半ば。
16	毘沙門天立像	１軀	美浦村布佐 1080	美浦村	昭 33. 3 . 12	鎌倉時代。 修理（昭 62）
17	薬師如来立像	１軀	美浦村土浦 2060	妙香寺	昭 33. 3 . 12	鎌倉時代。480cm。
18	釈迦如来立像	１軀	稲敷市阿波崎 177	満願寺	昭 33. 3 . 12	７世紀後半。金銅仏。
19	寝釈迦像	１軀	稲敷市上根本 3063	阿弥陀寺	昭 33. 3 . 12	江戸時代。
20	不動明王坐像	１軀	結城市山川新宿 311-１	大栄寺（だいえいじ）	昭 33. 3 . 12	室町時代。 修理（平 18）
21	薬師如来坐像	１軀	行方市西蓮寺 504	西蓮寺	昭 33. 3 . 12	平安後期（11 世紀末）。
22	観音菩薩立像	１軀	潮来市大生 750	延命院	昭 33. 3 . 12	平安中期。
23	増長天立像	１軀	北茨城市磯原町大塚 135	長福寺	昭 33. 7 . 23	平安末期。
24	聖徳太子立像	１軀	常陸大宮市鷲子 2236-１	照願寺	昭 33. 7 . 23	十六歳孝養太子像。
25	十一面観音菩薩坐像	１軀	桜川市富谷 2190	小山寺	昭 33. 7 . 23	11 世紀。鉈彫像。
26	木造狛犬（こまいぬ）	２軀	鹿嶋市宮中 2306-１	鹿島神宮	昭 33. 7 . 23	江戸初期。
27	懸仏（かけぼとけ）	１軀	稲敷市高田	個人	昭 33. 7 . 23	銅板製鍍金。
28	木造薬師如来坐像	１軀	水戸市元吉田町 682	薬王院	昭 34. 5 . 22	13 世紀後半。
29	木造神像	１軀	常陸太田市西河内中町 239	天満神社	昭 34. 5 . 22	鎌倉後期。男神坐像。
30	金銅造阿弥陀如来立像	１軀	土浦市立田町３-28	浄真寺	昭 34. 5 . 22	弘長元年（1261）［銘］。善光寺式像。
31	木造阿弥陀如来座像	１軀	桜川市本木 78	祥光寺（しょうこうじ）	昭 35. 3 . 28	平安末期。
32	銅板十一面観音御正体（みしょうたい）	１面	土浦市中央１-15-18	土浦市（土浦市立博物館保管）	昭 35. 3 . 28	線刻。
33	木造阿弥陀如来坐像	１軀	坂東市辺田 355	西念寺	昭 35.12. 21	鎌倉初期。定朝様。 修理（平18）
34	木造釈迦如来座像	１軀	水戸市飯島町 512	福性院	昭 35.12. 21	13 世紀後半。在地仏師の作。
35	木造立木観音菩薩像（たちきかんのんぼさつぞう）	１軀	石岡市吉生	個人	昭 36. 7 . 21	12 世紀［1574 年修理銘］。
36	木造弘法大師像	１軀	城里町徳蔵 874	徳蔵寺	昭 37. 2 . 26	室町時代。
37	両界曼荼羅版木	１面	城里町徳蔵 874	徳蔵寺	昭 37. 2 . 26	室町時代。
38	金銅阿弥陀三尊像	３軀	下妻市高道祖 4429	常願寺	昭 37. 2 . 26	14 世紀。善光寺式三尊。
39	浅川獅子頭	３頭	大子町浅川	浅川ささら保存会	昭 37. 2 . 26	寛永７年（1630）。
40	木造持国天（じこくてん）立像	１軀	北茨城市磯原町大塚 135	長福寺	昭 37.10. 24	平安末期。
41	木造阿弥陀如来三尊像	３軀	茨城町鳥羽田 656	円福寺	昭 37.10. 24	徳治２年（1307）［銘札］。
42	石造地蔵菩薩立像（石造龕（がん）を含む）	１軀	つくば市小田	小田中部区	昭 37.10. 24	正応２年（1289）［刻銘］。
43	木造釈迦如来三尊像	３軀	日立市宮田町５-６-15	大雄院	昭 37.10. 24	文明６年（1474）［銘］。

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
44	木造大黒天像　1軀	水戸市河和田町 887　報仏寺	昭 37. 10. 24	室町末期か。
45	木造愛宕明神立像(あたごみょうじんりゅうぞう)　1軀	筑西市甲 37　羽黒神社	昭 38. 8. 23	鎌倉末期。　修理（昭 37）
46	木造十一面千手観音像　1軀	かすみがうら市中志筑 須賀神社氏子	昭 38. 8. 23	13 世紀後半。
47	石造阿弥陀如来立像　1軀	かすみがうら市高倉　高倉区	昭 38. 8. 23	元亨４年（1324）造立。
48	百体磨崖仏(ひゃくたいまがいぶつ)	かすみがうら市上志筑 634　願成寺(がんじょうじ)	昭 38. 8. 23	室町～江戸時代。
49	木造大日如来坐像　1軀	坂東市岩井 1111　延命寺(えんめいじ)	昭 38. 8. 23	室町時代。
50	木造親鸞上人像　1軀	古河市中央町２－８－30　宗願寺(そうがんじ)	昭 39. 7. 31	室町時代。
51	木造阿弥陀如来立像　1軀	つくばみらい市小張 2623　善空寺	昭 40. 2. 24	貞和２年（1346）［銘］。
52	木造狛犬　2軀	鹿嶋市宮中 2306－1　鹿島神宮（茨城県立歴史館寄託）	昭 40. 2. 24	鎌倉時代。
53	木造不動明王立像　1軀	桜川市本木１　楽法寺	昭 40. 2. 24	永享 12 年（1440）［銘］。
54	木造十一面観音立像　1軀	石岡市若松１－８－23　東耀寺	昭 40. 2. 24	鎌倉末期。　修理（平 14）
55	銅造阿弥陀如来三尊像　3軀	石岡市茨城１－12－21　万福寺	昭 40. 2. 24	永仁３年（1295）［銘］。善光寺式像。
56	木造阿弥陀如来坐像　1軀	常陸太田市大里町 3708　来迎院	昭 40. 2. 24	修理（昭 40）
57	木造毘沙門天立像　1軀	常陸太田市上宮河内町 3600　菊蓮寺	昭 40. 2. 24	平安末期。
58	木造女神像　1軀	常陸太田市上宮河内町 3600　菊蓮寺	昭 40. 2. 24	平安末期。
59	木造地蔵菩薩坐像　1軀	古河市鴻巣　個人	昭 41. 3. 7	室町時代。左目半眼。
60	木造不動明王坐像　1軀	行方市芹沢 505　法眼寺(ほうがんじ)	昭 41. 3. 7	永禄 13 年（1570）［銘］。
61	金銅仏多聞天(たもんてん)　1軀	かすみがうら市東野寺 763-11 地福院	昭 42. 3. 30	鎌倉中期。像高 15.5㎝。
62	木造阿弥陀如来立像　1軀	かすみがうら市新治　中郷谷区	昭 42. 3. 30	鎌倉時代。在地仏師の作。
63	寄木造平将門の木像　1軀	坂東市岩井 951　国王神社	昭 42. 3. 30	室町時代か。男神坐像。
64	寄木造十一面観音立像　1軀	笠間市手越 195　東性寺	昭 42. 3. 30	室町時代。
65	木造阿弥陀如来立像（像内寛文十三年修理奥書阿弥陀経一巻等アリ）　1軀	茨城町下座　下座区	昭 42. 11. 24	修理（昭 57）
66	鋳造十一面千手観音菩薩像　1軀	城里町塩子 1736　岩谷山仏国寺	昭 42. 11. 24	室町末期。焼損修理（平 7）
67	銅造阿弥陀如来立像　1体	土浦市高岡 1890　法雲寺（土浦市立博物館寄託）	昭 43. 3. 28	鎌倉末期。善光寺式像。
68	木造中峯禅師坐像(ちゅうほうぜんじざぞう)　1体	土浦市高岡 1890　法雲寺	昭 43. 3. 28	室町時代。中国元代（寺伝）。
69	金銅化仏(けぶつ)　1軀	水戸市泉町　個人	昭 44. 3. 20	懸仏の文殊菩薩。
70	木造阿弥陀如来立像　1軀	大洗町大貫町 802　西光院	昭 44. 3. 20	鎌倉末期。
71	木造阿弥陀如来坐像　1軀	大洗町磯浜町 5298　西福寺	昭 44. 3. 20	室町末期。
72	木造阿弥陀如来坐像　1軀	大洗町磯浜町 5298　西福寺	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。胎内仏。
73	木造観世音菩薩立像　1軀	大洗町磯浜町 5298　西福寺	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍。
74	木造勢至(せいし)菩薩立像　1軀	大洗町磯浜町 5298　西福寺	昭 44. 3. 20	鎌倉時代。前掲胎内仏の脇侍。
75	木造十一面観世音菩薩像　1体	笠間市大田町 324　養福寺	昭 44. 12. 1	鎌倉末期。修理（平 19～20）

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
76	木造阿弥陀如来坐像　1体	かすみがうら市宍倉787　最勝寺	昭44.12.1	元禄11年(1698)［光圀寄進銘］。
77	木造弘法大師像　1体	かすみがうら市牛渡　八田集落	昭44.12.1	延徳元年（1489）［銘］。
78	木造十一面観音菩薩像　1体	かすみがうら市深谷1399　法蔵寺	昭44.12.1	鎌倉末期。四臂（よんぴ）像。
79	木造不動明王・毘沙門天立像2軀	桜川市富谷2190　小山寺	昭44.12.1	不動明王追加(平10.1.21)。
80	木造大日如来坐像　1軀	日立市入四間町752　御岩（おいわ）神社	昭44.12.1	室町時代。
81	木造観音菩薩坐像　1軀	日立市東河内町899　玉簾（ぎょくれん）寺	昭44.12.1	南北朝。宝冠阿弥陀。
82	木造阿弥陀如来坐像　1軀	笠間市上加賀田　阿弥陀講世話人会	昭44.12.1	室町末期頃。
83	直牒洞（じきてつどう）の石仏　3体	常陸太田市松栄町615　香仙寺	昭45.9.28	阿弥陀三尊（平安か）。
84	木造不動明王像及び両童子　3軀	笠間市箱田　(管)下箱田総代会	昭46.1.28	室町末期。
85	木造如意輪観世音菩薩像（附胎内仏）　2軀	潮来市水原1121　愛染院	昭46.1.28	室町時代。
86	木造仁王像　2体	常陸太田市下利員町　西光寺	昭46.1.28	(管責)下利員区(平17～18修理)
87	木造如意輪観世音菩薩坐像　1軀	鉾田市汲上1731　華徳院	昭46.3.29	平安後期。　修理(平10)
88	木造阿弥陀如来立像　1体	那珂市額田南郷375　阿弥陀寺	昭46.10.28	鎌倉末期。　修理(昭63)
89	木造阿弥陀如来及両脇侍立像　3軀	那珂市額田南郷429　引接寺	昭46.10.28 (追平6.1.26)	元禄9年（1696）［光圀寄進銘］。鎌倉末期。
90	木造如意輪観世音菩薩坐像　1体	桜川市坂本　坂本区	昭46.10.28	鎌倉時代。
91	木造狛犬　1対	桜川市磯部779　磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭46.10.28	室町末期。
92	木造薬師如来坐像　1体	桜川市磯部779　磯部稲村神社 (茨城県立歴史館寄託)	昭46.10.28	貞和2年(1346)［銘］。
93	木造阿弥陀如来立像　1体	常陸太田市東連地町200　宗教法人青蓮寺	昭46.10.28	鎌倉時代。
94	木造大日如来坐像　1体	神栖市波崎3355　神善寺	昭46.12.2	元和8年（1622）［銘］。
95	木造釈迦涅槃像　1体	神栖市波崎3355　神善寺	昭46.12.2	室町時代。　修理(平19～21)
96	木造狛犬　1対	桜川市西小塙462　二所神社	昭46.12.2	室町時代。
97	木造薬師如来坐像　1体	那珂市飯田1085　一乗院	昭47.12.18	室町中期。
98	木造毘沙門天像　1体	那珂市飯田1085　一乗院	昭47.12.18	鎌倉中期。　修理(平5)
99	木造吉祥天像　1体	那珂市飯田1085　一乗院	昭47.12.18	毘沙門天の脇侍。
100	木造善尼童子像　1体	那珂市飯田1085　一乗院	昭47.12.18	毘沙門天の脇侍。
101	木造阿弥陀如来脇侍三尊像　3体	常陸大宮市国長853　阿弥陀院	昭47.12.18	鎌倉中～末期。
102	銅造阿弥陀如来立像　1体	那珂市瓜連1221　常福寺	昭47.12.18	法量43.2㎝。
103	木造阿弥陀如来立像　1体	大洗町磯浜町7920　願入寺	昭47.12.18	鎌倉中期。
104	木造阿弥陀如来立像　1体	常陸大宮市石沢 1467　常弘寺（じょうこうじ）	昭47.12.18	室町時代か。
105	木造聖徳太子立像　1体	常陸大宮市石沢 1467　常弘寺	昭47.12.18	永禄6年(1563)［銘］。
106	木造阿弥陀如来脇侍三尊像　3体	水戸市大塚町　満福寺代表 (茨城県立歴史館寄託)	昭47.12.18	3体とも鎌倉中期。

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
107	金銅如意輪観音坐像　1体	行方市小幡 1038　観音寺	昭 49. 3. 31	鎌倉後半。忍性関連か。
108	木造薬師如来脇侍三尊像　3体	土浦市大岩田町 1616　法泉寺	昭 49. 3. 31	鎌倉末期。
109	木造薬師如来立像　1体	土浦市神立町 1215　観音寺	昭 49. 3. 31	鎌倉末期。
110	木造万年大夫(だゆう)夫婦坐像（胎内像含）　4体	日立市諏訪町３-11-13　諏訪神社	昭 49. 3. 31	元禄３年（1690）［光圀造立刻銘］。
111	十二神将像　12体	水戸市元吉田町 682　薬王院	昭 49. 11. 25	鎌倉末期。　修理（昭 49）
112	木造釈迦如来立像　1体	土浦市宍塚町 1461　般若寺	昭 50. 3. 25	鎌倉末期。　修理（平 13）
113	木造金剛力士立像　2体（附命禄三年修理銘木札１枚。元禄十年修理銘木札４枚、般若理趣経折本１冊）	稲敷市小野 318　逢善寺	昭 51. 7. 5	応永９年（1402）銘が造立年か。命禄は私年号で天文 11年（1542）に相当。
114	木造十一面観音坐像　1体	鹿嶋市棚木 371　大福寺	昭 52. 5. 2	延元５年（1340）［銘］。
115	木造阿弥陀如来坐像　1体	小美玉市上玉里 1700　円妙寺	昭 52. 5. 2	平安末期～鎌倉初期。　修理（平２）
116	木造千手観音立像　1体（附伝千手観音焼損像１体、伝胎内納入供養札１枚）	常陸太田市上宮河内町 3600　菊蓮寺	昭 54. 3. 8	寛元２年（1244）［銘札］。修理（昭 62）
117	木造不動明王立像　1体	常陸太田市上宮河内町 3600　菊蓮寺	昭 54. 3. 8	平安後期
118	木造天部形(てんぶがた)立像（寺伝毘沙門天像）　1軀	かすみがうら市東野寺 763-11　地福院	昭 54. 11. 1	12 世紀後半
119	木造薬師如来坐像　1軀	日立市久慈町　久慈町薬師堂保存会	昭 54. 11. 1	11 世紀後半～12 世紀初
120	木造聖徳太子坐像　1軀	日立市金沢町　毘沙門組太子像保存会	昭 57. 3. 4	室町末期。講讃太子像。
121	木心乾漆如来形(かんしつにょらいぎょう)坐像　1軀（附乾漆断片 64 片）	八千代町栗山 476-１　佛性寺	昭 57. 3. 4	９世紀前半。　修理（平 12）
122	木造阿弥陀如来坐像　1軀	筑西市下星谷　個人	昭 57. 3. 4	鎌倉中期（13 世紀半ば）。　修理（昭 59）
123	木造観世音菩薩立像　1軀	下妻市肘谷　肘谷(ひじや)自治区	昭 59. 3. 8	12 世紀。　修理（昭 62）
124	木造聖徳太子立像（摂政太子像）　1軀	下妻市下妻乙 350　光明寺	昭 59. 3. 8	南北朝時代。
125	木造阿弥陀如来立像　1軀	笠間市笠間 2591　光照寺	昭 60. 3. 25	鎌倉時代半ば。
126	木造大日如来坐像　1軀	笠間市加賀田　大日如来奉賛会	昭 60. 3. 25	文永 12 年(1275)[銘]。　修理(昭 62)
127	木造十一面観音坐像　1軀	牛久市久野町 2976　観音寺	昭 60. 12. 16	15 世紀。宋風。修理(平元)
128	木造阿弥陀如来坐像　1軀	土浦市沖宿町 1483　海蔵寺	昭 63. 1. 25	13 世紀後半。修理（昭 63）
129	木造十一面観音坐像　1軀	古河市横山町１-１-11　神宮寺	昭 63. 1. 25	室町時代。院派。
130	木造聖徳太子立像（松葉太子像）　1軀	古河市中田町 1334-２　光了寺	昭 63. 1. 25	南北朝時代。院派。

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
131	木造虚空蔵菩薩坐像　1躯	桜川市真壁町田　山口地区	平元．1．25	11 世紀。
132	木造菩薩立像（伝准胝（じゅんでい）観音）　1躯	桜川市真壁町羽鳥　羽鳥地区	平元．1．25	鎌倉時代。
133	木造広智（こうち）上人坐像　1躯	土浦市東城寺　東城寺地区	平２．1．25	嘉禎３年（1237）［墨書銘］。
134	木造不動明王立像・毘沙門天立像　２躯	桜川市本木 78　祥光寺	平３．1．25	祥光寺阿弥陀如来脇侍像。
135	木造天部立像　２躯	桜川市真壁町白井 582　清浄院	平４．1．24	平安時代（12 世紀）。
136	木造天部立像　２躯	桜川市真壁町白井 582　清浄院	平４．1．24	平安時代（12 世紀）。
137	木造薬師如来坐像　1躯	阿見町吉原 2289　西光寺	平５．1．25	平安後期。　修理(平 15)
138	木造阿弥陀如来立像　1躯 （附木造両脇侍像２躯）	阿見町追原 633　蔵福寺	平６．1．26	中尊：14～15 世紀初め。 修理(平 17～18)
139	銅造薬師如来立像　1躯	下妻市皆葉 891　薬樹山無量院	平７．1．23	鎌倉時代（13 世紀）。
140	木造観音菩薩立像　1躯	結城市結城 1139　大輪寺	平７．1．23	延文元年（1356）。
141	木造如意輪観音坐像　1躯 （附紙本墨書書状２通）	常総市豊岡町乙 2002　法性寺	平７．1．23	応安５年（1372）。
142	木造阿弥陀如来坐像　1躯	河内町生板 4947　妙行寺	平８．1．25	鎌倉時代（13 世紀）。
143	木造薬師如来坐像　1躯 （附木造両脇侍像２躯）	潮来市堀之内 1230　二本松寺	平９．1．27	鎌倉後期（14 世紀）。
144	銅造薬師如来立像　1躯	鉾田市梶山 846　光福寺	平９．1．27	平安後期（12 世紀）。
145	木造千手観音坐像　1躯	下妻市下妻乙　小野子自治区	平 11．1．25	鎌倉後期（13 世紀）。
146	木造大迦葉立像（だいかしょうりゅうぞう）　1躯	潮来市潮来 428　長勝寺	平 11．11．25	南北朝時代。
147	銅造大日如来及三十日仏坐像　21 躯	水戸市栗崎町 1985　宗教法人仏性寺	平 12．11．27	室町時代。
148	木造阿弥陀如来及脇侍像　２躯	つくばみらい市福岡台入会地　大楽寺	平 12．11．27	13 世紀初め。
149	銅造如来坐像及び菩薩立像　２躯	鹿嶋市神向寺 125　神向寺 （茨城県立歴史館寄託）	平 14．12．25	９世紀前半。
150	木造狛犬　1対	筑西市甲 37　宗教法人羽黒神社	平 16．11．25	鎌倉後期。
151	木造聖観音菩薩立像　1躯	稲敷市神宮寺 146　宗教法人神宮寺	平 17．11．25	平安末期（12 世紀後半）。
152	木造如意輪観音立像　1躯	那珂市福田　仲福田区	平 18．11．16	平安後期（12 世紀）。
153	木造十一面観音坐像　1躯	石岡市田島　田島区	平 18．11．16	鎌倉中期（13 世紀）。
154	木造聖徳太子立像（附修理銘札３枚、彩色奉加帳２冊）　1躯	常総市菅生町 5028　宗教法人無量寺	平 19．11．16	鎌倉後期（14 世紀初め）。
155	木造金剛力士立像　２躯	笠間市大田町 324　宗教法人養福寺	平 19．11．16	室町中期（15 世紀中頃）。
156	銅造誕生釈迦仏立像　1躯	筑西市小栗 2762　宗教法人西光寺 （茨城県立歴史館寄託）	平 19．11．16	奈良後半（８世紀末頃）。

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
157	木造十一面観音立像　1軀	八千代町八町149　太光山結城院新長谷寺	平20.11.17	貞和６年（1350）。大仏師院祥（いんしょう）制作。
158	木造阿弥陀如来坐像及立像（伝観音菩薩）・天部立像（伝虚空蔵菩薩）、木造四天王立像　7軀	桜川市本郷13　宗教法人妙法寺	平21.11.19	平安前期（９世紀末）。四天王像は10世紀初め頃。
159	木造千手観音立像及二天立像（附板光背残欠１枚）　3軀	北茨城市華川町下小津田197　宗教法人長照寺	平22.11.18	平安末期（12世紀）。
160	木造五大力（ごだいりき）菩薩像　5軀	桜川市池亀394　吉祥院	平25.1.24	平安末期（12世紀）。
161	木造釈迦如来坐像　1軀	守谷市大木676　宗教法人大円寺	平26.1.27	平安時代(12世紀)。元禄２年(1689)の修理銘あり。
162	銅造阿弥陀如来立像（附旧支柱１本）　1軀	笠間市平町291　浄乗寺	平30.12.27	13世紀後半。旧支柱に元禄11年(1698)の修理銘あり。
163	木造大日如来坐像・如来坐像3軀	笠間市片庭775　仏頂山楞厳寺	令4.12.26	鎌倉時代（13世紀）。
164	木造金剛力士立像（附　像内納入品一括）　2軀	桜川市本木1　雨引山楽法寺	令4.12.26	鎌倉時代（13世紀）。

【工芸品】

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	青銅鈴　1口	桜川市西小塙1677　月山寺	昭28.7.9	平安時代。五鈷鈴。総高28.5cm。
2	木製つのたらい　1口	桜川市西小塙1677　月山寺	昭28.7.9	江戸時代。桐唐草菊花文蒔絵角盥。
3	呉須皿（ごすざら）　1枚	桜川市西小塙1677　月山寺	昭28.7.9	中国明末期。呉須は黒褐色土。
4	螺鈿蒔絵香盆（らでんまきえこうぼん）　1面	常陸太田市金井町3690　常陸太田市	昭28.8.20	江戸時代。
5	護摩壇　1基	坂東市生子1617　萬蔵院	昭30.6.25	徳川家光寄進銘。
6	礼盤（らいばん）　2基	坂東市生子1617　萬蔵院	昭30.6.25	寛永10年（1633）［銘］。
7	脇机（わきづくえ）　5机	坂東市生子1617　萬蔵院	昭30.6.25	寛永10年（1633）。
8	払子（ほっす）　1振	結城市結城1725　安穏寺	昭32.1.25	煩悩を払う荘厳具。
9	珠数（じゅず）　1連	結城市結城1725　安穏寺	昭32.1.25	伝源翁心昭所持。
10	古鏡（こきょう）　1面	日立市弁天町　個人	昭32.1.25	鎌倉末期。愛染明王蓬莱鏡。
11	厨子　1基	桜川市西小塙1677　月山寺	昭32.1.25	康正２年(1456)[銘]。春日厨子

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
12	古鏡　1面	結城市結城　個人	昭 32. 6. 26	瑞花双鳳鏡。
13	五鈷鈴（ごこれい）　1箇	稲敷市小野 318　逢善寺	昭 32. 6. 26	平安後期。密教法具。
14	五鈷杵（ごこしょ）　1箇	稲敷市小野 318　逢善寺	昭 32. 6. 26	鎌倉初期。密教法具。
15	黒韋肩浅葱筋兜（くろかわかたあさぎすじかぶと）　1具	水戸市八幡町８-54　水戸八幡宮	昭 32. 6. 26	室町時代。佐竹義宣奉納。
16	鰐口（わにぐち）　1個	龍ケ崎市川原代町 1050　安楽寺	昭 33. 3. 12	文和２年（1353）［銘］。
17	鰐口　1個	潮来市上戸 624　観音寺	昭 33. 3. 12	観応３年（1352）［銘］。
18	虎の刺繍　1枚	美浦村木原 1941　永厳寺	昭 33. 3. 12	天文 23 年（1554）。
19	弥陀名号　1枚	石岡市大増 3220　大覚寺	昭 33. 3. 12	室町時代。刺繍。
20	蒔絵櫃（まきえびつ）　1合	水戸市西原　個人	昭 33. 3. 12	桃山時代。小型唐櫃。
21	百万塔　1基	結城市結城　個人	昭 33. 3. 12	木製彩色。奈良十大寺寄進。
22	つのたらい　1口	水戸市緑町２－１-15 茨城県立歴史館	昭 33. 7. 23	江戸時代。橘竹鶴蒔絵角盥。
23	黒漆螺鈿蒔絵台　1基	鹿嶋市宮中 2306-１　鹿島神宮	昭 33. 7. 23	鎌倉末期。牡丹竹鳥蝶蒔絵。
24	銅印　1顆	鹿嶋市宮中 2306-１　鹿島神宮	昭 33. 7. 23	平安時代。朱文方印。鶏頭鈕。
25	陶造狛犬　３軀	鹿嶋市宮中 2306-１　鹿島神宮	昭 33. 7. 23	室町時代後期。瀬戸鉄釉。
26	石灯籠　1基	鹿嶋市宮中 2306-１　鹿島神宮	昭 33. 7. 23	元和５年（1619）［銘］。
27	鐃（にょう）　1口	鹿嶋市宮中 2306-１　鹿島神宮	昭 33. 7. 23	平安時代。三鈷鐃。
28	軍配　1口	鹿嶋市宮中 2306-１　鹿島神宮	昭 33. 7. 23	室町時代。
29	軍陣鞍（ぐんじんくら）　1背	水戸市新荘　個人	昭 35. 3. 28	鎌倉時代。黒漆鞍。
30	銅板懸仏　1口	常総市諏訪町　個人	昭 35. 12. 21	室町初期。
31	銅鐘　1口	行方市乙 69　宝幢院	昭 35. 12. 21	永享３年(1431)[銘]。 防修理(昭 63)
32	太刀（銘国貞）　1口	土浦市桜町１丁目　個人 （東京国立博物館寄託）	昭 36. 3. 24	鎌倉中期。備前の刀工。
33	太刀（銘来橘光定）　1口	土浦市桜町１丁目　個人	昭 36. 3. 24	嘉慶２年（1388）［銘］。
34	太刀（銘景安（かげやす））　1口	鹿嶋市宮中 2306-１　鹿島神宮	昭 36. 3. 24	平安末期。備前刀工景安。
35	太刀（備前国長船住長光作永仁二年月日銘）　1口	牛久市柏田町 1606-1　個人 （管）牛久市	昭 36. 3. 24	永仁２年（1294）年紀。
36	太刀（銘大和国当麻友（たいまとも）　以下切（きれ））　1口	牛久市柏田町 1606-1　個人 （管）牛久市	昭 36. 3. 24	南北朝時代。友清（ともきよ）作と伝える。
37	礼盤（らいばん）　1基	城里町徳蔵 874　徳蔵寺	昭 37. 2. 26	天正６年（1578）［寄進銘］。

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
38	太刀（無銘 伝大村加卜（おおむらかぼく））白鞘（しらさや） 1口	ひたちなか市市毛 個人	昭 37. 8. 27	貞享２年（1685）［銘］。
39	螺鈿硯箱 1合	筑西市中舘 522 観音寺	昭 37. 10. 24	楼閣人物螺鈿硯箱。
40	六地蔵石幢（せきどう） 1基	水戸市緑町２－１－15 茨城県立歴史館	昭 37. 10. 24	もとはつくば市個人蔵。
41	石造燈籠 1基	つくば市小田 2716 長久寺	昭 37. 10. 24	高さ 211cm。
42	鎧（兜、大袖付） 1具	水戸市東台 個人	昭 37. 10. 24	紺糸威の胴丸具足。
43	鎧（兜、大袖付） 1具	水戸市泉町 個人	昭 37. 10. 24	安土桃山。胴丸具足。
44	鐙（あぶみ） 1具	水戸市緑町２－１－15 茨城県立歴史館	昭 37. 10. 24	鉄製。加賀銀象眼。
45	鞍 1背	水戸市五軒町１－４－28 個人 （水戸市立博物館寄託）	昭 37. 10. 24	水干鞍。黒漆地金蒔絵。
46	大薙刀（おおなぎなた） 1口	水戸市宮町 東照宮 （茨城県立歴史館寄託）	昭 37. 10. 24	南北朝時代。備前長船元重。
47	銅製経筒（きょうづつ） 1口	水戸市天王町８－17 神崎寺	昭 37. 10. 24	長承２年（1133）［銘］。
48	礼盤 1基	境町 974 吉祥院	昭 37. 10. 24	寛永 10 年（1633）［銘］。
49	銅鐘 1口	筑西市岡芹 957 定林寺（じょうりんじ）	昭 38. 8. 23	永禄 10 年（1567）［銘］。
50	五鈷鈴 1口	古河市小堤 円満寺 （茨城県立歴史館寄託）	昭 38. 8. 23	平安時代か中国唐代。
51	三鈷杵 1口	古河市小堤 円満寺 （茨城県立歴史館寄託）	昭 38. 8. 23	中国唐代説あり。
52	石造五輪塔 2基	かすみがうら市上佐谷 個人	昭 38. 8. 23	２基とも慶長 16 年(1611)［銘］。
53	鐙 1具	水戸市五軒町１－４－28 個人 （水戸市立博物館寄託）	昭 38. 8. 23	昭 37 指定の鞍と１具。
54	太刀（葵くずし紋） 1口	結城市結城 800－２ 個人	昭 38. 8. 23	斉昭の作。将軍家慶が佩用。 名称変更(平 30)
55	太刀（銘吉房） 1口	水戸市宮町 東照宮 （茨城県立歴史館寄託）	昭 38. 8. 23	備前国福岡一文字派。
56	板碑 1基	筑西市岡芹 957 定林寺	昭 39. 7. 31	高さ 155cm。
57	角赤文庫（つのあか） 1合	かすみがうら市下志筑 個人 （茨城県立歴史館寄託）	昭 39. 7. 31	蒔絵手箱。
58	大袖鎧（だいそでよろい） 1具	筑西市下中山 732－ 1 八幡神社 (管) 筑西市教育委員会	昭 39. 7. 31	二枚胴具足（にまいどうぐそく）。
59	大袖鎧 1具	水戸市泉町 個人	昭 39. 7. 31	五枚胴具足。
60	鐙 1具	水戸市泉町 個人	昭 39. 7. 31	鉄製、加賀銀象嵌。
61	瑞花雙鳥八稜鏡（ずいかそうちょうはちりょうきょう） 1面	下妻市大宝 667 大宝八幡宮	昭 40. 2. 24	平安時代か。
62	宝塔鈴 1基	石岡市若宮２－４－24 不動院	昭 40. 2. 24	銅鋳製。柄の上に塔形。
63	草花双鳥円鏡（そうかそうちょうえんきょう） 1面	鹿嶋市宮中 2306－１ 鹿島神宮	昭 40. 2. 24	白銅製。 盗難(昭 45)

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
64	十一面観音御正体（みしょうたい）　1面	鹿嶋市宮中 2306-1　鹿島神宮	昭 40. 2. 24	銅板製、線刻。盗難（昭 45）
65	宝珠杵　1口	かすみがうら市深谷 1399　法蔵寺	昭 40. 2. 24	鎌倉末期。銅鋳製
66	瑞花雙鳥八稜鏡　1面	つくば市玉取 2617　八坂神社	昭 40. 2. 24	南北朝時代。白銅製
67	金梨地（きんなしじ）蒔絵鞍　1背	水戸市緑町2-1-15　茨城県立歴史館	昭 41. 3. 7	安土桃山時代。
68	六地蔵石幢　1基	土浦市東城寺 650　東城寺地区	昭 41. 3. 7	室町末期か。
69	石造五輪塔　1基	土浦市小高 212　小高地区	昭 41. 3. 7	永正 12 年(1515)。頭白上人逆修塔。
70	石造五輪塔　1基	筑西市村田 1736　村田仲町集落	昭 41. 3. 7	倒壊防止（平7）
71	石造五輪塔　1基	つくば市玉取　個人	昭 41. 3. 7	高さ 136cm。
72	石造五輪塔　1基	かすみがうら市上佐谷　個人	昭 41. 3. 7	文禄2年（1593）［刻］。
73	六地蔵石幢　1基	土浦市永井　個人	昭 42. 3. 30	室町末期～桃山時代。
74	銅鐘　1口	城里町塩子 1736　岩谷山仏国寺	昭 42. 3. 30	貞享元年（1684）寄進。
75	石造九重層塔　1基	つくば市神郡　個人	昭 42. 11. 24	慶長年間。総高 253cm。
76	棕毛払子（そうもうほっす）　1振	土浦市高岡 1890　法雲寺	昭 43. 3. 28	中国元代の作。
77	梵鐘　1基	五霞町山王山 827-1　東昌寺（とうしょうじ）	昭 43. 3. 28	文明8年（1476）［銘］。
78	石造　五輪塔　1基	土浦市宍塚町 1461　般若寺（はんにゃじ）	昭 43. 3. 28	建治元年（1275）［刻銘］。
79	熏韋威胴丸鎧（ふすべかわおどしどうまるよろい）　1領	ひたちなか市南神敷台　個人	昭 43. 3. 28	室町末期。銅丸式の鎧。
80	鎧櫃（よろいびつ）　1領	ひたちなか市南神敷台　個人	昭 43. 3. 28	ケヤキ材。笈形鎧櫃。
81	古面（こめん）　5面	潮来市島須 530　御札神社	昭 44. 3. 20	抜頭（ばとう）など5舞楽面。
82	青磁三階塔（せいじさんかいとう）　1基	土浦市高岡 1890　法雲寺	昭 44. 3. 20	青磁の三重塔形。
83	蒔絵提単笥（まきえさげたんす）　1箱	石岡市国府　個人	昭 44. 12. 1	江戸時代か桃山期。
84	石造九重層塔　1基	かすみがうら市牛渡　個人	昭 44. 12. 1	伝小田孝朝供養塔。
85	鰐口　1個	かすみがうら市安食　大宮神社	昭 44. 12. 1	応永 10 年（1403）［銘］。
86	石造五輪塔　1基	土浦市本郷　個人	昭 45. 5. 28	室町時代。高さ 170cm。
87	二枚胴具足　1具	石岡市山崎 635　個人	昭 45. 9. 28	江戸時代。
88	五鈷杵　1口	桜川市本木1　楽法寺	昭 45. 9. 28	平安末期頃。出土品。
89	六地蔵石幢　1基	つくば市平沢 582　平沢区	昭 46. 1. 28	
90	石造宝篋印塔　1基	つくば市小田　つくば市	昭 46. 1. 28	鎌倉時代。 解体組合せ（平 17）
91	石造五輪塔　1基	つくば市北条 102-1 八坂神社氏子総代	昭 46. 1. 28	天文年間［銘（経筒）］。
92	鍍金八角釣燈籠（ときんはっかくつりとうろう）　1基	潮来市水原 1121　愛染院	昭 46. 1. 28	元禄 14 年（1701）［銘］。
93	高麗焼茶碗　1個	潮来市潮来 428　長勝寺	昭 46. 10. 28	元禄8年(1695)［光圀寄進銘］。
94	扇散蒔絵書棚（おうぎちらしまきえしょだな）　1架	大洗町磯浜町 8231　大洗町	昭 46. 12. 2	明治時代。
95	短刀　1振	大洗町磯浜町 8231　大洗町	昭 47. 12. 18	初代新藤五国光（しんとうごくにみつ）の作。

No.	名　称　・　数	所在地 及び 所有者	指定年月日	製作年代・備考
96	説相箱　1個	那珂市瓜連1221　常福寺	昭47.12.18	江戸初期。
97	七官青磁香炉台　1個	那珂市瓜連1221　常福寺	昭47.12.18	中国明代。円筒形。
98	八稜鏡　1個	那珂市瓜連1221　常福寺	昭47.12.18	鎌倉時代。
99	香合　2個	大洗町磯浜町7920　願入寺	昭47.12.18	屈輪堆黒香合、獅子牡丹堆朱香合。
100	朱漆塗蔦葛模様椀　5個	大洗町磯浜町7920　願入寺	昭47.12.18	漆絵椀。
101	和鏡　1面	潮来市牛堀17　潮来市教育委員会	昭49.3.31	州浜松菊花散双雀鏡。
102	蒔絵鏡箱　1合	日立市弁天町　個人	昭49.3.31	室町時代。円形。
103	華蔵院の梵鐘　1個	ひたちなか市栄町1－1－33　華蔵院	昭49.3.31	暦応2年（1339）［銘］。
104	宝篋印塔　1基	石岡市半田　個人	昭49.3.31	江戸時代。高さ150cm。
105	金銅割五鈷杵　1個	土浦市大岩田町1616　法泉寺	昭49.3.31	鎌倉末期。鍍金。15.2cm。
106	五鈷鈴　1個	土浦市神立町1215　観音寺 （土浦市立博物館寄託）	昭49.3.31	平安末～鎌倉初期。
107	銅製丸鏡　1面	土浦市大和町9－1　土浦市 （土浦市立博物館保管）	昭49.3.31	草花双鳥鏡。面径11cm。
108	灌頂用具　15点	水戸市六反田町767－2　六地蔵寺	昭50.3.25	明鏡は平安時代。
109	密教法具　23点	水戸市六反田町767－2　六地蔵寺	昭50.3.25	鎌倉～江戸時代まで。
110	銅装龍輪宝羯磨文戒体箱　1合	水戸市六反田町767－2　六地蔵寺	昭50.3.25	室町末期。
111	銅装龍輪宝羯磨文説相箱　2合	水戸市六反田町767－2　六地蔵寺	昭50.3.25	室町末期。
112	銅板貼山伏笈　1背	水戸市六反田町767－2　六地蔵寺	昭50.3.25	天正18年（1590）［墨書銘］。
113	漆塗経櫃　1合	水戸市六反田町767－2　六地蔵寺	昭50.3.25	室町後期。
114	瀬戸緑釉狛犬　2体	ひたちなか市富士ノ上2－1　天満宮	昭51.7.5	室町後期。
115	鰐口　1口	小美玉市上玉里　大宮神社 （小美玉市玉里史料館寄託）	昭52.5.2	正嘉元年（1257）［銘］。
116	鰐口　1口	常陸太田市小中町　個人	昭52.5.2	永和5年（1379）［銘］。
117	竹織払子　1振	土浦市高岡1890　法雲寺	昭56.12.24	中国元代。
118	石造燈籠　1基	土浦市小野126－7　日枝神社	昭56.12.24	永正8年（1511）［銘］。
119	漆皮軍配（伝太田道灌奉納）　1柄 寛文八年ノ太田資宗、資次寄進ノ箱アリ	石岡市総社2－8－1　常陸国総社宮	昭58.3.18	寛文8年（1668）［銘］。
120	漆皮軍配（伝佐竹義宣奉納）　1柄	石岡市総社2－8－1　常陸国総社宮	昭58.3.18	天正18年（1590）［銘］。
121	銅鐘（「嘉慶元年」の銘と「享徳五年」の追銘あり）　1口	下妻市大宝667　大宝八幡宮	昭59.3.8	嘉慶元年（1387）［銘］。
122	太刀（銘常州水戸住藤原近則）　1口	大洗町磯浜町6890　大洗磯前神社	平2.1.25	嘉永5年（1852）［銘］。

No.	名　称・数		所在地 及び 所有者		指定年月日	制作年代・備考
123	能面	６面	常陸大宮市下町 221	甲神社	平４.１.24	16 世紀。
124	総毛引紅糸威胴丸具足（そうけびきくれないいとおどし）	１領	水戸市宮町	東照宮 （茨城県立歴史館寄託）	平 10.１.21	徳川家康着用の所伝あり。
125	鰐口 如意寺、嘉暦三年在銘	１口	笠間市上市原 942	宗教法人如意輪寺	平 16.１.８	江戸時代。
126	鰐口 如意寺、嘉暦三年在銘	１口	水戸市緑町２－１－15	茨城県立歴史館	平 16.１.８	鎌倉時代。
127	葆光彩磁葡萄紋様花瓶（ほこうさいじ） 板谷波山作	１口	笠間市笠間 2345	茨城県陶芸美術館	平 16.11.25	大正 11 年。
128	氷華磁仙桃文花瓶 板谷波山作	１口	笠間市笠間 2345	茨城県陶芸美術館	平 16.11.25	大正 15 年頃。

【書跡】

No.	名　称・数		所在地 及び 所有者		指定年月日	制作年代・備考
1	紺紙金字法華経	８巻	桜川市西小塙 1677	月山寺	昭 28.７.９	鎌倉時代。
2	往生要集	１冊	結城市結城 152	称名寺	昭 33.３.12	往生要集延書（のべがき）。
3	大般若波羅蜜多経	391 巻	土浦市沖宿町 1483	海蔵寺	昭 33.３.12	承安５年（1175）［奥書］。
4	妙法蓮華経	10 巻	稲敷市小野 318	逢善寺	昭 33.３.12	木版刷りの春日版。
5	宋版一切経	5400 巻	桜川市真壁町東山田 1644	最勝王寺	昭 33.３.12	中国宋代。天海版。
6	妙法蓮華経	１巻	石岡市大増 3220	大覚寺	昭 33.３.12	紺紙金泥の写本。
7	唐本一切経（とうほんいっさいきょう）	３帖	笠間市笠間 39	笠間稲荷神社	昭 33.７.23	建長７年（1255）［識語］。
8	北斗寺仏儀次第（ほくとじぶつぎしだい）	４巻	つくば市栗原 1129	北斗寺	昭 35.12.21	室町時代の写本。
9	阿弥陀寺御文（おふみ）	１帖	坂東市長須 4359	阿弥陀寺	昭 35.12.21	室町時代。
10	無量寿寺御文書	１帖	鉾田市鳥栖 1013	無量寿寺	昭 35.12.21	蓮如の書簡 19 通。
11	大般若波羅蜜多経	15 巻	日立市神峰町	個人	昭 37.２.26	承安３年（1173）校の奥書あり。
12	大般若波羅蜜多経	１巻	水戸市堀町	個人	昭 38.８.23	鎌倉時代末の春日版か。
13	一遍上人名号	１幅	石岡市国府	個人	昭 39.７.31	
14	大般若波羅蜜多経	336 巻	桜川市加茂部 694	鴨大神御子神主玉神社（かもおおかみみこかみぬしたまじんじゃ） （茨城県立歴史館寄託）	昭 41.３.７	正安・元応奥書（13～14 世紀初）。
15	大般若経	490 巻	桜川市本木１	楽法寺	昭 42.３.30	天文 10 年（1541）・15 年[寄進銘］。
16	唐本一切経（抜藤原時朝）	２巻	水戸市西原	個人	昭 42.11.24	宋版一切経の一部。
17	後奈良天皇歌切（うたぎれ）	１巻	つくば市栗原 1129	北斗寺	昭 42.11.24	後奈良天皇宸筆、４首の歌。
18	神号天照皇太神（しんごうあまてらすこうたいじん）	１巻	小美玉市羽鳥	個人	昭 42.11.24	後陽成天皇御宸筆。
19	紺紙金泥（こんしきんでい）大般若波羅蜜多経（巻506）	１巻	土浦市高岡 1890	法雲寺 （土浦市立博物館寄託）	昭 43.３.28	鎌倉末期。１巻のみ残る。

No.	名　称・数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
20	法雲寺文書　一括	土浦市高岡 1890　法雲寺 （土浦市立博物館寄託）	昭 43. 3. 28	中世寺領寄進状、禁制書状。
21	芹沢文書一括　62 点	石岡市国府　個人	昭 44. 12. 1	室町～江戸初期。
22	六地蔵寺所蔵典籍・文書 典籍 892 部・文書 407 点	水戸市六反田町 767－2　六地蔵寺	昭 46. 3. 29	戦国時代。恵範（えはん）が筆写・著述。
23	了誉筆別当職譲状（りょうよひつべっとうしきゆずりじょう）　1 幅	那珂市瓜連 1221　常福寺	昭 47. 12. 18	応永 22 年(1415)［了誉の書筆］。
24	日本書紀私鈔（ししょう）並ニ人王（じんのう）百代具（ぐ）名記（みようき）　3 冊	那珂市瓜連 1221　常福寺	昭 47. 12. 18	了誉著作の写本（応永 15 年(1408)写）。
25	阿弥陀経　1 巻	那珂市瓜連 1221　常福寺	昭 47. 12. 18	斉昭 25 歳の真蹟。
26	唯信鈔断片（ゆいしんしょうだんぺん）　1 幅	大洗町磯浜町 7920　願入寺	昭 47. 12. 18	親鸞が書写した断片の 1 枚。
27	蓮如筆消息大根田御坊宛　1 幅	大洗町磯浜町 7920　願入寺	昭 47. 12. 18	
28	正宗寺所蔵文書　7 通	常陸太田市増井町 1514　正宗寺	昭 49. 3. 31	円覚寺及び黄梅院（おうばいいん）文書。
29	後光厳天皇御消息　1 軸	ひたちなか市殿山町　個人	昭 49. 3. 31	北朝４代天皇宸筆。
30	日蓮書状　（文永 11 年７月 26 日南條七次郎時光あて）　1 通	常陸太田市新宿町 239　久昌寺	昭 56. 12. 24	鎌倉時代。
31	日乗日記　13 冊	常陸太田市新宿町 239　久昌寺	昭 56. 12. 24	修理（平２～４）
32	唐本一切経　1 巻	笠間市稲田 562　西念寺	昭 63. 1. 25	平安時代末。
33	金剛般若波羅蜜経　1 巻	笠間市石井 1747　高乾院	平５. 1. 25	弘安４年(1281)。 修理(平 10)
34	紙本墨書　神皇正統記六地蔵寺本　3 冊	水戸市六反田町 767－2 宗教法人六地蔵寺	平 16. 1. 8	神皇正統記の写本(明徳５年(1394))を恵潤が筆写。

【古文書】

No.	名　称・数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
1	常陸総社文書　安政二年修理ノ奉納箱アリ　50 通	石岡市総社２－８－１ 常陸国総社宮	昭 58. 3. 18	総社の神主家に伝わる 50 通の文書。
2	鳥名木（となぎ）家文書　41 点	行方市手賀　個人 （茨城県立歴史館寄託）	平６. 1. 26	手賀氏の分流鳥名木家に伝わる。
3	健田須賀（たけだすが）神社文書 19 点（２巻）	結城市結城 195　健田須賀神社	平８. 1. 25	文和元(1352)～天正８(1580)年。
4	真壁長岡古宇田（こうだ）文書　35 点	桜川市真壁町真壁 57－1 真壁伝承館歴史資料館	平 11. 11. 25	真壁氏庶流古宇田氏。

No.	名　称・数		所在地 及び 所有者		指定年月日	成立年代・備考
5	親鸞門侶交名（もんりよきようみよう）	１巻	下妻市下妻乙 350	光明寺	平 19.11.16	三河妙源寺本と共に貴重。
6	鹿島神宮文書	250 点(18 巻)	鹿嶋市宮中 2306-１	鹿島神宮（茨城県立歴史館寄託）	平 22.11.18	鹿島神宮に伝わる古文書群。
7	税所（さいしよ）文書	19 点(１帖)	石岡市国府	個人（茨城県立歴史館寄託）	平 27．1．22	常陸国衙の在庁官人関係文書。鎌倉期～南北朝期。
8	臼田文書	１巻１帖	稲敷市羽賀	個人	平 29．1．26	臼田家に伝わる中世から戦国期の文書群。
9	岡澤文書	８点	稲敷市福田	個人	令３．12．27	地方の刀鍛冶家に伝わる文書群。
10	税所（さいしよ）文書（山戸本）	86 点（２帖）	大洗町磯浜町	個人（茨城県立歴史館寄託）	令５．12．28	常陸国衙の在庁官人関係文書。南北朝期～江戸期。

【考古資料】

No.	名　称・数		所在地 及び 所有者		指定年月日	成立年代・備考
1	板碑	１基	つくば市金田 1658-１	つくば市	昭 30．11．25	文永９年(1272)［刻銘］。
2	東城寺結界石	１基	土浦市東城寺 650	東城寺地区	昭 41．３．７	建長５年(1253)[年刻銘]。
3	下坂田の板碑	１基	土浦市下坂田 1116-２	個人	昭 41．３．７	永仁６年(1298)[年刻銘]。
4	丸山古墳出土遺物	212 点	石岡市柿岡 5680	石岡市	昭 42．11．24	４世紀末～５世紀初。
5	経筒・石櫃付	１組	石岡市柿岡 5680	石岡市	昭 42．11．24	大永３年(1523)[陰刻銘]。
6	結界石	１基	土浦市宍塚 1461	般若寺（土浦市立博物館寄託）	昭 43．３．28	建長５年(1253)［刻銘］。
7	鹿（埴輪）	１対	石岡市柿岡 5680	石岡市	昭 44．３．20	雄・雌１対。
8	狐塚古墳出土遺物一括	24 点	桜川市岩瀬	桜川市教育委員会	昭 44．12．１	短甲・銅鏃など出土。
9	丸木舟	１艘	龍ケ崎市馴馬町 2488	龍ケ崎市	昭 50．３．25	マツ材、残存部全長約 6.3m。
10	板碑	１基	筑西市辻	個人	昭 50．６．25	弘安元年(1278)［銘］。
11	鐃（によう）の鋳型鎔笵（いがたようはん）	１面	土浦市大和町９－１	土浦市（土浦市立博物館保管）	昭 55．２．28	鎌倉期か。密教法具。
12	丸木舟	１艘	下妻市大宝 667	大宝八幡宮	昭 59．３．８	クロマツ、長さ 6.05m。
13	銅印	１顆	水戸市緑町２－１－15	茨城県立歴史館	平４．１．24	「丈永私印」。
14	人物埴輪	１軀	東海村村松 768-38	東海村	平６．１．26	舟塚１号墳出土。正装男子像。
15	乳飲み児を抱く埴輪（大平（おおだいら）古墳群黄金塚出土）	１軀	ひたちなか市中根	ひたちなか市教育委員会	平９．１．27	高さ 27.5cm。腹部より下を欠失。
16	巴形銅器（宮平遺跡出土）	１箇	石岡市染谷 1646	石岡市教育委員会	平 10．１．21	全径 5.0cm。

No.	名　称・数	所在地 及び 所有者	指定年月日	成立年代・備考
17	後野(うしろの)遺跡出土石器及土器　160点	ひたちなか市中根　ひたちなか市教育委員会	平12.11.27	細石刃文化、大型石刃文化の新旧関係が判明。
18	十王台遺跡出土十王台式土器　3点	日立市十王町友部東　個人（十王公民館、東京国立博物館寄託）	平14.12.25	弥生後期。
19	海後(かいご)遺跡出土人面付土器　1点	水戸市緑町2－1－15　茨城県立歴史館	平14.12.25	弥生中期。
20	小野天神前遺跡出土土器　19点	水戸市緑町2－1－15　茨城県立歴史館	平16.11.25	弥生時代中期の再葬墓(さいそうぼ)一括。
21	富士見塚1号墳・2号墳・3号古墳出土遺物　一括	かすみがうら市柏崎358－1　かすみがうら市	平20.11.17	5世紀末～6世紀初頭。埴輪、鉄鏃など一括。
22	東中根遺跡群出土遺物　18点	ひたちなか市中根3499　ひたちなか市	平21.11.19	弥生時代後期前半の土器及び紡錘車。
23	一本松遺跡出土遺物　13点	大洗町磯浜町6881-88　大洗町	平23.11.17	弥生時代後期の巴形銅器を含む土器、紡錘車等。
24	神岡上(かみおかかみ)古墳群第3号墳出土遺物　345点	北茨城市磯原町磯原130－1　北茨城市教育委員会	平25.1.24	七鈴鏡1点、鉄鏃32点、直刀4点、土製模造品266点など。
25	舟塚古墳出土遺物　39点	水戸市笠原町978－6　茨城県（茨城県立歴史館保管）	平27.1.22	埴輪39点（円筒埴輪16点・朝顔形埴輪5点・人物埴輪17点・家形埴輪1点）小美玉市上玉里出土。
26	信太入子ノ台遺跡出土蔵骨器　3点	美浦村大字土浦2359　美浦村教育委員会（美浦村文化財センター保管）	平30.12.27	8世紀末～9世紀。2点が完形。蓋1点に「大伴」の墨書あり。
27	坪井上(つぼいうえ)遺跡出土硬玉製大珠(たいしゅ)　7点	常陸大宮市中富町1087-14　常陸大宮市教育委員会（常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館保管）	令元.12.26	縄文時代中期。一つの遺跡からの出土数としては異例。
28	堀米A遺跡出土硬玉製大珠　5点	東海村大字村松768-38　東海村	令4.12.26	縄文時代中期の5点の硬玉製（翡翠）大珠・垂飾。
29	十五郎穴横穴群出土品　一括	ひたちなか市中根3499　ひたちなか市（ひたちなか市埋蔵文化財調査センター保管）	令6.12.26	7世紀前葉～9世紀前葉。刀子、大刀、鉄釘、須恵器等267点。

【歴史資料】

No.	名　称・数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
1	紙本墨書大般若経（附唐櫃3合）　569帖	那珂市額田北郷　542　毘盧遮那寺	昭52.5.2	明応4（1495）～8年。

No.	名　称・数	所在地 及び 所有者	指定年月日	制作年代・備考
2	訂正常陸国風土記版木（附箱板２枚）　20 枚のうち 19 枚	日立市諏訪町４-28-11　個人（茨城県立歴史館寄託）	昭 60. ３. 25	天保 10 年（1839）出版の版木。
	20 枚のうち１枚	水戸市緑町２-１-15 茨城県立歴史館	昭 60. 12. 26(追)	
3	四神旗（しじんき）　附祝文（写）　４旒	笠間市稲田 763-１　稲田神社（茨城県立歴史館寄託）	昭 63. １. 25	
4	佐竹義昭奉加帳　１巻	常陸大宮市下町 221　甲（かぶと）神社	平８. １. 25	弘治３年(1557)。修理（平 17）
5	鹿（か）の子遺跡出土漆紙文書　一括	石岡市柿岡 5680　石岡市教育委員会	平 14. １. 25	国庁作成帳簿類。
6	河口家医学等関係資料　896 点	古河市錦町８-15　個人	平 19. 11. 16	旧古河藩医の河口家に伝わる医学資料群。
7	徳川光圀書翰集　７巻（54 通）	水戸市三の丸１-５-38　茨城県立図書館（茨城県立歴史館寄託）	平 23. 11. 17	光圀自筆書翰 53 通及び右筆書き１通。修理（平 24）
8	色川三中関係史料　522 点	土浦市大和町９-１　土浦市（土浦市立博物館保管）	平 28. １. 21 令２. 12. 28(追) 同日(名称変更)	城下町土浦の庶民生活や文化の様相を知る上で貴重。追加指定「色川三中草稿」（22 点）。
9	長久保赤水（せきすい）関係資料　107 点	高萩市高萩８-１　高萩市（高萩市歴史民俗資料館保管）	平 29. １. 26 令２. ９. 30 （員数変更）	天文学者・農政学者長久保赤水の業績を伝える。ほかに国指定 693 点（令２）。
10	紙本墨書　聖護院道興筆天神名号　１幅	桜川市真壁町東山田 1457　個人	令３. 12. 27	聖護院道興が山田慶城坊に止宿した際にしたためた書。

イ　無形文化財

No.	名　称	所在地 及び 保持者・保持団体	指定年月日	備　考
1	結城紬（縮織（ちぢみおり））	結城市結城 13-２（財）重要無形文化財結城紬技術保存会	昭 28. 11. 14	強い撚りを加え、縮んで表面がちりめん状になる織り方。
2	西の内紙（手漉和紙）	常陸大宮市舟生　本西の内紙保存会（平 28. １. 21 追加認定）	昭 46. 12. ２	昭 46. 12. ２認定保持者 菊池五介（２代 平３. ２. 14 死亡） 菊池一男（平 16. ３. 31 死亡） 小野瀬角次（平 27. 10. 15 死亡） 平３. ３. 27 追加認定保持者 菊池五介（３代 平 19. ５. 19 死亡） 平 19. 11. 16 追加認定保持者 菊池正氣（令２. ２. 17 死亡）

No.	名　称	所在地 及び 保持者・保持団体	指定年月日	備　考
3	粟野春慶塗（あわのしゆんけいぬり）	城里町粟 458　稲川武男	平元. 1.25	木地の木目を透かしてみせる。
4	鹿島新當流（附 起請文１巻・傳法書１巻）	鹿嶋市宮中　鹿島新當流彰古会	平元. 9.27	塚原卜伝の編み出した剣の流派。

ウ　有形民俗文化財

No.	名　称 ・ 数	所在地 及び 所有者	指定年月日	備　考
1	日立風流物人形頭　122 頭	日立市神峰町４-11-12　個人	昭 39. 7. 31	操り人形頭。
2	浮島所在の田下駄一括　45 足	稲敷市八千石 18-１　稲敷市	昭 46.12. 2	
3	獅子頭　１頭	石岡市府中２-４-５　土橋町区長	平４. 1.24	江戸時代。重量約 17 ㎏。
4	潮来祇園祭礼山車（附唐獅子１対）　３台	潮来市潮来　潮来祇園祭礼山車保存会	平５. 1.25	素鵞熊野神社祭礼の山車。
5	西塩子の回り舞台　一式	常陸大宮市西塩子 150-３　西塩子の回り舞台保存会	平 11.11.25	文政年間。農村歌舞伎舞台。
6	ささら獅子頭　３点	常陸大宮市中富町 1087-14　第６区（常陸大宮市歴史民俗資料館寄託）	平 16.11.25	永正 14 年(1517)［墨書銘］。

エ　無形民俗文化財

No.	名　称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
1	浅川のささら	大子町浅川 3903　浅川ささら保存会	昭 30. 6.25	熊野神社。３月 27 日・28 日。
2	火消行列	常陸太田市町田町１　火消行列保存会	昭 30. 6.25	６年毎の３月下旬。
3	真家みたまおどり	石岡市真家 273　真家みたまおどり保存会	昭 33. 3.12	福寿院及び真家地内。８月 15 日。
4	西金砂（かなさ）神社田楽舞	常陸太田市上宮河内町 1915　西金砂神社田楽舞保存会	昭 35. 3.28	金砂大祭礼(72 年)、小祭礼(６年)。
5	東金砂神社田楽舞	常陸太田市天下野町 9740　東金砂神社田楽舞保存会	昭 35. 3.28	金砂大祭礼(72 年)、嵐除祭(６年)。
6	塚崎の獅子舞	境町塚崎　塚崎獅子舞保存会	昭 35. 3.28	香取神社。4 月・7 月・11 月の 15 日。
7	猿島ばやし	坂東市生子 1465　猿島ばやし保存会	昭 36. 3.24	生子（おいご）八坂神社。７月 15 日～22 日。
8	からかさ万灯	土浦市大畑　大畑からかさ万灯保存会	昭 37.10.24	鷺神社。８月 15 日。
9	排禍（はいか）ばやし	石岡市片野 620　排禍ばやし保存会	昭 37.10.24	片野八幡神社。７月第３日曜。
10	大生（おおう）神社巫子舞（みこまい）神事	潮来市大生 814　大生神社	昭 38. 8.23	11 月 14 日前夜祭、11 月 15 日本祭。
11	柿岡からくり人形	石岡市柿岡 1857　からくり人形保存会	昭 38. 8.23	柿岡八幡神社及び町内。7 月 24 日。
12	西丸山祈祷ばやし	つくばみらい市西丸山　西丸山祈祷囃子保存会	昭 38. 8.23	鹿島神社。１月中旬・５月。

No.	名　　称	所在地 及び 保存団体	指定年月日	公開場所・公開日等
13	日立のささら	日立市宮田･助川･会瀬･大久保･諏訪･水木･成沢 日立郷土芸能保存会	昭 38. 8. 23 昭 45. 9. 28(追) 昭 46. 7. 19(追)	泉神社ほか。
14	潮来ばやし （獅子舞を含む）	潮来市潮来　潮来ばやし保存会	昭 39. 7. 31	素鵞熊野（そがくまの）神社。８月７日～９日。
15	延方相撲（のぶかたすもう）	潮来市延方乙 1885　鹿嶋吉田神社	昭 39. 7. 31	鹿嶋吉田神社。７月 27 日。
16	小栗内外（おぐりないげ）大神宮太々神楽	筑西市小栗１　太々神楽保存会	昭 41. 3. 7	４月 21 日、11 月 10 日の直近の日曜日。
17	大串のささらばやし	水戸市大串町　ささらばやし保存会	昭 41. 3. 7	稲荷神社。11 月 23 日。
18	大野のみろくばやし	水戸市下大野町　みろくばやし保存会	昭 41. 3. 7	稲荷神社。11 月 23 日。
19	上戸（うわど）の獅子舞	潮来市上戸 1551　獅子舞保存会	昭 43. 3. 28	国神神社。11 月 23 日。
20	神田ばやし	坂東市神田山 3108　神田ばやし保存会	昭 49. 11. 25	７月 16 日･17 日､11 月第２日曜日。
21	田宮ばやし	土浦市田宮　田宮ばやし保存会	昭 52. 5. 2	７月末の日曜日を中心に３日間。
22	三和祇園ばやし	古河市東山田 24　三和郷土芸能保存会	昭 53. 1. 26	７月中旬各地区の夏祭り。
23	大津の盆船（ぼんぶね）流し	北茨城市大津町 常陸大津の御船祭保存会	昭 54. 3. 8	大津漁港。８月 13 日～16 日。
24	石岡ばやし	石岡市石岡 2812-3 石岡囃子連合保存会	昭 55. 2. 28	常陸国総社宮。９月 14 日～16 日。
25	磐戸神楽	古河市大和田　大和田磐戸神楽保存会	平元. 1. 25	鷲神社。４月４日。
26	水戸大神楽（だいかぐら）	水戸市元山町 1-3-43　柳貴家正楽（やなぎやしょうらく）社中 水戸市常磐町 2-13-23　柳貴家勝蔵（やなぎやかつぞう）社中	平３. 1. 25 平 20. 11. 17	不定期。
27	日枝神社流鏑馬祭	土浦市沢辺小野入会地 日枝神社流鏑馬祭保存会	平６. 1. 26	日枝神社。４月第１日曜日。
28	富田のささら	石岡市国府５－９　富田町ささら保存会	平８. 1. 25	常陸国総社宮。９月 14 日～16 日。
29	大塚戸（おおつかど）の綱火	常総市大塚戸町 875　大塚戸芸能保存会	平 11. 11. 25	一言主神社。９月 13 日。
30	利根地固め唄	利根町中谷 967　利根地固め唄保存会	平 14. 12. 25	利根川築堤補修工事に係る作業唄。
31	上山川諏訪神社太々神楽	結城市大字上山川 160 上山川諏訪神社太々神楽保存会	平 17. 11. 25	安永９年（1780）［舞台衣裳墨書］。４月。
32	龍ケ崎の撞舞	龍ケ崎市 3428 番地地先 龍ケ崎市撞舞保存会	平 22. 11. 18	７月下旬の八坂神社祇園祭最終日に実施。
33	中田永代太々神楽	古河市中田 1337－６ 古河神楽保存会	令５. 12. 28	鶴峯（つるがみね）八幡神社。４月第３日曜日。 雀神社。４月第２日曜日。

オ　史跡

No.	名　　称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備　　考
1	伝内大臣平重盛墳墓	城里町上入野 3912　小松寺	昭６. 12. 4	伝重盛・重盛夫人・平貞能の墓。
2	船玉古墳	筑西市船玉 247　（管）筑西市	昭８. 7. 4	方墳。石室内に壁画。

No.	名　称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備　考
3	古河公方足利成氏館跡・同足利義氏墓所	古河市鴻巣　個人	昭８.７.18	初代古河公方館跡。
4	難台山（なんだいさん）城址	笠間市上郷3646の一部ほか（管）笠間市	昭９.５.18	1387年小田某五郎が挙兵した跡。
5	本多作左衛門重次墳墓	取手市台宿２-3167　本願寺	昭９.８.３	鬼作左といわれた家康の家臣の墓所。
6	那珂西（なかさい）城趾	城里町那珂西 1958　宝幢院（ほうどういん）	昭９.12.18	久安５年（1149）。那珂通泰が築城。
7	瓜連城趾	那珂市瓜連 1221　常福寺	昭９.12.18	瓜連貞国（うりづらさだくに）、のちが入城。
8	志筑（しづく）城趾	かすみがうら市中志筑　かすみがうら市	昭 10.11.26	鎌倉期に下河辺政義が築城
9	阿波崎（あばさき）城趾	稲敷市阿波崎 2316　（所）天満神社　（管）阿波崎城跡保存会	昭 10.11.26	南朝勢力回復のため北畠親房が入城
10	伊佐城趾	筑西市中舘 522　観音寺	昭 10.11.26	結城合戦で城主伊佐政国（まさくに）が討死
11	駒城趾	下妻市黒駒　個人	昭 10.11.26	中御門（なかみかど）少将藤原実寛（さねひろ）を擁した城
12	神宮寺城趾	稲敷市神宮寺　（管）個人	昭 10.11.26	北畠親房らが参集して拠点とした城
13	山県大弐（やまがただいに）の墓	石岡市根小屋 779　（管）泰寧寺（たいねいじ）	昭 10.11.26	明和事件で処刑された大弐の墓
14	八幡塚	つくば市沼田 374-１､374-２　つくば市	昭 12.３.９ 追昭 47.12.18	前方後円墳。葺石、埴輪を確認
15	笠原水道	水戸市千波町･笠原町･本町１丁目～本町７丁目･元吉田町　（管）水戸市	昭 13.３.11	寛文３年（1663）完成。笠原不動谷から下市まで
16	大日山古墳	取手市岡 1179　（管）取手市	昭 14.２.１	方墳（東西 18m、南北 20m、高さ３m）
17	藤原藤房（ふじふさ）卿遺跡	土浦市藤沢 1797　（管）土浦市	昭 14.３.６	藤原藤房が２年間ここに配流
18	馴馬（なれうま）城趾	龍ケ崎市馴馬町　個人	昭 14.４.５	南北朝時代。春日顕国（かすがあきくに）が旗揚げ
19	久下田（くげた）城趾	筑西市樋口字城山221ほか　福聚寺ほか	昭 15.９.４	下館６代城主水谷正村（みずのやまさむら）が築城
20	台渡里（だいわたり）廃寺趾	水戸市渡里町字長者山　個人	昭 20.７.16	古代那賀郡衙の正倉と推測される
21	土浦市内西町　土浦城跡および櫓門	土浦市中央１丁目　土浦市	昭 27.11.18 昭 42.７.20（名称変更）	水城（みずじろ）。室町中期から江戸時代（指定時は「土浦市内西町亀城公園及び亀城楼門」）。
22	丸山古墳	石岡市柿岡 4123　（管）石岡市	昭 27.12.18	墳丘長約 56mの前方後方墳
23	梵天山（ぼんてんやま）古墳群	常陸太田市島町　（管）常陸太田市	昭 28.７.９	本県第２位の前方後円墳ほか、13基の円墳と横穴群
24	長塚節（ながつかたかし）生家	常総市国生（こっしょう）　個人	昭 30.６.25	茅葺の主屋・書院
25	佛ケ浜（ほとけがはま）	日立市田尻町４-39　（管）日立市教育委員会	昭 30.６.25	海岸の石壁に観世音菩薩像を刻む
26	間宮林蔵の生家	つくばみらい市上平柳 64　つくばみらい市	昭 30.11.25	茅葺

No.	名　　称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備　　考
27	間宮林蔵の墓	つくばみらい市上平柳　個人	昭 30.11.25	樺太探検出発前に菩提寺に建立。
28	山寺水道	常陸太田市天神林　（管）常陸太田市	昭 32. 6.26	光圀が久昌寺（きゅうしょうじ）まで導水。
29	石岡の一里塚	石岡市泉町 2108、12805　（管）石岡市	昭 33. 3.12	石岡の行里川（なめりがわ）にある一里塚。
30	水野越前守忠邦の墓	結城市山川新宿 1653-1 （管）結城市教育委員会	昭 33. 3.12	天保の改革を実施した老中の墓。
31	結城御朱印堀（附地図２帖・証文１・由来帖１）	結城市結城　（管）結城市・個人	昭 33. 3.12	戦国末期から江戸時代の堀跡。
32	五角堂と和時計	つくば市谷田部 1945　（管）つくば市	昭 33. 3.12	からくり伊賀七（いがしち）による発明。
33	堀の内古窯跡群（こようあとぐん）	桜川市大泉　個人	昭 35.12.21	須恵器・瓦等の窯跡。
34	熊沢蕃山の墓	古河市大堤 1030-1　鮭延寺（けいえんじ）	昭 36. 7.21	熊沢蕃山は古河で禁固刑。
35	板谷波山生家	筑西市甲 864-6 ほか 財団法人波山先生記念会	昭 40. 5.21	木造。平屋、瓦葺。1760 年代の建造といわれる。　部（平 20）
36	野口雨情生家	北茨城市磯原町磯原　（管）個人	昭 42. 3.30	明治 10 年。木造、２階建、瓦葺。
37	水戸城跡（塁及び濠）	水戸市三の丸　茨城県・水戸市	昭 42.11.24	佐竹・徳川による築城。
38	助川海防城跡	日立市助川町５-10-４ （管）日立市教育委員会	昭 42.11.24	天保７年(1836)、斉昭が山野辺義観（やまのべよしみ）に命じて築城。天保９年完成。
39	泉が森	日立市水木町 1525　泉神社	昭 44.12. 1	清泉。古代の庶民遊楽の地
40	旧久原（くはら）本部	日立市宮田町 3585　日鉱記念館	昭 45. 9.28	日立鉱山久原房之助が明治 38 年建設。
41	穴薬師古墳	五霞町川妻　（管）個人	昭 46. 3.29	古墳時代後期の円墳。石室が特異な構造をもつ。
42	鹿見塚古墳	潮来市大生 890-2 （管）潮来市教育委員会	昭 46.10.28	大生古墳群中の主要古墳。
43	府中愛宕山古墳	石岡市北根本 694 ほか　石岡市	昭 46.12. 2	墳丘長約 90mの前方後円墳。
44	真壁氏累代墓地及び墓碑群　30 基	桜川市真壁町山尾 525-1 （管）桜川市教育委員会	昭 46.12. 2	遍照院墓域にある五輪塔群。
45	大生（おおう）古墳群	潮来市大生 890-1 ほか （管）風土記の里保存会	昭 50. 3.25	本県最大級の古墳群で約 100 基。
46	太子古墳	かすみがうら市安食（あんじき）　個人	昭 52. 5. 2	石室に赤い塗料による壁画が残る。
47	千代田の一里塚	かすみがうら市西野寺　個人	昭 52. 5. 2	水戸街道稲吉と府中の間にある一里塚。
48	熊野古墳	かすみがうら市市川　個人	昭 52. 5. 2	墳丘長約 63mの前方後円墳。
49	小菅郷校（こすげごうこう）跡	常陸太田市小菅町　個人	昭 53. 1.26	矢場、土塁、表門石垣が残る。
50	南高野（みなみこうや）貝塚	日立市南高野町１-19 （管）日立市教育委員会	昭 54. 3. 8	縄文時代中～晩期の貝塚。
51	逆井（さかさい）城跡	坂東市逆井 1234　（管）坂東市	昭 60. 3.25	戦国末期の後北条氏の有力支城か。

No.	名　称	所在地 及び 所有者（管理者）	指定年月日	備　考
52	東城寺経塚群　12 基	土浦市東城寺　（管）土浦市教育委員会	平３．１．25	平安後期。経筒・経文など出土。
53	那珂湊反射炉跡（附那珂湊反射炉資料 25 点）	ひたちなか市栄町１-10　ひたちなか市	平 16. 11. 25	安政年間。鉄製大砲鋳造の施設。
54	星神社古墳　１基	常陸太田市小島町　個人	平 18. 11. 16	墳丘長 100m、県内最古級の前方後円墳。
55	富士見塚１号墳・２号墳・３号墳　３基	かすみがうら市柏崎 1546-71、1555-３ 1555-4、1555-15、1572-１　かすみがうら市	平 20. 11. 17	１号墳：墳丘長約 80mの前方後円墳。 ２号墳：墳丘径約 25mの円墳。 ３号墳：墳丘経約 17mの円墳。
56	石神城跡	東海村大字石神内宿字本城 1244 他 53 筆　東海村	平 29. 12. 25	佐竹氏家臣の石神小野崎氏が在城。惣構えの中核。

カ　名勝

No.	名　称	所在地 及び 管理者	指定年月日	備　考
1	歩崎（あゆみざき）	かすみがうら市坂 921　かすみがうら市	昭８. 10. ６	霞ケ浦の土浦入りと高浜入りに挟まれた岬一帯。
2	広浦	茨城町下石崎 1651　茨城町	昭９. 11. 30	涸沼に突き出た米洲（こめず）岬。水戸八景「広浦秋月」の碑あり。
3	親沢	茨城町上石崎 4144-１　茨城町	昭９. 11. 30	涸沼の親沢鼻をいう。岸より突き出た砂州。
4	袋田瀧	大子町袋田　大子町	昭 15. ３. 27	高さ 121m、幅 76m、４段に落ちる（四度滝（よどのたき））。
5	花園渓谷「七ツ滝」	北茨城市華川町花園 591　花園神社	昭 27. 12. 18	花園川が７段にわたって落瀑。

キ　天然記念物

No.	名　称　・　数　量	所在地 及び 所有者	指定年月日	補助事業
1	鉾スギ　１株	大子町下野宮 1626　近津神社	昭６. 10. 13	避雷針（昭 59） 避雷針更新（平 12）
2	三浦杉　２株	常陸大宮市小田野 172　吉田八幡神社	昭６. 12. ４	
3	沓掛（くつかけ）ノ大欅　１株	坂東市沓掛 843-１　神明社	昭７. ６. 24	保存修理（昭 62） 樹勢回復(平 14～16)
4	八代（やしろ）の大椎　１株	潮来市上戸 1558　神明神社	昭８. 10. ６	保存修理（平 11）
5	金砂山ノ大柊　５株	ひたちなか市堀口１　金砂神社	昭 10. 12. 27	
6	花園山石南群落	北茨城市華川町花園 587 ほか　花園神社	昭 11. ４. 17	
7	鏡岩	常陸大宮市照山 1587　常陸大宮市	昭 11. ４. 17	
8	球状花崗岩	石岡市吉生 2716　石岡市	昭 12. ２. ５	

No.	名　称　・　数　量		所在地 及び 所有者		指定年月日	補助事業
9	地蔵欅	１株	取手市下高井 1306	高源寺	昭 14．３．６	樹勢回復（昭 63） 保存修理（平８）
10	静のムクノキ	１株	那珂市静 455	那珂市	昭 14．３．31	
11	佐久の大杉	１株	石岡市佐久 622	佐久区	昭 16．３．31	樹勢回復（平10～12）
12	龍ケ崎の垂枝桜	１株	龍ケ崎市 3341	般若院	昭 28．７．９	樹勢回復（平元）
13	真鍋の桜	５株	土浦市真鍋４－３－１	土浦市	昭 31．５．25	樹勢回復（平８～９）
14	亀城の椎	１株	土浦市中央１丁目	土浦市	昭 31．５．25	
15	海鵜渡来地		日立市川尻町２－７	日立市	昭 31．５．25	
16	平磯白亜紀層		ひたちなか市平磯海岸	ひたちなか市	昭 32．６．26	
17	小高（おだか）の榧	１株	行方市小高 925	行方市	昭 33．３．12	樹勢回復(平 18～20)
18	出島の椎	１株	かすみがうら市下軽部 289	かすみがうら市	昭 33．３．12	樹勢回復(平 12～14)
19	花園の大杉	１株	北茨城市華川町花園 567	花園神社	昭 35．12．21	
20	花園のコウヤマキ	２株	北茨城市華川町花園 567	花園神社	昭 35．12．21	
21	波崎の大タブ	１株	神栖市波崎 3355	神善寺	昭 35．12．21	保存修理（昭 61）
22	無量寿寺のボダイジュ	１株	鉾田市鳥栖 1013	無量寿寺	昭 36．３．24	
23	お葉付イチョウ	１株	大洗町大貫町 802	西光院	昭 37．２．26	自費環境整備 (平 14)
24	大穂のウメ	１株	つくば市吉沼	個人	昭 37．８．27	
25	鹿島神宮樹叢		鹿嶋市宮中 2306－１ほか	鹿島神宮	昭 38．８．23	防虫（昭 55）保護増殖・防災（平８～９）
26	下横場の大グミ	１株	つくば市高野台３－６－１	つくば市	昭 39．７．31	
27	西蓮寺の大イチョウ	２株	行方市西蓮寺 504	西蓮寺	昭 39．７．31	
28	潮来の大ケヤキ	１株	潮来市潮来 1338－２	素鵞熊野神社	昭 39．７．31	
29	大生神社の樹叢		潮来市大生 814	大生神社	昭 39．７．31	保護増殖（平６）
30	お葉付イチョウ	１株	鉾田市中居 685－１	照明院	昭 42．３．30	樹勢回復（平 13）
31	八重の藤	１株	笠間市笠間 39	笠間稲荷神社	昭 42．11．24	
32	御岩山の三本スギ	１株	日立市入四間町 752	茨城森林管理署	昭 43．９．26	
33	西金砂のイチョウ	１株	常陸太田市上宮河内町 1915	西金砂神社	昭 44．３．20	保存修理（平 15）
34	西金砂のサワラ	１株	常陸太田市上宮河内町 1915	西金砂神社	昭 44．３．20	保存修理（平 15）
35	駒つなぎのイチョウ	１株	日立市大久保町２－２－11	鹿島神社	昭 44．12．１	
36	香仙寺のシイ	１株	常陸太田市松栄町 615	香仙寺	昭 46．１．28	保存修理（平 12）
37	若宮八幡宮のケヤキ	１株	常陸太田市宮本町 2344	若宮八幡宮	昭 46．12．２	保存修理（平８）
38	真弓神社の爺杉	１株	常陸太田市真弓町陣ケ峰 2766	真弓神社	昭 46．12．２	
39	ウチワサボテン群生地		神栖市太田 2070－８	神栖市教育委員会	昭 47．12．18	
40	モチノキ	１株	常陸太田市天下野町 9740	東金砂神社	昭 47．12．18	保護管理（昭 57）
41	大塚神社のスギ	１株	高萩市下君田 1377	大塚神社	昭 49．３．31	

No.	名　称　・　数　量	所在地 及び 所有者	指定年月日	補助事業
42	大塚神社のモミ　１株	高萩市下君田 1377　大塚神社	昭 49. 3 . 31	
43	不動院のカヤ　１株	那珂市菅谷 3021　不動院	昭 49. 3 . 31	
44	菅谷のカヤ　１株	那珂市菅谷　個人	昭 50. 3 . 25	
45	菅谷のモチノキ　１株	那珂市菅谷　個人	昭 50. 3 . 25	
46	曙のグミ　１株	阿見町曙 151-106　阿見町	昭 52. 7 . 18	
47	泉福寺のシダレザクラ　１株	常陸太田市大中町 1265　泉福寺	昭 52. 7 . 18	
48	ボダイジュ　１株	古河市仁連 126　東漸寺	平４. １. 24	
49	イチイガシ　１株	古河市恩名　個人	平４. １. 24	
50	椎尾山薬王院の樹叢	桜川市真壁町椎尾 3196　薬王院	平６. １. 26	
51	七反のシダレザクラ　１株	常陸太田市里川町 484-６　常陸太田市	平７. １. 23	
52	猿喰のケヤキ　１株	常陸太田市徳田町 1744-２　徳田共有地管理委員会	平９. １. 27	
53	鷲子山上神社のカヤ　１株	常陸大宮市鷲子 3614-２　鷲子山上神社	平 10. １. 21	
54	松岩寺のヤマザクラ　１株	高萩市下君田 1569　松岩寺	平 11. １. 25	支柱付替（平 30）
55	稲田禅房のお葉付イチョウ　１株	笠間市稲田 469　宗教法人西念寺	平 12. 11. 27	
56	文武館跡のケヤキ　２株	大子町大字大子 554　大子町	平 14. 12. 25	
57	酒列磯前神社の樹叢 38,837 ㎡	ひたちなか市磯崎町 4607-２　宗教法人酒列磯前神社	平 17. 11. 25	参道整備（令元）
58	外大野のシダレザクラ　１株	大子町大字外大野　個人	平 17. 11. 25	

（５）国登録文化財一覧

ア　国登録有形文化財(建造物)

No.	名　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	茨城県立水戸商業高等学校旧本館玄関	水戸市新荘３－７－２	茨城県	平成８年12月20日
2	水戸市水道低区配水塔	水戸市北見町126-14	水戸市	平成８年12月20日
3	祐月本店雛蔵	水戸市末広町２-2282-21	個　人	平成27年11月17日
4	和田家住宅延年楼	水戸市自由が丘4610-29	個　人	平成27年11月17日
5	笠間市立歴史民俗資料館（旧宍戸町役場庁舎）	笠間市平町29	笠間市	平成16年２月17日
6	富田家住宅主屋	笠間市大郷戸字内川378	笠間市	令和４年10月31日
7	間宮家住宅主屋	常陸大宮市高部3991	個　人	平成15年７月１日
8	旧岡山酒造養浩園喜雨亭	常陸大宮市高部字宿3970	個　人	令和４年６月29日
9	島家住宅主屋	城里町上古内480-１	城里町	平成14年８月21日
10	武石家住宅主屋	大洗町磯浜町1107-１	個　人	平成17年２月９日
11	幕末と明治の博物館別館	大洗町磯浜町字見付久保8231番地4	大洗町	平成17年２月９日
12	大貫家住宅主屋	大洗町磯浜町字道祖神脇1130-３	個　人	平成18年３月２日
13	旧おかめ旅館本館	大洗町磯浜町2315-４他	個　人	平成19年10月２日
14	照沼家住宅主屋	東海村大字照沼字寺沼23	個　人	平成19年７月31日
15	旧上岡小学校第一棟	大子町上岡914他	大子町	平成26年12月19日
16	旧上岡小学校第二棟	〃	〃	〃
17	旧上岡小学校第三棟	〃	〃	〃
18	旧黒沢中学校本館	大子町上郷2604他	大子町	平成26年12月19日
19	旧黒沢中学校技術教室	〃	〃	〃
20	旧黒沢中学校調理室及び図書館	〃	〃	〃
21	旧黒沢中学校屋内運動場	〃	〃	〃
22	旧黒沢中学校音楽教室	〃	〃	〃
23	旧外池呉服店店舗	大子町大字大子字金町東側624・625合併	個　人	平成28年２月25日
24	旧樋口病院入院棟	大子町大字大子字泉町北側705	個　人	平成28年２月25日
25	大子カフェ店舗兼主屋	大子町大字大子字本町南側689	個　人	平成28年２月25日
26	大子カフェ土蔵	大子町大字大子字本町南側687-２	〃	〃
27	旧大子銀行本店	大子町大字大子字金町西側642-２	個　人	平成29年５月２日
28	旧初原小学校一号棟	大子町初原960	大子町	平成30年５月10日
29	旧初原小学校二号棟	〃	〃	〃
30	旧初原小学校講堂	〃	〃	〃
31	旧西金小学校校舎	大子町西金250	大子町	平成30年５月10日
32	旧西金小学校理科室及び音楽室	〃	〃	〃
33	旧西金小学校調理室	〃	〃	〃
34	旧浅川小学校一号棟	大子町浅川1253	大子町	平成30年５月10日
35	旧浅川小学校二号棟	〃	〃	〃
36	旧槙野地小学校校舎	大子町槙野地2469	大子町	平成30年５月10日
37	旧共楽館（日立武道館）	日立市白銀町２-21-15	日立市	平成11年７月８日

No.	名　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
38	梅津会館（旧太田町役場）	常陸太田市西二町2186	常陸太田市	平成11年８月23日
39	旧町屋変電所	常陸太田市西河内下町1382-１	常陸太田市	平成11年８月23日
40	央橋	常陸太田市春友町～町屋町	常陸太田市	平成15年９月19日
41	賀美発電所本館	常陸太田市上深荻町320	東京発電株式会社	平成16年11月８日
42	賀美発電所放水路及び余水路	常陸太田市上深荻町	〃	〃
43	賀美発電所取水所	常陸太田市小菅町	〃	〃
44	小里川発電所本館	常陸太田市徳田町1284-２	東京発電株式会社	平成16年11月８日
45	小里川発電所放水路	常陸太田市徳田町	〃	〃
46	小里川発電所余水路	〃	〃	〃
47	小里川発電所取水所	〃	〃	〃
48	徳田発電所本館	〃	〃	〃
49	徳田発電所放水路	〃	〃	〃
50	徳田発電所余水路	〃	〃	〃
51	徳田発電所取水所	〃	〃	〃
52	駿河屋宮田書店店舗兼主屋	常陸太田市内堀町2357	個　人	平成26年10月７日
53	駿河屋宮田書店土蔵	〃	〃	〃
54	旧稲田家住宅赤煉瓦蔵	常陸太田市東一町2295-２	個　人	平成26年10月７日
55	立川醤油店店舗及び主屋	常陸太田市西二町字西二西2177他	個　人	令和３年２月26日
56	花貫川第一発電所第三号水路橋（めがね橋）	高萩市大字秋山板木2989	東京発電株式会社	平成11年11月18日
57	茨城大学五浦美術文化研究所岡倉天心旧居（研究室）	北茨城市大津町五浦727-２	国立大学法人茨城大学	平成15年７月１日
58	茨城大学五浦美術文化研究所長屋門（管理舎・陳列館）	〃	〃	〃
59	石岡第二発電所取水堰堤	北茨城市中郷町石岡	東京発電株式会社	平成18年３月２日
60	石岡第二発電所沈砂池	〃	〃	〃
61	石岡第二発電所余水路	〃	〃	〃
62	石岡第二発電所水槽	〃	〃	〃
63	石岡第二発電所鉄管路擁壁	〃	〃	〃
64	石岡第二発電所本館	北茨城市中郷町石岡69-１	〃	〃
65	一色家住宅主屋	土浦市西真鍋町1918-１	土浦市	平成13年８月28日
66	岩瀬家住宅主屋	土浦市小山崎字道知411-１他	個　人	平成21年１月８日
67	岩瀬家住宅屋敷蔵	〃	〃	平成22年４月28日
68	岩瀬家住宅米蔵	〃	〃	〃
69	岩瀬家住宅味噌倉	〃	〃	〃
70	岩瀬家住宅表門	〃	〃	〃
71	岩瀬家住宅中ノ門	〃	〃	〃
72	岩瀬家住宅東門	〃	〃	〃
73	岩瀬家住宅塀	〃	〃	〃
74	旧大徳呉服店店蔵北棟	土浦市中央１-914-４	土浦市	平成28年８月１日
75	旧大徳呉服店店蔵南棟	〃	〃	〃
76	旧大徳呉服店袖蔵	〃	〃	〃

No.	名　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
77	旧大徳呉服店元蔵	土浦市中央１-914-５	土浦市	平成28年８月１日
78	旧大徳呉服店向蔵	〃	〃	〃
79	旧野村さとう店店舗兼主屋	土浦市中央１-950・952合併	土浦市	平成28年８月１日
80	旧野村さとう店袖蔵	〃	〃	〃
81	旧野村さとう店文庫蔵	〃	〃	〃
82	旧野村さとう店煉瓦蔵	〃	〃	〃
83	土浦市民会館	土浦市東真鍋町1480-２	土浦市	令和６年３月６日
84	旧紫山塾主屋	土浦市真鍋5-2132	個　人	令和７年３月13日
85	きそば東京庵店舗兼住宅	石岡市国府３-３-16	個　人	平成15年７月１日
86	福島屋砂糖店店舗兼住宅	石岡市国府３-４-20	個　人	平成15年７月１日
87	丁子屋店舗兼住宅	石岡市国府３-５-６	個　人	平成15年７月１日
88	森戸文四郎商店店舗兼住宅	石岡市国府３-695-１	株式会社マエノ	平成15年９月19日
89	大和田家貸店舗	石岡市国府３-３-24	個　人	平成15年９月19日
90	十七屋履物店店舗兼住宅	石岡市国府３-４-22	個　人	平成15年９月19日
91	平松理容店店舗兼住宅	石岡市府中２-７-20	個　人	平成16年７月23日
92	久松商店店舗兼住宅	石岡市国府３-４-21	個　人	平成16年７月23日
93	府中誉主屋	石岡市国府５-９-32	府中誉株式会社	平成16年７月23日
94	府中誉長屋門	〃	〃	〃
95	府中誉文庫蔵	〃	〃	〃
96	府中誉穀蔵	〃	〃	〃
97	すがや化粧品店店舗兼住宅	石岡市国府３-５-１	個　人	平成17年11月10日
98	府中誉仕込蔵	石岡市国府５-９-32	府中誉株式会社	平成17年11月10日
99	府中誉釜場	〃	〃	〃
100	府中誉舂屋	〃	〃	〃
101	大場家住宅主屋	石岡市佐久258-２	個　人	平成17年12月26日
102	栗山呉服店店舗兼住宅	石岡市国府３-４-25	個　人	平成18年３月２日
103	坂入家住宅主屋	石岡市辻字山下179	個　人	平成22年４月28日
104	旧小野瀬家住宅店舗	龍ケ崎市4252	有限会社東洋不動産	平成16年２月17日
105	旧小野瀬家住宅主屋	〃	〃	〃
106	旧諸岡家住宅煉瓦門及び塀	龍ケ崎市上町4274-１	龍ケ崎市	平成30年５月10日
107	旧渡辺甚吉邸主屋	取手市寺田字原5270-8他	前田建設工業株式会社	令和５年２月27日
108	旧岡田小学校女化分校校舎	牛久市女化町391-１	牛久市	平成30年５月10日
109	宮本家住宅店蔵	つくば市北条188	個　人	平成15年７月１日
110	宮本家住宅居宅	〃	〃	〃
111	宮本家住宅離れ	〃	〃	〃
112	宮本家住宅炊事場	〃	〃	〃
113	宮本家住宅門	〃	〃	〃
114	宮本家住宅炭・味噌小屋及び車庫	〃	〃	〃
115	宮本家住宅新蔵	〃	〃	〃

No.	名　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
116	宮本家住宅大蔵	つくば市北条188	個　人	平成15年７月１日
117	沼尻家住宅主屋	つくば市金田38-１	個　人	平成17年７月12日
118	沼尻家住宅米蔵	〃	〃	〃
119	沼尻家住宅蔵	〃	〃	〃
120	沼尻家住宅長屋	〃	〃	〃
121	旧田村呉服店ミセ蔵兼主屋	つくば市北条字日向39-１	個　人	平成27年11月17日
122	旧田村呉服店店蔵	〃	〃	〃
123	旧田村呉服店穀蔵及び浴室	〃	〃	〃
124	旧田村呉服店炊事場	〃	〃	〃
125	旧常陸北条郵便局	つくば市北条字中町裏183-３	個　人	平成27年11月17日
126	旧根本家住宅主屋	つくば市吉瀬字清水1680	個　人	平成27年11月17日
127	旧根本家住宅長屋門	〃	〃	〃
128	旧植竹庄兵衛家住宅洋館	稲敷市江戸崎字大日久保甲2354	個　人	平成19年10月２日
129	旧植竹庄兵衛家住宅和館	〃	〃	〃
130	旧植竹庄兵衛家住宅土蔵	〃	〃	〃
131	小澤家住宅主屋	美浦村大字大谷字向1620	個　人	平成21年１月８日
132	小澤家住宅米蔵	〃	〃	〃
133	小澤家住宅表門	〃	〃	〃
134	篆刻美術館表蔵棟（旧平野家表蔵棟）	古河市中央町２-４-18	古河市	平成10年10月９日
135	篆刻美術館裏蔵棟（旧平野家裏蔵棟）	〃	〃	〃
136	坂長本店店蔵	古河市中央町３-5742・5743他	古河市	平成12年９月26日
137	坂長本店袖蔵	〃	〃	〃
138	坂長本店主屋	〃	〃	〃
139	坂長本店文庫蔵	〃	〃	〃
140	坂長本店中蔵	〃	〃	〃
141	坂長本店石蔵	〃	〃	〃
142	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館	古河市雷電町１-78	亀屋商事株式会社	平成16年６月９日
143	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館土蔵	〃	〃	〃
144	亀屋商事（旧飯島家住宅）本館旧食堂及び旧浴室	〃	〃	〃
145	亀屋商事（旧飯島家住宅）煉瓦倉庫	古河市東１-15-11	〃	〃
146	武蔵屋店舗	古河市横山町１-5535-２	株式会社武蔵屋	平成25年６月21日
147	荒川家住宅主屋	筑西市甲868	個　人	平成11年８月23日
148	荒川家住宅店蔵	〃	〃	〃
149	荒川家住宅付属屋	〃	〃	〃
150	荒川家住宅内蔵	〃	〃	〃
151	荒川家住宅石蔵	〃	〃	〃
152	一木歯科医院	筑西市甲12	個　人	平成11年８月23日
153	荒川家住宅主屋	筑西市宇田町甲929-１他	個　人	平成23年７月25日
154	荒川家住宅旧店蔵	〃	〃	〃

No.	名　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
155	荒川家住宅旧土蔵	筑西市宇田町甲929-１他	個　人	平成23年７月25日
156	旧尾見家住宅主屋	筑西市村田字下町1624	個　人	平成28年11月29日
157	旧尾見家住宅神輿蔵	〃	〃	〃
158	旧尾見家住宅薬医門	〃	〃	〃
159	江連用水旧溝宮裏両樋	下妻市本宗道	下妻市	平成27年３月26日
160	結城酒造株式会社煉瓦煙突	結城市大字結城1589	個　人	平成12年4月28日
161	奥順見世蔵	結城市大字結城字大町９-２	個　人	平成17年２月９日
162	奥順店舗	結城市大字結城字大町９-２，12-２	〃	〃
163	奥順離れ	〃	〃	〃
164	奥順土蔵	結城市大字結城字大町９-２,字西の宮町1336-２	〃	〃
165	結真紬見世蔵	結城市大字結城字大町68-１	個　人	平成17年２月９日
166	結真紬主屋	〃	〃	〃
167	小西見世蔵	結城市大字結城字浦町114	個　人	平成17年２月９日
168	赤荻本店見世蔵	結城市大字結城字浦町122	個　人	平成17年２月９日
169	秋葉糀味噌醸造見世蔵	結城市大字結城字浦町174-１	個　人	平成17年２月９日
170	鈴木紡績見世蔵	結城市大字結城字西の宮町1355	個　人	平成17年２月９日
171	鈴木紡績主屋	〃	〃	〃
172	中澤商店見世蔵及び主屋	結城市大字結城字穀町1538	個　人	平成17年２月９日
173	旧黒川米穀店店舗	結城市大字結城字西の宮町1319-２	個　人	平成18年10月18日
174	キヌヤ薬舗店舗	結城市大字結城字大町９	個　人	平成18年10月18日
175	奥順壱の蔵	結城市大字結城大町82	奥順株式会社	平成18年10月18日
176	小倉商店店舗兼主屋	結城市大字結城字浦町116	個　人	平成20年３月７日
177	奥庄店舗兼主屋	結城市大字結城字大町24他	個　人	平成21年１月８日
178	保坂家住宅主屋	結城市大字結城字浦町135他	個　人	平成23年７月25日
179	保坂家住宅土蔵	〃	〃	〃
180	武勇見世蔵	結城市大字結城字浦町144	個　人	平成23年７月25日
181	武勇脇蔵	〃	〃	〃
182	武勇製品蔵	〃	〃	〃
183	武勇仕込蔵	〃	〃	〃
184	武勇旧釜蔵	〃	〃	〃
185	武勇煙突	〃	〃	〃
186	鈴木新平商店見世蔵	結城市大字結城字浦町109-１	個　人	平成26年12月19日
187	鈴木新平商店文庫蔵	〃	〃	〃
188	鈴木新平商店座敷棟	〃	〃	〃
189	二水会館（旧水海道町役場）	常総市水海道天満町1606	常総市	平成９年12月12日
190	五木宗レンガ蔵	常総市水海道元町3421-１	個　人	平成12年４月28日
191	武道館（旧水海道小学校雨天体操場兼講堂）	常総市水海道栄町2680-１	常総市	平成15年７月１日
192	旧大塚酒造店舗兼主屋	坂東市岩井3351-２	坂東市	平成29年５月２日
193	旧大塚酒造本蔵	〃	〃	〃

No.	名　　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
194	潮田家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁189	個　人	平成11年11月18日
195	潮田家住宅袖蔵	〃	〃	〃
196	潮田家住宅脇蔵	〃	〃	〃
197	潮田家住宅別荘（離れ）	〃	〃	〃
198	谷口家住宅店舗	桜川市真壁町桜井373	個　人	平成12年４月28日
199	谷口家住宅北袖蔵	〃	〃	〃
200	谷口家住宅南袖蔵	〃	〃	〃
201	谷口家住宅門	〃	〃	〃
202	川島書店見世蔵	桜川市真壁町真壁335	個　人	平成12年10月18日
203	三輪家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁229	個　人	平成12年10月18日
204	三輪家住宅主屋	〃	〃	〃
205	木村家住宅（小田部生花店）見世蔵	桜川市真壁町真壁字高上町217-１	桜川市	平成12年10月18日
206	木村家住宅（小田部生花店）主屋	〃	〃	〃
207	旧真壁郵便局	桜川市真壁町真壁297	桜川市	平成12年10月18日
208	谷田部家住宅長屋門	桜川市真壁町古城198－１	個　人	平成12年10月18日
209	猪瀬家住宅薬医門	桜川市真壁町真壁１	個　人	平成12年10月18日
210	村井醸造脇蔵	桜川市真壁町真壁72	個　人	平成12年12月４日
211	村井醸造石蔵	桜川市真壁町真壁200－１	個　人	平成12年12月４日
212	塚本茶舗脇蔵	桜川市真壁町真壁213－１	個　人	平成12年12月４日
213	伊勢屋旅館主屋	桜川市真壁町真壁193	個　人	平成12年12月４日
214	伊勢屋旅館土蔵	〃	〃	〃
215	鈴木醸造長屋門	桜川市真壁町古城191	個　人	平成12年12月４日
216	西岡本店店舗	桜川市真壁町田６-１	個　人	平成13年８月28日
217	西岡本店脇蔵	〃	〃	〃
218	西岡本店米蔵	〃	〃	〃
219	小田部鋳造主屋	桜川市真壁町田45	個　人	平成13年８月28日
220	小田部鋳造北土蔵	〃	〃	〃
221	小田部鋳造南土蔵	〃	〃	〃
222	小田部鋳造門	〃	〃	〃
223	関根家住宅店舗	桜川市真壁町真壁390	個　人	平成14年６月25日
224	関根家住宅主屋	〃	〃	〃
225	中村家住宅主屋	桜川市真壁町真壁391-1	個　人	平成14年６月25日
226	中村家住宅文庫蔵	〃	〃	〃
227	中村家住宅薬医門及び塀	〃	〃	〃
228	橋本旅館主屋	桜川市真壁町真壁410	個　人	平成14年６月25日
229	橋本旅館土蔵	〃	〃	〃
230	入江家住宅主屋	桜川市真壁町真壁220	個　人	平成14年８月21日
231	高久家住宅店舗	桜川市真壁町真壁191	桜川市	平成14年８月21日
232	川島洋品店土蔵	桜川市真壁町真壁302	個　人	平成14年８月21日
233	星野家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁288	個　人	平成14年８月21日

No.	名　　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
234	木村家住宅門	桜川市真壁町真壁字高上町217－１	桜川市	平成14年８月21日
235	市塚紀夫家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁236－１	個　人	平成15年７月１日
236	土谷家住宅土蔵	桜川市真壁町真壁272－１	個　人	平成15年７月１日
237	山中家住宅長屋門	桜川市真壁町真壁308	個　人	平成15年７月１日
238	山中家住宅土蔵	〃	〃	〃
239	中村家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁433	個　人	平成15年７月１日
240	中村家住宅主屋	〃	〃	〃
241	細谷家住宅主屋	桜川市真壁町飯塚44	個　人	平成15年７月１日
242	細谷家住宅長屋門	〃	〃	〃
243	市塚章一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚74	個　人	平成15年７月１日
244	市塚昌宏家住宅表門	桜川市真壁町飯塚85	個　人	平成15年７月１日
245	小林商店店舗	桜川市真壁町飯塚171－２	個　人	平成15年７月１日
246	小林商店米蔵	〃	〃	〃
247	増渕家住宅店舗	桜川市真壁町真壁396	個　人	平成15年９月19日
248	増渕家住宅主屋	〃	〃	〃
249	増渕家住宅長屋門	〃	〃	〃
250	佐藤家住宅表門	桜川市真壁町真壁397	個　人	平成15年９月19日
251	市塚政一家住宅長屋門	桜川市真壁町飯塚26	個　人	平成15年９月19日
252	桜井家住宅店舗	桜川市真壁町真壁409	個　人	平成16年２月17日
253	桜井家住宅主屋	〃	〃	〃
254	桜井家住宅西蔵	〃	〃	〃
255	桜井家住宅新蔵	〃	〃	〃
256	北岡家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町飯塚104	個　人	平成16年２月17日
257	大森家住宅主屋	桜川市真壁町桜井169－１	個　人	平成16年３月２日
258	大森家住宅長屋門	〃	〃	〃
259	大森家住宅石蔵	〃	〃	〃
260	密弘寺不動堂	桜川市真壁町真壁184	密弘寺	平成16年３月２日
261	西岡家住宅店舗	桜川市真壁町真壁56－１	個　人	平成16年６月９日
262	西岡家住宅主屋	〃	〃	〃
263	西岡家住宅土蔵	〃	〃	〃
264	平井家住宅店舗及び主屋	桜川市真壁町真壁264	個　人	平成16年６月９日
265	平井家住宅土蔵	〃	〃	〃
266	旧樺穂小学校校舎	桜川市真壁町真壁351	個　人	平成16年６月９日
267	塚本家住宅見世蔵	桜川市真壁町真壁60	個　人	平成16年11月８日
268	塚本家住宅主屋	〃	〃	〃
269	塚本家住宅土蔵	〃	〃	〃

No.	名　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
270	塚本家住宅門	桜川市真壁町真壁60	個　人	平成16年11月８日
271	村井醸造店舗	桜川市真壁町真壁72	個　人	平成16年11月８日
272	村井醸造煙突	〃	〃	〃
273	土生都家住宅主屋	桜川市真壁町真壁75-２	個　人	平成16年11月８日
274	土生都家住宅門	〃	〃	〃
275	根本医院門	桜川市真壁町真壁202	個　人	平成16年11月８日
276	鈴木家住宅表門	桜川市真壁町真壁34	個　人	平成17年７月12日
277	村上家住宅主屋	桜川市真壁町真壁232	個　人	平成17年７月12日
278	村上家住宅離れ	〃	〃	〃
279	村上家住宅土蔵	〃	〃	〃
280	村上家住宅表門	〃	〃	〃
281	出川家住宅主屋	桜川市真壁町真壁347	個　人	平成17年７月12日
282	出川家住宅石蔵	〃	〃	〃
283	増淵宥市家住宅表門	桜川市真壁町真壁412	個　人	平成17年７月12日
284	増淵宥市家住宅土蔵	〃	〃	〃
285	谷口義衛家住宅長屋門及び主屋	桜川市真壁町桜井１	個　人	平成17年７月12日
286	谷口義衛家住宅土蔵	〃	〃	〃
287	谷口家住宅主屋	桜川市真壁町桜井373	個　人	平成17年７月12日
288	谷口家住宅離れ	〃	〃	〃
289	谷口家住宅石蔵	〃	〃	〃
290	谷口家住宅奥蔵	〃	〃	〃
291	谷口家住宅穀蔵	〃	〃	〃
292	安達家住宅見世蔵及び主屋	桜川市真壁町真壁字新宿町424-1	個　人	平成29年10月27日
293	安達家住宅座敷	〃	〃	〃
294	安達家住宅薬医門	〃	〃	〃
295	谷中家住宅主屋	結城郡八千代町大字坪井字内海道87-1	個　人	令和４年６月29日

イ　国登録有形民俗文化財

	名　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	常陸大宮及び周辺地域の和紙生産用具と製品	常陸大宮市	常陸大宮市	平成25年３月12日
2	常陸大子のコンニャク栽培用具及び加工用具	大子町	大子町	平成26年２月24日

ウ　国登録記念物

	名　　称	所在地	所有者	登録原簿登載年月日
1	岡倉天心旧宅・庭園及び大五浦・小五浦	北茨城市大津町	国立大学法人茨城大学・国土交通省	平成26年３月18日
2	岡山氏庭園（養浩園）	常陸大宮市高部字宿3970	個人	令和４年11月10日

5　市町村別指定文化財数

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計	
水戸市	国	5		1	2				1	1				6	1	1	18	
	県	6	14	9	24	4			4	2			3	3			69	*
	市	13	9	13	20		2	1	10	16	4		4	12		8	112	
笠間市	国	3		4												1	8	
	県	2	2	10	3	3				1				1		2	24	
	市	10	11	37	9	1	1	2	5	4		1	3	17		18	119	
ひたちなか市	国													3			3	
	県	1			5	1			4					1		3	15	
	市	4			4				8	2	2	2	8	11	3	7	51	
那珂市	国		3						1								4	
	県	1	5	8	3	3				1				1		4	26	
	市	2	3	8	6	1		1	12	3			2	4		14	56	
常陸大宮市	国								1					1			2	
		1		4	1				1	1	1	2				3	14	
	市	10	5	22	8		1	4	6	6		4	9	14		17	106	
茨城町	国			1										1		1	3	
	県	1	1	2											2		6	
	町	1		12	1			1	7			1	3	10		4	40	
小美玉市	国																0	
	県	1	3	1	1	1											7	
	市	6	3	11	4	3		2	2	3		1	6	15		9	65	
城里町	国			2													2	
	県			3	2						1			2			8	
	町	4	3	10	4	3					1	1	2	12	1	5	46	
大洗町	国													1			1	
	県	1	2	6	5	2		1	1							1	19	
	町	2	3	2				1							1	1	10	
東海村	国																0	
	県		1						2					1			4	
	村			6				3	6	1		4		4		7	31	
大子町	国														1		1	
	県			1									1		1	3	6	
	町	2	1	4					1		2	2	1	4		6	23	
日立市	国									1		1	1	1		1	5	
	県	1	1	6	2	1			1	1		1	1	5		3	23	*
	市	4	1	4	5	1			3	4		5	2	8	2	5	44	
常陸太田市	国	2		2										2	1		7	
	県	3	7	10	2	3							3	4		9	41	
	市	5	12	11	16	2			9	4	1	2	2	12		18	94	
高萩市	国	1								1						1	3	*
	県	1	1							1						3	6	
	市		1	1	1			2	1	5			2	7		3	23	
北茨城市	国	1											1				2	*
	県			3					1				1	1	1	3	10	
	市	2	2	15					2				2	5		1	29	
鹿嶋市	国	4			2									1		1	8	
	県		1	4	9			1			1					1	17	
	市	14	7	10	2			4	9			1	3	11		3	64	
潮来市	国				1												1	
	県	7	3	5	5							1	4	2		3	30	
	市	9	5	9	7	11		3	4	4		4	4	12		19	91	
鉾田市	国		1	1													2	
	県	3	1	2		1										2	9	
	市	11		11	1	1			4				1	5	1	18	53	
神栖市	国	1															1	
	県			2												2	4	
	市	1	3	9		1	2						5	1		2	24	

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
行方市	国	2															2
	県	5		4	1			1								2	13
	市	11	1	23	2	1			2	2		1	5	6		16	70
土浦市	国	1	1	1	7				1					1			12
	県	3	4	9	14	3			4	1			3	3		2	46
	市	15	11	42	55	5		7	15	12		7	6	41	2	5	223
石岡市	国	1							1					6			8
	県	2	2	4	7	3		2	4	1		1	5	4		2	37
	市	6	5	18	7	4		3	8	1		6	6	10	2	4	80
龍ケ崎市	国	1	1														2
	県				1				1				1	1		1	5
	市	1		3	1			1	1	7			1	3		4	22
取手市	国	1															1
	県	3												2		1	6
	市	2		1	1									2			6
牛久市	国	1															1
	県	1		2	2												5
	市	1	3	3	7				2	1				8		2	27
つくば市	国	2			2									3			7
	県	8	5	2	7	2			1					2		2	29
	市	8	16	23	8				6				8	6		9	84
守谷市	国																0
	県			1													1
	市	1	1	4	2			5	1				1	2		3	20
稲敷市	国	2												1			3
	県	4	1	5	2	1		2				1		2			18
	市	5	7	27	6	1		6	3	2			6	7		1	71
かすみがうら市	国	1							1								2
	県	2	2	10	6				1					5	1	1	28
	市	6	1	12	10				1			5	3	22		2	62
つくばみらい市	国			1	1								1				3
	県	3		2									1	2			8
	市			6					1	1				1			9
美浦村	国													1			1
	県			2	1				1								4
	村		1	10	7									4			22
阿見町	国																0
	県			2												1	3
	町	1		4				1	2				2	7		4	21
河内町	国																0
	県			1													1
	町	6	2	21	2			1				1		3		4	40
利根町	国				1												1
	県												1				1
	町	4	8	7	3			1	2					6			31
古河市	国	1								1							2
	県	1	2	4	2					1			3	2		2	17
	市	6	11	13	5	2	2	29	10	14		10	3	25		7	137
筑西市	国	1		1										4			6 *
	県	2	7	4	5				1				1	4			24
	市	21	15	21	12	3			10	2		6	4	19		6	119
結城市	国										1			1			2
	県		5	2	5	1		1			1		1	2			18
	市	13	5	17	7		1	7	7				5	27		1	90
下妻市	国	1												1			2 *
	県			5	2			1	1					1			10
	市	2	3	3				5	3	1			4	6		4	31
常総市	国	1															1
	県		4	2	1								1	1			9
	市	10	6	6	3	1			5		3		6	4		8	52

市町村名	指定別	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計	
坂東市	国		1														1	
	県	3	2	5	3	1							2	1		1	18	
	市	6	4	25					12	4			1			10	62	
桜川市	国	1		1	1									2	1	1	7	＊
	県	11	6	20	5	4		1	1	1				2		1	52	
	市	12		27	1			1	7	6		2	3	4		7	70	
八千代町	国																0	
	県	1		2													3	
	町	5	5	10	2	1		4	7					8			42	
五霞町	国																0	
	県				1									1			2	
	町	1			1	5											7	
境町	国																0	
	県		1		1								1				3	
	町		445	3	4	9	1	3	2			19	1	2			489	
その他	国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	＊

市町村指定文化財数	建造	絵画	彫刻	工芸	書跡	典籍	古文	考資	歴資	無形	有民	無民	史跡	名勝	天然	合計
	243	619	524	234	56	10	98	196	105	13	85	124	387	12	262	2968

（令和７年３月１日現在）

（注）＊について

・国指定重要文化財（建造物）「石岡第一発電所施設」は，高萩市と北茨城市にまたがる指定であるので，それぞれの市の欄に重複して記載し，＊を付した。

・国指定史跡「新治廃寺跡」は，桜川市と筑西市にまたがる指定であるので，それぞれの市の欄に重複して記載し，＊を付した。

・国指定史跡「大宝城跡」は，下妻市と筑西市にまたがる指定であるので，それぞれの市の欄に重複して記載し，＊を付した。

・県指定有形文化財（歴史資料）「訂正常陸国風土記版木」は，20枚のうち19枚が日立市に，20枚のうち１枚が水戸市に所在するので，それぞれの市の欄に重複して記載し，＊を付した。

・国指定天然記念物「軍鶏（シャモ）」は，東京都・茨城県・秋田県・高知県・千葉県・青森県を主たる棲息地とするので，市町村名を「その他」として記載し，＊を付した。

令和６年度新規指定（解除）市町村指定文化財一覧

＜新規指定＞

市町村名	種 別	名 称	数 量	所在地	所有者	指定年月日
水戸市	歴史資料	笠原水道絵図	8	水戸市田野町1662-14 （市浄水管理事務所）	水戸市 上下水道局	令和7年2月10日
水戸市	歴史資料	薬王院扁額	2	水戸市元吉田町682	宗教法人 薬王院	令和7年2月10日
大子町	彫刻	木造観音菩薩坐像	1	大子町下金沢292	性徳寺	令和6年8月28日
鹿嶋市	史跡	三笠山道路衢神	1	鹿嶋市大字宮中無番地	三笠山西区	令和6年5月1日
龍ケ崎市	歴史資料	若柴宿駅図絵馬	1	龍ケ崎市馴馬町2488番地	星宮神社	令和7年1月22日

＜指定解除＞

	種 別	名 称	数 量	所在地	所有者	解除年月日
ひたちなか市	考古資料	十五郎穴横穴墓群館出支群Ⅰ区第32号墓出土銅製金具方頭大刀	1	ひたちなか市中根3499 （埋蔵文化財調査センター）	ひたちなか市	令和6年12月26日
ひたちなか市	考古資料	十五郎穴横穴墓群館出支群Ⅰ区第35号墓出土品一括	266	ひたちなか市中根3499 （埋蔵文化財調査センター）	ひたちなか市	令和6年12月26日
那珂市	天然記念物	鈴木家のヒイラギ	1	那珂市額田南郷	個人	令和6年12月13日
潮来市	天然記念物	大生殿神社の桜並木	1	潮来市大生	大生殿神社 （大生区）	令和6年7月25日
石岡市	天然記念物	上青柳の大山桜	1	石岡市上青柳	個人	令和6年7月18日
筑西市	天然記念物	二所神社　大榊	1	筑西市成田386	宗教法人 二所神社	令和7年2月14日

６　令和６年度茨城県埋蔵文化財センター事業概要

１　概　　要

（１）設置目的

茨城県埋蔵文化財センター「いせきぴあ茨城」（以下「埋蔵文化財センター」という。）は、公益財団法人茨城県教育財団（以下「教育財団」という。）が発掘調査及び整理・研究を行った出土遺物等を収蔵・保管及び管理し、さらに活用して県民への埋蔵文化財の保護と普及啓発を行い、文化財保護行政を担う人材の育成を図る。

なお、埋蔵文化財センター内には、教育財団の整理センターが所在しており、国・県等の開発事業に係る発掘調査で得られた出土遺物等の整理・研究及び報告書刊行を行っている。

（２）所在地

〒311-4325　茨城県東茨城郡城里町北方 1481 番地（旧城里町立北方小学校敷地）

電話：029-289-3300　　ＦＡＸ：029-289-4545

（３）利用時間

開館時間　９：00～17：00（入館は 16：30 まで）

休 館 日　毎週土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末・年始（12／29～１／３）

２　令和６年度事業概要

（１）遺物の保存・活用事業

ア　収蔵・保管状況（令和６年 12 月末現在）

報告書番号	報　告　書　名	所在地	刊行年月
第 405 集	清水古墳群 神屋遺跡 神屋南遺跡	稲敷市	平成 28 年３月
第 406 集	高須賀堂ノ前遺跡 高須賀道城入遺跡	つくば市	平成 28 年３月
第 407 集	東田中遺跡 中津川遺跡２	石岡市	平成 28 年３月
第 408 集	並松遺跡２	城里町	平成 28 年３月
第 409 集	取手宿跡２	取手市	平成 28 年３月
第 411 集	仁江戸古墳群	八千代町	平成 28 年３月
第 412 集	宮後東原遺跡	筑西市	平成 28 年３月
第 413 集	明石遺跡２	つくば市	平成 28 年３月
第 416 集	埃倉遺跡 鐘打東遺跡 埃倉西遺跡	坂東市	平成 29 年３月
第 420 集	殿畠遺跡	小美玉市	平成 29 年３月
第 425 集	東大橋逆井遺跡	石岡市	平成 30 年３月
第 426 集	清水原山遺跡	潮来市	平成 30 年３月
第 427 集	築地遺跡 宮原前遺跡２	常総市	平成 30 年３月
第 428 集	山王中坪遺跡	五霞町	平成 30 年３月
第 429 集	柴崎大堀遺跡 柴崎大日塚	つくば市	平成 30 年３月
第 430 集	見川塚畑遺跡	水戸市	平成 30 年３月
第 431 集	島名熊の山遺跡(14 区)	つくば市	平成 30 年３月
第 432 集	島名熊の山遺跡(13・14 区)	つくば市	平成 30 年３月
第 434 集	東田中遺跡２	石岡市	平成 31 年３月
第 435 集	九重東岡廃寺 金田西遺跡	つくば市	平成 31 年３月
第 436 集	瑞龍遺跡	常陸太田市	平成 31 年３月
第 437 集	島名熊の山遺跡(12 区　Ａ・Ｄ区)	つくば市	平成 31 年３月
第 438 集	島名中代遺跡	つくば市	平成 31 年３月
第 439 集	島名前野東遺跡	つくば市	令和２年３月
第 443 集	金田西坪Ｂ遺跡	つくば市	令和２年３月
第 445 集	中道遺跡	大子町	令和２年３月
第 446 集	下河原崎高山古墳群２	つくば市	令和２年３月
第 447 集	与曽内遺跡	龍ケ崎市	令和２年３月
第 448 集	熊ノ平古墳群 一本椎遺跡	鉾田市 行方市	令和３年３月

報告書番号	報　告　書　名	所在地	刊行年月
第 449 集	金田西坪Ｂ遺跡２	つくば市	令和３年３月
第 450 集	上境滝の台古墳群 上境作ノ内遺跡２ 上境作ノ内古墳群	つくば市	令和３年３月
第 451 集	館野遺跡 並木新田台北遺跡	小美玉市	令和３年３月
第 453 集	大高台遺跡 北久保Ｂ遺跡	高萩市	令和３年３月
第 454 集	島名本田遺跡	つくば市	令和３年３月
第 455 集	米田水塚群第１号塚	取手市	令和３年３月
第 456 集	牛頭座南遺跡	阿見町	令和３年３月
第 457 集	中居指遺跡	下妻市	令和４年３月
第 458 集	姥久保遺跡２	かすみがうら市	令和４年３月
第 459 集	上境旭台貝塚５	つくば市	令和４年３月
第 460 集	金田西遺跡	つくば市	令和４年３月
第 461 集	船玉台遺跡	小美玉市	令和４年３月
第 462 集	塔ノ内南遺跡	筑西市	令和４年３月
第 465 集	中道遺跡 寺内遺跡 大城遺跡 舟塚古墳群	水戸市	令和５年３月
第 466 集	橋爪遺跡	笠間市	令和５年３月
第 467 集	下大賀遺跡３	那珂市	令和５年３月
第 468 集	島名本田遺跡２	つくば市	令和５年３月
第 469 集	元中北東藤四郎遺跡 上河原崎前山遺跡	つくば市	令和５年３月
第 470 集	中城遺跡　中城古墳群	行方市	令和６年３月
第 471 集	大堀遺跡	つくばみらい市	令和６年３月
第 472 集	向遺跡	茨城町	令和６年３月
第 474 集	向田遺跡	阿見町	令和６年３月

※遺物は発掘調査報告書ごとに収蔵・保管している。
※報告書番号のない遺跡の遺物は、遺跡所在市町村へ譲与済

イ　活用状況

○常設展示

茨城県内における旧石器時代から中・近世までの歴史の流れに沿った、発掘調査出土資料を展示した。

○整理完了遺跡速報展示

前年度に整理作業が終了した７遺跡について、パネルによる概要の解説と、特筆される代表的な出土資料を展示した。

○発掘調査遺跡・整理作業遺跡の成果展示

県教育財団調査課による土浦市中道南遺跡出土の塔鋺形合子の速報展示会（令和６年９月８日～９月 14 日の期間）への協力とともに、整理作業が進められていたつくば市島名境松遺跡の縄文時代資料へ展示入れ替えを年度後半に実施し、速報的に調査成果を紹介した。

ウ　所蔵資料の利活用

県内小中学校等を対象にした出前授業、各種イベントにおける展示、実物（縄文土器・弥生土器・石器・土偶）の観察や触れる体験活動のための教材として利活用した。

また、研究者・研究機関向けに、出土遺物を計測・分析のための学術的資料として貸し出した。

貸出資料：つくば市上境旭台貝塚出土品（木製品・漆製品・土偶）、常総市築地遺跡出土品（土偶）

エ　所蔵資料の貸出等

下記のイベント等に、所蔵資料を貸し出した。

○北茨城市歴史民俗資料館　企画展「モノが語る－資料から紹介する北茨城の歴史－」

会　　期：令和６年６月 12 日～９月１日

　貸出資料：常総市築地遺跡出土品、石岡市東田中遺跡出土品、つくば市上境旭台貝塚出土品
○つくば市　文化財巡回企画展「金田官衙遺跡国史跡指定 20 周年記念　中根・金田台地区の遺跡」
　会　　期：令和６年 10 月５日～令和７年２月２日
　貸出資料：つくば市金田西坪Ｂ遺跡、同市上境作ノ内１号墳、同市上境旭台貝塚、同市上境滝の台古墳群出土品
○栃木県立博物館　第 140 回企画展「死者と生者の古墳時代－下野における 6・7 世紀の葬送儀礼－」
　会　　期：令和６年 12 月 14 日～令和７年２月２日
　貸出資料：つくば市下河原崎高山古墳群出土品
○その他、県内市町村教育委員会及び県内外個人研究者向けに、保管資料の閲覧について対応した。

栃木県立博物館企画展の様子

縄文土器焼成の様子

（２）普及事業の実績
ア　わくわく体験教室

開催日	テ　ー　マ	人	開催日	テ　ー　マ	人
5 月 12 日	貝塚のひみつを調べよう	12	9 月 15 日	縄文土器のひみつをさぐろうⅠ	10
6 月　2 日	古墳探検をしよう	24	10 月 6 日	縄文土器のひみつをさぐろうⅡ	11
7 月 28 日	埴輪のなぞにせまる	24	12 月 8 日	勾玉ってなんだろう	23
8 月 25 日	古代のガラスのなぞにせまる	6	計		110

イ　出前授業・出前講座（令和６年 12 月末現在）

開催日	事　業　所　名	人	開催日	事　業　所　名	人
6 月　5 日	常陸太田市立世矢小（６年）	26	8 月 23 日	笠間小児童クラブ	48
6 月 11 日	大子町立さはら小（３～６年）	11	9 月 26 日	八千代町立中結城小（６年）	53
6 月 13 日	笠間市立岩間第三小（６年）	45	9 月 29 日	城里町教育委員会	9
6 月 18 日	東海村立中丸小（６年）	116	10 月　3 日	常陸太田市立金砂郷小（６年）	125
7 月　3 日	つくば市立みどりの南小（６年）	65	10 月 16 日	常陸太田市立機初小（６年）	83
7 月 21 日	土浦市上大津公民館	7	10 月 20 日	子ども大学県南キャンパス	82
7 月 29 日	北茨城市関本町公民館	23	10 月 29 日	東海村立石神小（３年）	47
7 月 31 日	水戸市ふれあいの館	45	11 月 10 日	国営ひたち海浜公園　海・花そとあそび	215
8 月　4 日	土浦市上大津公民館	5	11 月 12 日	ひたちなか市立美乃浜学園（５年）	85
8 月 18 日	国営ひたち海浜公園	28	11 月 15 日	茨城町立長岡小（４年）	116
8 月 20 日	こどもひろばころっポごろっポ	19	12 月 11 日	城里町立常北小（５年）	34
			計		1,287

ウ　施設見学・体験活動（令和６年 12 月末現在）

○　団　体

開催日	事　業　所　名	人	開催日	事　業　所　名	人
５月 26 日	瓜連歴史を学ぶ会	18	７月 23 日	県立笠間高（２年）	19
６ 月 ４ 日	那珂市立額田小（６年）	20	７月 24 日	じょうしょう塾カネアゲ店	14
６月 19 日	城里町立石塚小（６年）	72	７月 29 日	じょうしょう塾カネアゲ店	10
６月 21 日	城里町立七会小（６年）	11	７月 31 日	エイトファクトリーゴダイ	26
６月 27 日	城里町立沢山小（６年）	15	８ 月 ９ 日	城里町教育研究会社会教育研究部	20
７ 月 ７ 日	ミュオンにコーフンクラブ	53	10 月 24 日	城里町立常北小（３年）	13
７月 11 日	常陸大宮市立美和小（６年）	13	12 月 15 日	土浦一中地区公民館チャレンジクラブ	24
７月 12 日	城里町立桂小（６年）	12	計		340

○　個　人

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	計
人数（人）	59	65	72	75	151	215	19	40	42	738

エ　広報活動

広　報　資　料	主な配布対象等
わくわく体験教室ポスター	茨城県内の小中学校、教育文化施設ほか
施設パンフレット	
埋蔵文化財センターＰＲクリアファイル	来館者ほか
茨城県教育委員会ホームページでの事業実績掲載	インターネットによる情報提供

オ　城里町との連携事業

○９ 月 29 日　いきいき城里「城里町地域資源を活かした課外講座事業」講師派遣、会場提供　９人

○10 月 27 日　「ホロルのたまご～しろさと町民まつり～」へブース出展　利用者 395 人

○１ 月 26 日　城里町、教育財団と城里町文化財散策を共催　23 人

国営ひたち海浜公園 海・花そとあそびの様子

城里町文化財散策の様子

7　国・県等が実施する開発行為に係る埋蔵文化財の取扱い状況

ひたちなか地区土地造成事業（水戸陸軍飛行学校及び水戸飛行場跡）の試掘調査について

1　埋蔵文化財と近世・近代の遺跡

本県における埋蔵文化財の取り扱いは、文化庁により平成10年に示された「埋蔵文化財の保護と発掘調査の円滑化等について（通知）」(1) を踏まえて定められた「埋蔵文化財として扱う範囲及び開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに関する基準について（通知）」(2)（以下「取扱い基準」）に基づき、国及び県事業を県文化課が、市町村事業及び民間事業を市町村文化財主管課がそれぞれ担当する形で行われている。

そのうち、県文化課による埋蔵文化財の取り扱いに際しては、事業地が「周知の埋蔵文化財包蔵地」に該当するか否かを問わず、全ての開発事業を対象に事業者に事前照会の協力を求め、現地踏査や試掘調査を実施してきた。この事前照会制度は、埋蔵文化財は地中に存在するという性質上、工事中の不時発見による埋蔵文化財の損壊を防ぐという目的で、文化財保護法第 97 条を根拠に行っているものであり、毎年開催している説明会によって、国及び県事業者にも定着してきたところである。

過去３か年における埋蔵文化財の取り扱い実績は第１表に示すとおりであり、現地踏査や試掘調査にかかる延べ日数はこの３年間で大きな増減はなく、横ばいの傾向となっている。

第１表　埋蔵文化財取り扱い状況　（茨城県教育委員会）

	現地踏査 （延べ日数）	試掘調査 （延べ日数）	工事立会 （延べ日数）	発掘調査 （遺跡数・終了面積）	整理作業 （遺跡数）
令和３年 （2021）	69 日 国 6 県 63	76 日 国 18 県 58	16 日 国 0 県 16	16 遺跡 （34,065 ㎡）	11 遺跡
令和４年 （2022）	52 日 国 5 県 47	95 日 国 34 県 61	16 日 国 2 県 14	18 遺跡 （49,370 ㎡）	15 遺跡
令和５年 （2023）	49 日 国 10 県 39	85 日 国 28 県 57	4 日 国 1 県 3	15 遺跡 （45,549 ㎡）	14 遺跡

このような状況のなか、近世・近代の遺跡の取り扱いについては、「取扱い基準」において対象を以下のように定めている。

(2) 近世については、城館跡、社寺跡、生産遺跡、祭祀遺跡及び交通遺跡等を対象とし、県教育委員会又は市町村教育委員会が埋蔵文化財として扱う必要があると判断したもの。

(3) 近現代については、各種産業関連施設跡及び社会・政治・文化関連施設跡等を対象とし、県教育委員会又は市町村教育委員会が埋蔵文化財として特に重要な扱いをする必要があると判断したもの。

これを踏まえ、本県ではこれまで近世遺跡として水戸城跡（水戸市）や取手宿跡（取手市）等、近代遺跡として旧百里原海軍飛行場掩体壕群（小美玉市）等を周知の埋蔵文化財包蔵地とし、記録保存のための発掘調査を実施してきた。

現在、本県における近世単独の周知の埋蔵文化財包蔵地は、七面製陶所跡（水戸市）や初崎砲台跡

（日立市）等約 422 件、近代単独の周知の埋蔵文化財包蔵地は、東府中掩蔽壕群（石岡市）等３件に及ぶ。

２　取り扱いの経緯

令和５年（2023）３月、茨城県公営企業管理者企業局長（以下「事業者」）から茨城県教育委員会教育長あてに、ひたちなか地区土地造成事業に係る埋蔵文化財の取り扱いについて照会があった。事業地は広大な水戸対地射爆撃場跡地の一部であり、自動車安全運転センター安全運転中央研修所周回コース内側の山林、荒地で面積は約 12ha である（第１図）。

第１図　事業地の位置
（国土地理院地図を加工）

水戸対地射爆撃場跡地は、昭和 48 年（1973）３月 15 日に日本政府に返還された後、現在は国営ひたち海浜公園や工業団地、商業施設等となっている。ここは昭和 61 年（1986）、国が常陸那珂港関係事業に先立ち埋蔵文化財の有無の照会を旧那珂湊市に対して行い、沢田遺跡の所在が確認されたことから記録保存の措置を取る等、文化財保護を図りながら開発が進められてきた地である。

事業地は、アジア太平洋戦争終結後に水戸対地射爆撃場跡地、それ以前は旧陸軍の施設（旧水戸陸軍飛行学校及び水戸飛行場跡）が所在していた。そのため県は、事前に磁気探査による異常物の確認除去調査（平成元年（1989）～３年（1991））を行い、旧陸軍や米軍が演習を行った際に使用した爆弾、ロケット弾、機銃弾等を多量に発見し処分している（３）。また、事業報告書には、旧日本陸軍が使用していた兵舎・格納庫の基礎跡や幅約 100ｍの滑走路跡が残っているとの記載もあった。

アジア太平洋戦争の終結から約 80 年が経ち、戦争の記憶を語り伝える人たちも少なくなってきた昨今、旧軍施設を戦争遺跡として地域に残された歴史を語る文化財として価値を見い出し、保存活用を図る取り組みもなされるようになってきた（世界遺産「原爆ドーム」（広島県広島市）、国史跡「東京湾要塞跡 猿島砲台跡 千代ヶ崎砲台跡」（神奈川県横須賀市）、福岡県史跡「海軍築城航空基地稲童掩体」（福岡県行橋市）等）。県内でも「予科練平和記念館」（阿見町）や「筑波海軍航空隊記念館」（笠間市）は、戦争を後世に語り継ぐとともに平和を祈念する資料館として広く公開されている。

事業地に旧水戸陸軍飛行学校及び水戸飛行場跡に関する施設が残存していれば、県内に残された大規模な戦争遺跡となることから、事業者及びひたちなか市に協力を求め、まずは現地踏査を実施して

現状を確認することとした。

3　戦争遺跡の現状

戦争遺跡（戦跡）とは、「近代日本の侵略戦争とその遂行で、戦闘や事件の加害・被害・反戦抵抗に関わって国内外で形成され、かつ現在に残された構造物・遺構や跡地」（十菱ほか編 2002）とされ、それ以前のもの（古戦場）とは区別されている。

昭和 20 年（1945）８月 15 日のアジア太平洋戦争終戦とともに大日本帝国陸海軍は解体され、以後、それら軍に関する施設は開拓地として農地や宅地、公共施設や工業団地、自衛隊や米軍施設等となって活用されてきた。一般に地方の施設については、残された写真や資料が少なく、人々の記憶や証言等を頼りに語られてきたが、調査等による客観的な情報を得るには十分とは言えないまま今日に至っていることが多い。

帝都東京に近く、長い海岸線を持ち平坦地が多い本県には、海軍飛行隊や陸軍飛行場等の旧陸海軍関係の施設が多く作られた。終戦時、霞ヶ浦海軍航空隊（大正 11 年（1922）開隊）はじめ８か所の海軍航空隊と６か所の航空基地（飛行場）の海軍施設が存在していた。陸軍においては水戸飛行場を始め７か所の飛行場が存在し、軍人養成の学校の機能を併設するものもあった。それ以外にも満蒙開拓青少年義勇軍に関する施設、風船爆弾放球基地、特攻艇「震洋」格納壕等があり、日立市内には１ｔ 爆弾痕が残り、機銃掃射等の痕跡を残す建物、防空壕等も各地に残る。また、忠魂碑や慰霊碑も各地に所在し、戦争の歴史を今に伝えている。

4　水戸陸軍飛行学校及び水戸飛行場と水戸対地射爆撃場

当地は、明治 42 年（1909）から昭和 20 年（1945）８月のアジア太平洋戦争の終戦まで、旧陸軍の施設として利用されていた（第２図）。このため昭和 20 年２月には米軍艦載機の攻撃を受け、死傷者 150 余名を出している。

第２図　1939 年頃の航空写真
（ひたちなか市埋蔵文化財調査センター提供）

戦後は、米軍に接収され、米軍航空部隊の水戸対地射爆撃場として使用された。昭和 26 年（1951）からは警察予備隊、その後は自衛隊にも使用されていた。この期間、米軍機の事故や誤射・誤爆等の事故が起き、住民が死傷することもあった。特にベトナム戦争と重なる時期には、米軍の訓練も激しく、日に数百機単位での訓練が行われ、その騒音と砲撃音は周辺住民を悩ませていた。こうした中、地元住民は市や県とともに基地返還運動を展開し、昭和 48 年（1973）３月 15 日、水戸対地射爆撃場は日本政府に返還されることになった。

5　現地踏査

今回試掘調査の対象としたのは、水戸陸軍飛行学校及び水戸飛行場に関連する施設（駐屯地、演習場、研究・教育施設、飛行場、戦闘施設）であり、「空襲被害地」でもある。

まず、1990 年代に県が実施した磁気探査による異常物の確認除去調査報告書や航空写真をもとに、施設の現状を確認した。結果、1990 年代初頭までの航空写真には滑走路、建物等の痕跡が認められるが、その後は事業地南側に隣接して工業団地が造成され、兵舎の一部及び滑走路の端部が更地となり、事業地内にも大規模な土木工事の痕跡が認められた。また、事業者から提供された資料には、隣接する工業団地が造成の際、コンクリートの基礎等の撤去作業が指示されていることも判明した。一方で、事業地の中心部は雑木等の成長により山林、荒地となっており、コンクリート製の滑走路及び誘導路、滑走路西側に広がる兵舎や格納庫等の一部が残存しているとも考えられた（第３、４図)。

ひたちなか市との事前協議では、現地踏査及び試掘調査により飛行場をはじめとする施設が良好な状況で確認された場合、県内に残された数少ない戦争遺跡となり、埋蔵文化財として特に重要な扱いをすることも視野に入れて進めることとした。同時にその旨を事業者に説明したところ、事業行程に支障がない範囲で協力するとの回答を得た。

こうして、県、事業者及びひたちなか市の三者で現地踏査を実施し、以下のような結果を得た。

〇地表には重機による作業の痕跡が各所で見られる。

〇滑走路跡地と想定される部分は周辺部分と比較し、植生がまばらである。

〇所々でコンクリート製基礎部が確認できるが、建物の上屋等は確認できない。

〇事業地が広大であり、樹木や竹が生い茂り現状を確認できない部分が多い。

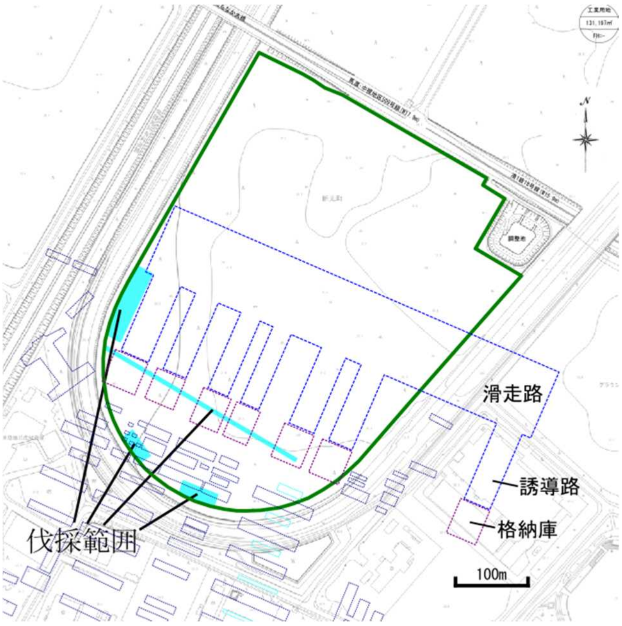
そこで、試掘調査を実施し、軍関係の施設の有無を確認することとした。また、事業者には事前に構造物が位置すると思われる４か所（約 1.0ha）の伐開を依頼した。

第３図　2010 年代と 1960 年代の航空写真を重ねた図（国土地理院）

第４図　1945 年の航空写真（ひたちなか市埋蔵文化財調査センター提供）に事業地（緑枠内）を重ねた図

６　試掘調査計画と目的

調査区が約 12ha と広大であることから、現地踏査の結果や、事前に事業者から提供された平面図と時間経過のわかる航空写真を重ね合わせて試掘箇所を設定した。試掘調査は、0.25 ㎥バックホウ２台を用いて３日間とし、以下（１）～（６）の確認を目的として実施した（第５、６図）。



第５図　滑走路・誘導路・格納庫位置図

（１）滑走路及び誘導路の残存状況の確認

〇両側の緩衝帯の有無

〇コンクリート型枠の有無

（２）格納庫の残存状況（７か所）

（３）兵舎、倉庫等の残存状況

（４）航空写真に残るその他施設の有無

（５）地下壕、掩体の有無

（６）射爆撃場返還後の工事範囲（磁気探査や造成工事の痕跡）

また、調査にあたっては以下の点に留意した。

〇危険物（不発弾等）が残存する恐れがあるため、掘削は最深 1.5m までとする。

〇主に 1945 年、80 年、93 年の航空写真を参考とする。

〇原則、出土した資料（旧軍、米軍、工事の伴う資材等）はすべて回収する。

第６図　試掘調査地点（トレンチ設定位置）

7　試掘調査

事業地内に 44 カ所のトレンチ（幅 0.8～4.0m、長さ 2.0～23.0m、深さ 0.1～1.5m）を設定して遺構の有無を確認した。

（1）確認された遺構

ア　滑走路

滑走路と想定される範囲にトレンチを設定したが、コンクリートの敷設は確認されなかった。トレンチ７断面からは、表土の下から砂利を敷き詰めた整地層が認められた。周辺には、平坦面のあるコンクリート片が多数散乱していることから、この層上にコンクリート製の滑走路が施工されていたと考えられる。なお、平成４（1992）年撮影の国土地理院空中写真にコンクリート片が集積された様子が写っていることから、滑走路のコンクリート路面は撤去され整地されたと考えられる（第７図）。

また、トレンチ 30 西側には前述の様子は見られず赤土の地山が確認されたことから、滑走路西端と考えられる（第８図）。

第７図　トレンチ７土層断面

第８図　トレンチ 30 遺構確認面

イ　格納庫と滑走路を結ぶ誘導路

誘導路と想定される範囲にトレンチを設定したが、コンクリートの敷設は確認さなかった。トレンチ 11 断面からは、砂利を含む層と上面が削平された砂層が認められた。また、付近には誘導路面の一部と考えられるコンクリート片が多数散乱していたことから、コンクリート路面を撤去した後に造成のため整地されたと考えられる（第９図）。

第９図　滑走路面と思われるコンクリート片

ウ　格納庫

昭和20年（1945）２月撮影の航空写真に見える格納庫７か所うち、５か所にトレンチを設定し調査した。中央部の格納庫下のトレンチ16からは丸礫敷きの整地層を確認したが、建屋の部材は確認されなかった。また、周辺にはスレートの屋根材やガラス片が散布していたが、西側４か所の格納庫下のトレンチからは建物基礎の痕跡は確認されなかった。トレンチ24断面からは、深さ50㎝まで砂利やコンクリート片を含む攪乱された層が確認された（第10図）。これらの状況から格納庫の基礎を撤去した後に造成のため整地されたと考えられる。また、トレンチ17からは格納庫の建築資材の一部と思われるものを確認した（第11図）。さらに、トレンチ20・21からは埋設された鉄管が出土し、トレンチ22からは深さ1.4mで埋設された土管と鉄筋コンクリート片が出土した（第12、13図）。

第10図　トレンチ24　土層断面（整地層・撹乱層）

第11図 トレンチ17 出土物（建築資材カ）

第12図　トレンチ20・21　出土物(鉄管)

第13図　トレンチ22　出土物（土管）

エ　兵舎、倉庫等

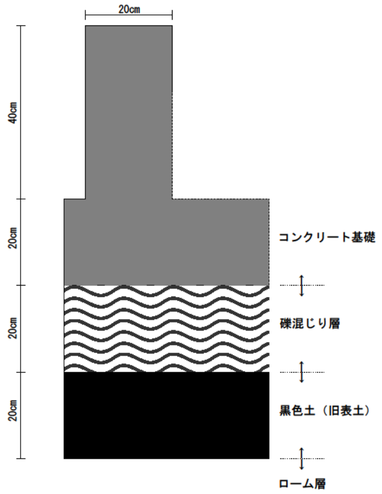
安全運転中央研修所テストコース南側コーナー付近に兵舎、倉庫の一部を確認した（第14、15図）。トレンチ33で露出していたコンクリートの一部を深さ0.2m掘り下げたところ滑走路に並行して南北約8.0m、それに直行して東西約3.0mのコンクリート製の基礎を確認した。その構造は、黒色土（旧表土）の上部に0.2～0.4mで砂利を敷き詰めた整地層を敷設し、その上に0.6mの厚さでコンクリートを流して施工されていた（第16、17図）。基礎は、南北、西側に延び、東側

は直線であることから、建屋の東側の基礎であることが分かった。ほとんどが重機により破壊され、正確な規模は確認できなかったが、その位置や昭和 20（1945）年２月撮影の航空写真、開発公社提供の青焼きの図面から長さ約 70m の兵舎と想定される（第 22 図）。

第 14 図　トレンチ 33　基礎確認状況

第 15 図　トレンチ 33　コンクリート基礎断面

第 16 図 トレンチ 32 遺物確認状況



第 17 図　「兵舎」建屋Ａ基礎断面図（模式図）

トレンチ 40 からは、滑走路に並行して 12.1m、それに直行して 12.4mのコンクリート製の基礎の一部を確認した（第 18、19 図）。基礎は、トレンチ 33 で確認した基礎より厚く大型であり、鉄筋や鉄製レールが付設されたものもあったことから、大型の扉をもつ倉庫と想定した（第 20、22 図）。また、トレンチ 35 から滑走路に並行してコンクリート枡とそれに接続する土管を確認した（第 21 図）。コンクリート枡は型枠の痕跡があり、現地にて土管を埋設しながら施工したことが分かる。

第 18 図 トレンチ 40 遺構確認状況

第 19 図 トレンチ 40 遺構確認状況

第 20 図 レールの残る大型コンクリート基礎

第 21 図 トレンチ 35 排水桝・土管確認状況

第 22 図 確認された遺構

オ その他の施設

コンクリート製構造物の破片は各所に散乱していたが、施工された状態で確認された基礎は、上記２棟だけであった。トレンチ 35 からは埋設された土管と、それに付随した枡（排水）と鉄管、トレンチ 20・21 からは埋設された鉄管（水道管）（第 23 図）、トレンチ 42・43 からは土管（排水管）それに付随した枡を確認した（第 24・25 図）。トレンチ 41 からは時期不明の溝、トレンチ 39 からは道路跡を確認した。これら埋設物は、昭和 20（1945）年２月撮影の航空写真に見える建屋と並行あるいは直角に配置されており、これら建屋に付随して機能していたものと考えられる。

また、昭和20（1945）年２月撮影の航空写真で確認できるエ型の建造物は、現存する鹿島海軍航空隊跡（美浦村）の燃料庫の形状と類似し、格納庫近くに立地していることから燃料庫であると思われる。

第23図 トレンチ20・21　鉄管埋設状況

第24図 トレンチ42・43　土管・枡確認状況

第25図 トレンチ43　枡埋設状況

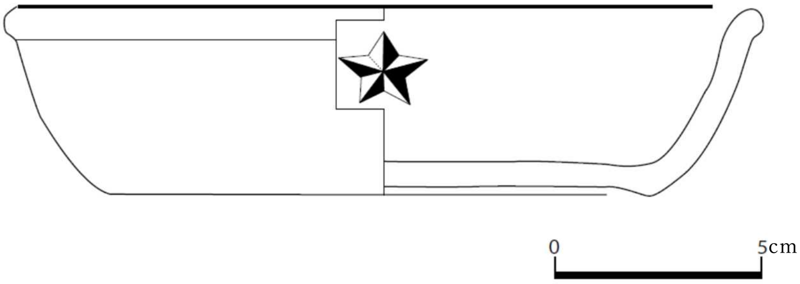
（２）出土遺物

ア　陶磁器等

トレンチ32からは深皿「陸軍軍用陶器：名古屋製陶所銘入り」が出土している。トレンチ34の土管埋土から陶器２点、磁器１点が出土している（第26、27図）。陶器２点はOLINPIKUと装飾され、「堅輪リヤカー特約店　馬渡　永井輪店」の銘入りである。その他、数点の陶磁器片が出土している。

第26図 トレンチ34　遺物出土状況

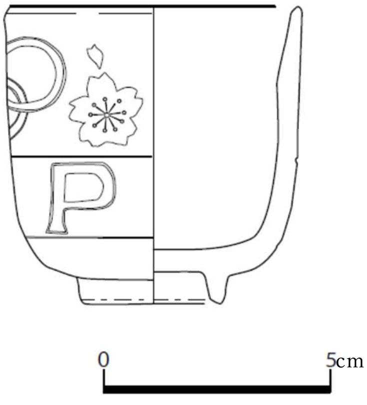
第27図 トレンチ34　土管埋設状況



［寸法］口径 18.3 ㎝　器高 4.5 ㎝　底径 13.6 ㎝
［器種］深皿　［材質］硬質陶器　［色調］白色
［口縁部］玉縁状　［年代］昭和 10 年代
［備考］内面に陸軍徽章のプリント、外面底部に名古屋製陶所の裏印あり

第 28 図　「陸軍軍用陶器：名古屋製陶所銘入り」　写真・実測図

第 29 図「東京オリンピック記念陶器」



［寸法］口径 6.6 ㎝　器高 6.6 ㎝　底径 3 ㎝
［器種］湯呑（長筒丸腰湯呑）［色調］外面 茶褐色、内面 白色
［文様］外面「ORINPIKU」、五輪マーク、日章旗、桜花の型押し文
［備考］外面に「堅輪リヤカー特約店 馬渡 永井輪店」の銘入り

第 30 図「東京オリンピック記念陶器」実測図

イ　その他の遺物

トレンチ 44 の攪乱層からガラス瓶（ワイン、殺虫剤）が出土している。工事による攪乱層からは空き缶（缶コーヒー）や清涼ドリンクの空きビン等が出土した。

a ワインの瓶

b 殺虫剤の瓶

c 土管

d コンクリート製の瓦

第 31 図　調査で確認した遺物

8　成果と課題

今回、調査によって確認した遺構は、その位置や規模、構造から資料や航空写真で確認された旧軍関連施設であり、ここが大規模な戦争遺跡であることを裏付けるものとなった。また、一部ではあるが滑走路や兵舎等施設の基礎構造等も明らかにすることもできた。しかし、施設のほとんどが現状を留めず破壊されていることから、ひたちなか市との協議の結果、事業者には記録保存の必要性はなく慎重に工事を実施するよう回答した。ただ、工事中に滑走路、誘導路、格納庫等が広範囲にわたって確認されたり、まとまって遺物が発見されたりした場合には、県又は市に連絡をするよう協力を求めた。さらに周辺には未だ開発の及んでいない地域もあり、今後、文化財を取り扱う際に適切な措置が講じられるよう、試掘調査で得られたすべての資料は、ひたちなか市と県、事業者で共有した。

また、今回の調査では、市史等の文献、過去の開発事業にかかる計画書等とともに航空写真や VTR 等の映像資料も多数活用した。近現代の文化財の調査においては、これら映像資料や聞き取り等大いに活用すべきであり、これら資料をいかに効果的に活用するかが肝要である。今回は「茨城県ニュース：茨城県公報課：秘書公聴課」や WEB 上で公開されている映像等も多数活用した。

最後に、周知の埋蔵文化財包蔵地ではなく、かつ近代の戦争遺構であった事業地予定地を調査できた意義は大きい。前述したように本課では、埋蔵文化財の特殊性を考慮し、文化財保護の観点から「周知の埋蔵文化財包蔵地の有無」にかかわらず、事業照会をしてほしいとの旨を国、県関係の事業者に対し依頼している。今回の事業についても事業者、県、ひたちなか市の三者が協議を重ね、試掘の結果によっては文化財として記録保存の措置も視野に入れて取り扱いを進めた。埋蔵文化財の保護にあたっては、開発事業者の理解と協力、市町村との連携を図っていくことが必要不可欠である。

先述したように当事業地は、戦後になっても事故や騒音問題に苦しめられていた住民が長年の基地返還運動を展開し、やっと地元に返還された土地である。返還当時、旧軍施設や水戸対地射爆撃場に関連する施設は平和に対する負の遺産でしかなく、当然、文化財としての評価はなかったであろう。

文化財に対する普遍的な価値とは社会情勢の変化に伴ってその評価も変化するものである。文化財の保護の観点から近代・現代の遺跡についても、常日頃からその所在や価値を適切に把握することが求められている。

註

(1) 平成10年9月29日付け庁保記第75号 文化庁次長から各都道府県教育長宛て通知

(2) 平成12年3月3日付け文第162号 茨城県教育委員会教育長から各市町村教育委員会教育長宛て通知

(3)「記念の森レストハウス」に併設された一室に射爆撃場の歴史を語る展示があり、当時の写真や発見された米軍の模擬弾等が展示されている。

引用・文献

浅川範之　2005「「兵営」の考古学－考古資料にみる軍隊生活－」『考古学リーダー3　近現代考古学の射程～今なぜ近現代を語るのか～』pp.122-140

伊藤純郎　編　2008『フィールドワーク 茨城県の戦争遺跡』平和文化

勝田市史編さん委員会　編　1982『勝田市史料Ⅴ　水戸射爆撃場の歴史』勝田市

十菱駿武・菊池実　編　2002『しらべる戦争遺跡の事典』柏書房

鹿島昌也　2020「幻の東京五輪」記念陶磁器考―近代陶器商跡出土酒盃と伝製品の検討から―」『富山市考古資料館紀要　第33号』富山市考古資料館

８　令和５年度茨城県遺跡発掘調査報告

羽黒遺跡　調査区全景（古河市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕

羽黒遺跡　第 16 号溝跡　土層断面（古河市）〔提供（公財）茨城県教育財団〕

実穀神田遺跡　第 16 号竪穴建物跡　遺物出土状況（阿見町）〔提供（公財）茨城県教育財団〕

実穀神田遺跡　第 14 号竪穴建物跡　カマド完掘状況（阿見町）〔提供（公財）茨城県教育財団〕

1　発掘調査の概要

本報告は、令和５年度に実施された発掘調査（保存目的調査、範囲確認調査及び学術調査）69 件について、市町村文化財主管課及び（公財）茨城県教育財団等の調査担当者から提供された原稿をもとにまとめたものである。以下、注目される発掘調査について概観する。

縄文時代：**58** 谷田部陣場遺跡（つくば市）の縄文時代中期の集落跡では、竪穴建物跡や袋状土坑、円筒状土坑が激しく重複しており、長期間集落が営まれていることが確認された。**59** 村田貝塚（稲敷市）では縄文時代中期の集落跡と阿玉台期の貝層等が確認された。刺突具や装飾品等、貝刃や貝輪・鋑歯部研磨品等、多量に出土した土器片錘等は、当時の漁撈活動の在り方を辿る貴重な資料である。

弥生時代では調査例が少なく、**13** 山王遺跡（水戸市）、**25** 宮田遺跡（大洗町）、**46** 北条中台遺跡（つくば市）で竪穴建物跡や土坑等が確認された。**66** 香取前遺跡（結城市）で確認された後期の竪穴建物跡からは管玉が出土した。

古墳時代：**22** 桜塚古墳（小美玉市）では明治大学による学術調査が実施された。後世の改変が著しく墳丘裾及び平坦面の確定には至らなかったが、大量の円筒埴輪片が出土した。**34** 常名天神山古墳（土浦市）では市及び筑波大学による学術調査が実施された。調査の結果、後円部は地山削り出し及び盛土で、現存する前方部は地山削り出しによって築造されていることが判明した。**25** 宮田遺跡（大洗町）では、古墳時代中期前葉の竪穴建物跡が、鉄素材から鉄製品を製作した鍛冶工房であることが判明した。鍛冶炉が２基存在し、羽口、金床石や砥石、鉄滓、多量の鍛造剥片や粒状滓が出土し、鉄器の生産や補修を行っていた痕跡が確認された。

奈良・平安時代：**15** 安居五万堀遺跡（笠間市）では、古代東海道として推定されている箇所から道路状遺構が確認された。**62** 実穀神田遺跡（阿見町）では、１棟の焼失建物跡のカマドの遺存状態が良く、表面をスサ入り粘土で仕上げていた状況が確認された。**67** 結城廃寺跡（結城市）では、史跡整備に伴う確認調査が実施された。奈良・平安時代の僧坊跡及び鐘楼跡、経蔵跡の掘込地業の範囲が確認された。また、古代及び中世の区画溝が新たに確認された。特筆する遺物として新羅系土器が出土した。

中・近世：**27** 番城内遺跡（大子町）では、平安時代、中世、近世の遺構確認面が存在し、長期間にわたって土地利用がされてきたことが判明した。**63** 羽黒遺跡（古河市）では、確認された室町時代の溝跡が方形に巡ることから、有力者の館跡と考えられる。**16** 笠間城跡（笠間市）では、重要遺跡の確認調査が実施された。平坦地では近世の整地層や礎石が確認され、土塁では少なくとも２時期の存在が確認された。堀跡では、花崗岩の岩盤層を掘り込んだ箱薬研状であることが確認された。出土遺物として、近世及び中世の遺物が確認されたことから、前代の遺構が存在していた可能性が考えられる。

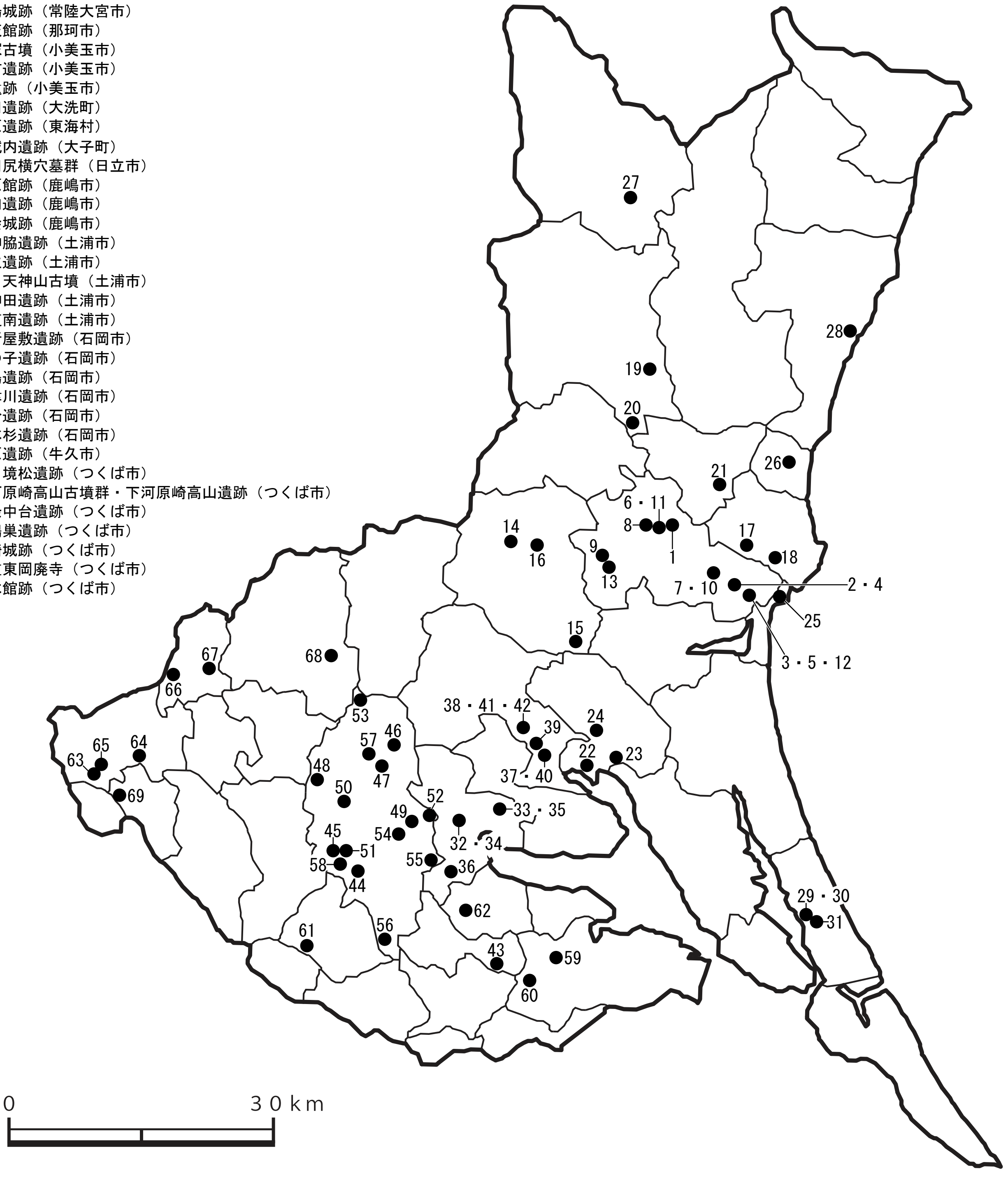
2　発掘調査遺跡の主な種別と時代

市町村名	番号	遺跡名		種別	主な時代							
					旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	近現代
水戸市	1	渡里町遺跡	（第 46 地点第 3 次）	集落跡		●			●			
	2	小原遺跡	（第 10 地点第 10 次）	集落跡				●	●		●	
	3	東前原遺跡	（第 8 地点第 13 次、第 14 地点第 3 次、第 35 地点第 4 次）	集落跡				●	●	●	●	
	4	小原遺跡	（第 40 地点第 10 次）	集落跡					●			
	5	東前原遺跡	（第 8 地点第 15 次）	集落跡					●			
	6	堀遺跡	（第 101 地点第 2 次）	集落跡					●		●	
	7	塙坪遺跡	（第 12 地点第 2 次）	集落跡				●				
	8	西原古墳群	（第 22 地点第 2 次）	古墳ほか		●		●				

市町村名	番号	遺跡名	種別	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	近現代
				主な時代							
水戸市	9	遠台遺跡　（第34地点第3次）	集落跡				●	●			
	10	塙坪遺跡　（第13地点第2次）	集落跡				●				
	11	堀遺跡　（第95地点第8次）	集落跡					●			
	12	北屋敷遺跡　（第4地点第4次）	集落跡				●	●			
	13	山王遺跡　（第3地点第2次）	集落跡			●	●				
笠間市	14	麓城跡　（2023－01地点）	城館跡						●	●	
	15	安居五万堀遺跡	道路跡					●			
	16	笠間城跡　（第4地点）	城館跡						●	●	
ひたちなか市	17	大房地遺跡　（第22次）	集落跡		●		●	●			
	18	下高井遺跡　（第9次）	集落跡		●	●	●	●			
常陸大宮市	19	高渡館跡	城館跡ほか		●		●	●	●		
	20	小場城跡	城館跡						●		
那珂市	21	地天館跡　（第3次）	城館跡						●	●	
小美玉市	22	桜塚古墳	古墳				●				
	23	広町遺跡	集落跡		●						
	24	峯遺跡	集落跡ほか		●		●		●		
大洗町	25	宮田遺跡　（第1次）	集落跡			●	●	●	●		
東海村	26	北原遺跡　（第1次）	集落跡		●			●			
大子町	27	番城内遺跡	集落跡					●	●	●	
日立市	28	太田尻横穴墓群	横穴墓				●	●			
鹿嶋市	29	塚原館跡	城館跡						●		
	30	梶内遺跡	包蔵地		●		●	●			
	31	竜会城跡	城館跡						●		
土浦市	32	天神脇遺跡	集落跡				●	●			
	33	神立遺跡　（第3次）	集落跡		●						
	34	常名天神山古墳	古墳				●				
	35	前神田遺跡　（第3次）	集落跡					●			
	36	中道南遺跡	集落跡				●	●			
石岡市	37	税所屋敷遺跡	包蔵地		●			●	●		
	38	鹿の子遺跡	包蔵地					●			
	39	田島遺跡	集落跡					●			
	40	中津川遺跡	集落跡		●	●			●		
	41	国分遺跡	包蔵地					●			
	42	一本杉遺跡	包蔵地		●			●			

市町村名	番号	遺跡名	種別	主な時代 旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	中世	近世	近現代
牛久市	43	鳳原遺跡	集落跡		●			●		●	
つくば市	44	島名境松遺跡	集落跡		●		●				
	45	下河原崎高山古墳群・下河原崎高山遺跡	集落跡ほか		●		●	●			
	46	北条中台遺跡	集落跡		●	●	●	●	●	●	
	47	佐鴻巣遺跡（第4次）	集落跡		●		●	●	●	●	
	48	栗崎城跡（第2次）	城館跡						●	●	
	49	九重東岡廃寺（第4次）	集落跡					●			
	50	前木館跡（第7次）	城館跡						●	●	
	51	島名本田遺跡（第3次）	集落跡				●	●	●	●	
	52	松塚高畑遺跡（第3次）	集落跡				●	●			
	53	大島城跡（第2次）	城館跡						●	●	
	54	苅間西ノ下遺跡（第2次）	集落跡					●			
	55	大角豆遺跡（第7次）	集落跡		●	●	●	●	●	●	
	56	上岩崎貝塚（第1次）	集落跡		●						
	57	水守遺跡（第3次）	集落跡		●	●	●	●	●	●	
	58	谷田部陣場西遺跡	集落跡		●		●				
稲敷市	59	村田貝塚	集落跡ほか		●					●	
	60	長者山遺跡	道路跡					●			
つくばみらい市	61	沼端遺跡	集落跡				●	●		●	
阿見町	62	実穀神田遺跡	集落跡		●		●	●		●	
古河市	63	羽黒遺跡	集落跡ほか		●		●	●	●		
	64	東の門西の門城跡（第6次）	集落跡ほか				●	●	●		
	65	十文字東遺跡	集落跡					●			
結城市	66	香取前遺跡	集落跡		●	●	●	●	●	●	
	67	結城廃寺跡	寺院跡					●	●		
筑西市	68	石倉西遺跡	集落跡		●			●			
境町	69	清水遺跡	集落跡		●		●	●	●		

1 渡里町遺跡（水戸市）
2 小原遺跡（水戸市）
3 東前原遺跡（水戸市）
4 小原遺跡（水戸市）
5 東前原遺跡（水戸市）
6 堀遺跡（水戸市）
7 塙坪遺跡（水戸市）
8 西原古墳群（水戸市）
9 遠台遺跡（水戸市）
10 塙坪遺跡（水戸市）
11 堀遺跡（水戸市）
12 北屋敷遺跡（水戸市）
13 山王遺跡（水戸市）
14 麓城跡（笠間市）
15 安居五万堀遺跡（笠間市）
16 笠間城跡（笠間市）
17 大房地遺跡（ひたちなか市）
18 下高井遺跡（ひたちなか市）
19 高渡館跡（常陸大宮市）
20 小場城跡（常陸大宮市）
21 地天館跡（那珂市）
22 桜塚古墳（小美玉市）
23 広町遺跡（小美玉市）
24 峯遺跡（小美玉市）
25 宮田遺跡（大洗町）
26 北原遺跡（東海村）
27 番城内遺跡（大子町）
28 太田尻横穴墓群（日立市）
29 塚原館跡（鹿嶋市）
30 梶内遺跡（鹿嶋市）
31 竜会城跡（鹿嶋市）
32 天神脇遺跡（土浦市）
33 神立遺跡（土浦市）
34 常名天神山古墳（土浦市）
35 前神田遺跡（土浦市）
36 中道南遺跡（土浦市）
37 税所屋敷遺跡（石岡市）
38 鹿の子遺跡（石岡市）
39 田島遺跡（石岡市）
40 中津川遺跡（石岡市）
41 国分遺跡（石岡市）
42 一本杉遺跡（石岡市）
43 鳳原遺跡（牛久市）
44 島名境松遺跡（つくば市）
45 下河原崎高山古墳群・下河原崎高山遺跡（つくば市）
46 北条中台遺跡（つくば市）
47 佐瑪巣遺跡（つくば市）
48 栗崎城跡（つくば市）
49 九重東岡廃寺（つくば市）
50 前木館跡（つくば市）
51 島名本田遺跡（つくば市）
52 松塚高畑遺跡（つくば市）
53 大島城跡（つくば市）
54 苅間西ノ下遺跡（つくば市）
55 大角豆遺跡（つくば市）
56 上岩崎貝塚（つくば市）
57 水守遺跡（つくば市）
58 谷田部陣場西遺跡（つくば市）
59 村田貝塚（稲敷市）
60 長者山遺跡（稲敷市）
61 沼端遺跡（つくばみらい市）
62 実穀神田遺跡（阿見町）
63 羽黒遺跡（古河市）
64 東の門西の門城跡（古河市）
65 十文字東遺跡（古河市）
66 香取前遺跡（結城市）
67 結城廃寺跡（結城市）
68 石倉西遺跡（筑西市）
69 清水遺跡（境町）



令和５年度　発掘調査遺跡分布図

1　渡里町遺跡（わたりちょういせき）（第46地点第３次）　08201121　（縄文時代、奈良・平安時代 / 集落跡）

在　地	水戸市渡里町2462番２ほか
調査原因	集合住宅建築
調査年月日	令和５年４月10日～５月23日
調査面積	90㎡
調査主体	水戸市教育委員会
調査支援	有限会社　日考研茨城
資料保管	水戸市教育委員会
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸（南岸）の標高約32mの台地上に立地する。調査では、竪穴建物跡３棟（縄文時代２、奈良・平安時代１）、掘立柱建物跡１棟（奈良・平安時代）、土坑13基（縄文時代12、奈良・平安時代１）、柱穴状遺構19基（縄文時代）を検出した。特に縄文時代中期中葉～後葉の遺構が多数確認されたことから、本地点は当該期の中核的な集落跡であったものと推測される。

2　小原遺跡（こはらいせき）（第10地点第10次）　08201183　（古墳時代、奈良・平安時代、近世 / 集落跡）

所在地	水戸市東前町1074番４
調査原因	個人住宅建築
調査年月日	令和５年４月19日～６月１日
調査面積	135㎡
調査主体	水戸市教育委員会
資料保管	水戸市教育委員会
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸（南岸）の標高約18mの台地上に立地する。調査では、竪穴建物跡３棟（古墳時代終末期）、溝跡２条（奈良・平安時代１、近世１）、ピット７基（奈良・平安時代）を検出した。特に、一辺約4.2mの竪穴建物跡SI03では、土師器ミニチュア土器３個体、須恵器𤭯１個体、須恵器提瓶１個体といった祭祀的性格の強い遺物が多く出土したことが注目される。

3　東前原遺跡（とうまえはらいせき）（第8地点第13次・第14地点第3次・第35地点第4次）　08201259　（古墳時代～近世 / 集落跡）

所在地	水戸市東前町1034番３ほか
調査原因	土地区画整理事業
調査年月日	令和５年３月15日～６月30日
調査面積	2,110㎡
調査主体	水戸市教育委員会
調査支援	株式会社　日本窯業史研究所
資料保管	水戸市教育委員会
報告書名	『東前原遺跡（第８地点第13次）（第14地点第３次）（第35地点第４次）』令和６年２月25日　水戸市教育委員会

調査概要

那珂川右岸（南岸）の標高約18mの台地上に立地する。第８地点で検出された８世紀中葉の土坑は、断面擂鉢状かつ底面中央にピット１基を伴うことから、氷室であると考えられる。第14地点では、かつて当地に所在したとされる真言宗梅連寺に関連するものと推測される粘土貼土坑４基のほか、中・近世の井戸跡や土坑・ピット群といった遺構が主体的である。第35地点では７～10世紀に断続的に集落が営まれ、一部では竪穴建物跡の計画的な配置も看取される。

4　小原遺跡（こはらいせき）（第40地点第10次）　08201183　（奈良・平安時代 / 集落跡）

所在地	水戸市東前町1032番２ほか
調査原因	個人住宅建築
調査年月日	令和５年６月20日～７月19日
調査面積	69㎡
調査主体	水戸市教育委員会
資料保管	水戸市教育委員会
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸（南岸）の標高約18mの台地上に立地する。調査では、竪穴建物跡１棟及びピット３基を検出した。竪穴建物跡SI01は９世紀中葉に帰属し、東西約5.2m、南北約5.6mの規模である。床面は部分的に２～３層が重複しており、貼り直しによる床面の補修が複数回行われたものとみられる。また、主柱穴及び支柱穴の掘削中には、台地上であるにもかかわらず湧水を確認したことから、地下水脈の存在も示唆される地点である。

5　東前原遺跡（とうまえはらいせき）（第８地点第 15 次）　08201259　（奈良・平安時代 / 集落跡）

所　在　地　水戸市東前町 1122 番 1
調 査 原 因　個人住宅建築に伴う擁壁設置
調査年月日　令和５年７月 13 日～７月 21 日
調 査 面 積　24.3 ㎡
調 査 主 体　水戸市教育委員会
資 料 保 管　水戸市教育委員会
報 告 書 名　令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸（南岸）の標高約 18mの台地上に立地する。調査では、溝跡１条及び土坑１基を検出した。溝跡は、当該調査に先立って隣地で土地区画整理事業に伴い実施した本発掘調査で検出されたものの延長に当たる。逆台形の断面形状や、９世紀中葉にかけて埋没したとする所見に齟齬はない。また、土坑は溝跡の下位で一部を検出したもので、平面形状は隅円方形を呈するものとみられる。

6　堀遺跡（ほりいせき）（第 101 地点第２次）　08201064　（奈良・平安時代、近世 / 集落跡）

所　在　地　水戸市渡里町 3298 番 1
調 査 原 因　個人住宅建築
調査年月日　令和５年８月１日～９月 29 日
調 査 面 積　131.25 ㎡
調 査 主 体　水戸市教育委員会
資 料 保 管　水戸市教育委員会
報 告 書 名　令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸（南岸）の標高約 32mの台地上に立地する。調査では、竪穴建物跡１棟（奈良・平安時代）、溝跡４条（奈良・平安時代１、近世３）、土坑４基（近世）、及びピット５基（近世）を検出した。竪穴建物跡は９世紀中葉に帰属すると考えられる。仏鉢を模倣したものとみられる、口縁部が内湾した土師器鉢が出土しており、村落内寺院の存在が示唆される。また古代の溝跡は、上幅 1.6m、下幅１m、深さ１m、断面逆台形の大型の遺構であり、その検出位置から建物跡とは一定の時期差が想定される。

7　塙坪遺跡（はなわつぼいせき）（第 12 地点第２次）　08201003　（古墳時代 / 集落跡）

所　在　地　水戸市酒門町 385 番５
調 査 原 因　個人住宅建築に伴う合併浄化槽埋設
調査年月日　令和５年８月 24 日
調 査 面 積　６ ㎡
調 査 主 体　水戸市教育委員会
資 料 保 管　水戸市教育委員会
報 告 書 名　令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系桜川右岸（南岸）の標高約 15mの台地上に立地する。調査では、竪穴建物跡１棟（古墳時代前期）を検出した。調査範囲は合併浄化槽埋設部分を対象とした狭小なものであり、その全面が竪穴建物跡の範囲内に該当する。遺物は古墳時代前期五領式期の土師器片のほか、弥生時代後期十王台式期の土器片も出土した。弥生時代から古墳時代にかけての過渡期を示す事例と言える。

8　西原古墳群（にしはらこふんぐん）（第 22 地点第２次）　08201080　（縄文時代、古墳時代 / 集落跡、古墳）

所　在　地　水戸市渡里町 3377 番３
調 査 原 因　個人住宅建築
調査年月日　令和５年 10 月３日～12 月 13 日
調 査 面 積　104.5 ㎡
調 査 主 体　水戸市教育委員会
資 料 保 管　水戸市教育委員会
報 告 書 名　令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系田野川右岸（南岸）の標高約 32mの台地上に立地する。調査では、古墳１基（石室１基、周溝１条）及び土坑２基（縄文時代１、時期不明１）を検出した。古墳の墳丘は既に失われていた。石室は横穴式石室で、玄室と前室の規模はそれぞれ幅 1.2m、奥行２m程度である。側石にはいずれも凝灰質泥岩の切石を用いており、玄室には円礫を敷いている。なお、奥壁は残存していない。遺物は、土師器片や鉄製品が少数出土した。周溝は深さ１mで、断面逆台形の墓道により石室と接続する。

とおのだいいせき
9　遠台遺跡（第34地点第３次）　08305002　（古墳時代、奈良・平安時代 / 集落跡）

所在地	水戸市中原町753番１
調査原因	個人住宅建築
調査年月日	令和５年12月19日～６年１月18日
調査面積	62.5㎡
調査主体	水戸市教育委員会
資料保管	水戸市教育委員会
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系桜川右岸（西岸）の標高約41mの台地上に立地する。調査では、竪穴建物跡２棟（古墳時代１、奈良・平安時代１）を検出した。７世紀に帰属する竪穴建物跡SI01は一辺約3.5mで、主軸方向はほぼ真北を向く。カマドには袖部や燃焼部が残存せず、掘り込みもほぼ見られない。床面には貯蔵穴と思しき土坑も存在するが、遺物は土師器小片が少数出土したのみであった。もう一方の竪穴建物跡SI02については、ごく一部を検出したのみであり、明確な帰属時期については検討中である。

はなわつぼいせき
10　塙坪遺跡（第13地点第２次）　08201003　（古墳時代 / 集落跡）

所在地	水戸市酒門町385番４ほか
調査原因	個人住宅建築に伴う合併浄化槽埋設
調査年月日	令和５年11月30日
調査面積	7.5㎡
調査主体	水戸市教育委員会
資料保管	水戸市教育委員会
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系桜川右岸（南岸）の標高約15mの台地上に立地する。調査では、竪穴建物跡１棟を検出した。調査範囲は合併浄化槽埋設部分を対象とした狭小なものであり、竪穴建物跡の検出範囲は遺構全体のごく一部に限られる。遺物は特に覆土上層から、古墳時代中期和泉式期及び後期鬼高式期の土師器片が多く出土した。同年度に実施した第12地点の調査成果と合わせて、本遺跡における弥生時代から古墳時代にかけての連綿とした土地利用を示す好事例である。

ほりいせき
11　堀遺跡（第95地点第８次）　08201064　（奈良・平安時代 / 集落跡）

所在地	水戸市渡里町3215番10
調査原因	個人住宅建築
調査年月日	令和６年１月10日～１月19日
調査面積	63㎡
調査主体	水戸市教育委員会
資料保管	水戸市教育委員会
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川水系田野川右岸（南岸）の標高約32mの台地上に立地する。調査では、近接して存在する掘立柱建物跡２棟（SB01・02）を検出した。SB01は桁行・梁行ともに２間分を確認し、最小でも２間四方、柱間寸法は約1.8m（６尺）の総柱建物であることが想定される。SB02は桁行・梁行ともに１間分を確認したのみであるが、柱穴の規模や柱間寸法はSB01とほぼ同様であるため、類似した構造であった可能性がある。

きたのやしきいせき
12　北屋敷遺跡（第４地点第４次）　08201248　（古墳時代、奈良・平安時代 / 集落跡）

所在地	水戸市大串町735番２ほか
調査原因	個人住宅建築に伴う合併浄化槽埋設
調査年月日	令和６年２月28日～３月７日
調査面積	10㎡
調査主体	水戸市教育委員会
資料保管	水戸市教育委員会
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

那珂川右岸（南岸）の標高約18mの台地上に立地する。調査では、竪穴建物跡２棟（古墳時代）、ピット１基（奈良・平安時代）を検出した。調査範囲は合併浄化槽埋設部分を対象とした狭小なものであり、いずれの竪穴建物跡も検出範囲は遺構全体のごく一部に限られる。古墳時代後期鬼高式期の建物跡ではピット１基を重複して検出したが、その位置や須恵器が出土したことから、建物に伴うものではないと判断される。一方、古墳時代中期和泉式期の建物跡では、主柱穴１基と炉跡１基を検出した。

13 山王遺跡（さんのういせき）（第３地点第２次）　08305180　（弥生時代、古墳時代 / 集落跡）

所在地	水戸市赤尾関町 579 番２
調査原因	個人住宅建築に伴うスロープ切土
調査年月日	令和６年２月 27 日～３月 22 日
調査面積	85 ㎡
調査主体	水戸市教育委員会
資料保管	水戸市教育委員会
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

涸沼川水系古矢川左岸（東岸）の標高約 34mの台地上に立地する。調査では、竪穴建物跡３棟（弥生時代１、古墳時代２）を検出した。弥生時代後期十王台式期の建物跡は、全体の半分程度を検出し、遺構中央部には炉跡と思しき掘り込みが見られた。古墳時代後期鬼高式期の建物跡は、一辺約 7.2mの大型の遺構であり､遺物の大部分が遺構東半部に集中する。古墳時代終末期の建物跡は、カマドとその周辺のみを検出したもので、全体規模は不明である。

14 麓城跡（ふもとじょうあと）(2023-01 地点)　08216042　（中世、近世／城館跡）

所在地	笠間市笠間字鷹匠町 15-14
調査原因	個人住宅建築
調査年月日	令和５年８月 28 日～10 月 31 日
調査面積	124 ㎡
調査主体	笠間市教育委員会
資料保管	笠間市教育委員会
報告書名	令和８年度刊行予定

調査概要

涸沼川左岸の標高 40m～50mに位置する。今般の調査では、古墳時代の竪穴建物跡１棟、中・近世の堀跡１条、時期不明の溝跡３条、土坑 54 基が確認された。当該地は、平成 29 年度調査の北側延長上に位置し、堀跡は以前の調査で確認した遺構の続きと考えられる。地下水脈までの深度が浅く、確認面より１m～２mの深度で湧水を確認した。また、底面には白色粘土を掘り込んだ畝の痕跡が見られ、防御性能の高さがうかがえる。また、古墳時代の竪穴建物跡が確認され、古墳時代の土地利用があったことが明らかになった。

15 安居五万堀遺跡（あごごまんぼりいせき）　08322172　（奈良・平安時代／道路跡）

所在地	笠間市安居 3031-13 ほか
調査原因	道路改良工事
調査年月日	令和５年９月１日～６年１月９日
調査面積	2,400 ㎡
調査主体	笠間市教育委員会
調査支援	株式会社ラクロ
資料保管	笠間市教育委員会
報告書名	『安居五万堀遺跡－道路工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書－』令和６年３月 笠間市教育委員会

調査概要

岩間インター東側の山林内の直線道路に位置する。今般の調査では、古代の道路状遺構と近世以降の掘立柱建物跡１棟、溝跡４条、時期不明のピット９基が確認された。道路面は３期に分かれて機能していたと考えられ、既往の五万堀古道の調査結果とも符合する。出土遺物は土師器と須恵器が少量しか見られないが、古代東海道として推定されている箇所から道路状遺構が確認されたこと自体が、旧東海道として使用された可能性が高いものと考えられる。

16 笠間城跡（かさまじょうあと）(第４地点)　08216021　（中世、近世／城館跡）

所在地	笠間市笠間字城山 616-１
調査原因	重要遺跡の確認調査
調査年月日	令和５年 11 月１日～６年３月 29 日
調査面積	400 ㎡
調査主体	笠間市教育委員会
資料保管	笠間市教育委員会
報告書名	令和８年度刊行予定

調査概要

佐白山北西の標高約 108mの山地に位置する。今般の調査では、整地層、礎石建物跡、集石遺構、土塁、堀跡、土坑、性格不明遺構、ピットが確認された。当該地は、絵図で侍屋敷と描かれた箇所であり、平坦地では近世の整地層や礎石の存在が確認され、土塁では少なくとも２時期の存在が確認され、堀跡では花崗岩の岩盤層を掘り込んだ箱薬研状であることが確認できた。出土遺物として、近世の瓦・陶磁器、中世のかわらけ、国産陶器、須恵器片や土師器も確認されたことから、前代の遺構も存在していた可能性が高い。

17　大房地遺跡（おおぼうちいせき）（第22次）　08221054　（縄文時代、古墳時代～平安時代 / 集落跡）

所在地	ひたちなか市大字勝倉字大房地2659番4
調査原因	個人住宅建築
調査年月日	令和５年６月20日～７月19日
調査面積	75㎡
調査主体	ひたちなか市教育委員会
調査支援	(公財)ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管	ひたちなか市教育委員会
報告書名	令和６年度以降刊行予定

調査概要

ひたちなか市の南部で、那珂川左岸の標高約25mの台地上に立地する。今回の調査では、縄文時代中期後半頃の竪穴建物跡１棟、７世紀後半～８世紀前半の井戸跡１基、近世の井戸跡１基、縄文時代中期後半頃の土坑７基、艦砲射撃砲弾片が出土し、砲弾着弾跡と推定される土坑１基、ピット39基が確認された。縄文時代中期後半の土坑の用途は不明だが、壁がオーバーハングし袋状になっている。調査区からは、加曽利EⅡ式～加曽利EⅢ式の土器が出土している。

18　下高井遺跡（しもたかいいせき）（第９次）　08221001　（縄文時代～平安時代/集落跡）

所在地	ひたちなか市大字三反田字下高井5061番3
調査原因	個人住宅建築
調査年月日	令和５年11月21日～６年１月16日
調査面積	175㎡
調査主体	ひたちなか市教育委員会
調査支援	(公財)ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
資料保管	ひたちなか市教育委員会
報告書名	令和６年度以降刊行予定

調査概要

ひたちなか市の南部で、那珂川左岸の標高約21mの台地上に立地する。今回の調査では、古墳時代の竪穴建物跡２基（第４・６号）、奈良・平安時代の竪穴建物跡５基（第１～３・５・７号）、時期不明のピットが３基確認された。特筆される遺物としては、第５号竪穴建物跡から出土した銅製丸鞆、平瓦小片、石製模造品（勾玉）がある。ただし石製模造品は第４号竪穴建物跡の遺物が第５号竪穴建物跡に混入した可能性が考えられる。なお調査区からは、縄文土器、近世と思われる陶器、磁器、キセルが少量出土している。

19　高渡館跡（たかわたりたてあと）　08344154　（縄文時代、古墳時代、平安時代、室町時代 /集落跡・城館跡）

所在地	常陸大宮市高渡町2360-1ほか
調査原因	久慈川緊急治水対策プロジェクト
調査年月日	令和５年４月３日～６月30日
調査面積	2,442㎡
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

常陸大宮市の東部、久慈川と久曽川の合流点右岸の標高約21mの低位段丘上に位置する。今回の調査区は微高地の南端に位置しており、古墳時代、平安時代の集落跡と室町時代の堀跡、地下式坑などを確認した。平安時代の竪穴建物跡は、微高地の低位にあたる所で確認されており、集落の南端と考えられる。室町時代の遺物は、常滑窯や瀬戸窯の陶器、龍泉窯青磁などが出土した。また、薬研堀跡を確認し、遺跡の性格を検討できる良好な資料を得た。

20　小場城跡（おばじょうあと）　082252041　（中世/城館跡）

所在地	常陸大宮市小場字本城109ほか
調査原因	市道整備事業
調査年月日	令和５年５月16日～７月25日
調査面積	1,124.49㎡
調査主体	常陸大宮市教育委員会
調査支援	関東文化財振興会株式会社
資料保管	常陸大宮市教育委員会
報告書名	『小場城跡』市道整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告　令和６年３月22日　常陸大宮市教育委員会

調査概要

那珂川中流の標高約50mの河岸段丘上に位置する。市道整備事業に伴う今回の調査では、中世の堀跡４条、近世以降の竪穴遺構１基、井戸跡２基、土坑９基などが確認された。第４号堀跡は上幅4.60m、断面が薬研状で、瀬戸・美濃系の天目茶碗や志野皿などが出土し、17世紀の廃絶と考えられる。

21　地天館跡（第３次）（ちてんやかたあと）　08226133　（中世、近世/城館跡）

所　在　地	那珂市菅谷字地天2102番１ほか
調査原因	店舗建設
調査年月日	令和５年７月24日～10月31日
調査面積	3,160.451㎡
調査主体	那珂市教育委員会
調査支援	有限会社日考研茨城
資料保管	那珂市教育委員会
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

東と南が細長い谷状の水田地帯で、２本の谷の合流地点に突き出す台地の先端部に立地し、調査地は館跡の北東部に位置するⅨ郭である。

今回の調査で確認された遺構は、古墳時代の竪穴建物跡７棟、中世の土坑２基、中世と現代の溝跡が各４条ずつ検出された。５世紀後半～６世紀初頭の集落で、カマド導入期前後に相当する。

平成26年に実施した１次調査で検出された、中世の堀跡２条の延長が確認された。

22　桜塚古墳（さくらつかこふん）　08462109　（古墳時代 / 古墳）

所　在　地	小美玉市高崎573-１外
調査原因	学術調査
調査年月日	令和５年８月23日～８月31日
調査面積	18㎡
調査主体	明治大学文学部考古学研究室
資料保管	明治大学文学部考古学研究室（報告書作成後小美玉市教育委員会に返却予定）
報告書名	令和６年度末刊行予定

調査概要

霞ヶ浦に面する標高約 25mの台地上に立地する円墳である。径38.4m、高さ6.4mを測り、円筒埴輪が採集されている。

斜面の勾配および平坦面の位置、幅などの築造当初の墳丘の構造や周溝幅を確認するため、墳頂部から墳丘の裾部に１×18mのトレンチを設定して掘削した。その結果、後世の改変が著しく墳丘裾および平坦面の確定には至らなかったが、大量の円筒埴輪片が出土した。

23　広町遺跡（ひろまちいせき）　08303010　（縄文時代/集落跡）

所　在　地	小美玉市山野288-３外
調査原因	市道改良工事
調査年月日	令和５年９月４日～９月27日
調査面積	58.06㎡
調査主体	小美玉市教育委員会
調査支援	株式会社勾玉工房
資料保管	小美玉市教育委員会
報告書名	『広町遺跡市道山野 0667 号線(小 20667 号線)外３道路改良工事に伴う発掘調査報告書』

調査概要

鎌田川から派生する谷津が南北に展開する標高27mの舌状台地上に立地する。

調査では、縄文時代中期中葉のフラスコ状土坑２基と近世～近代の溝４条を検出した。調査区の大部分が後世の撹乱によって破壊されているが、阿玉台1b新～加曽利EⅢ～Ⅳ式期の縄文土器が出土している。検出されたフラスコ状土坑は深さが30～40㎝と浅く、入口部は削平を受けている。大量の遺物が出土していることからも、周辺には集落が展開しているものと思われる。

24　峯遺跡（みねいせき）　08303237　（縄文時代・古墳時代・中世/集落跡・城館跡）

所　在　地	小美玉市宮田83-２ほか
調査原因	主要地方道玉里水戸線道路整備事業
調査年月日	令和５年９月１日～11月30日
調査面積	2,864㎡
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

小美玉市中央部、園部川左岸の標高10～22mの台地上に位置する。台地縁辺部では、縄文時代から古墳時代にかけて断続的に営まれた集落跡を確認した。また、斜面部では、帯曲輪跡、堀跡など中世の城館施設の一部を確認した。

25　宮田遺跡（第１次）　08309004　（弥生時代～中世/集落跡）

所在地　大洪町磯浜町字宮田 6141 番３ほか
調査原因　町道改良工事
調査年月日　令和４年９月 12 日～５年５月 15 日
調査面積　5,915 ㎡
調査主体　大洗町教育委員会
調査支援　関東文化財振興会株式会社
資料保管　大洗町教育委員会
報告書名　『宮田遺跡（第１次）』令和６年３月　大洗町教育委員会

調査概要

涸沼川右岸の標高約 20～27ｍの台地上に立地する。弥生時代後期～平安時代の竪穴建物跡 121 棟等を検出した。古墳時代中期前葉の第 114 号竪穴建物跡は鉄素材から鉄製品を製作した鍛冶工房と判明した。鉄素材を溶かすため建物の床面を掘り窪めて火処とした鍛冶炉が２基存在し、炉の温度を調整するための送風管とする羽口が 18 本、鍛錬の過程で土台となった金床石が２点、鉄滓 70 点のほか、鍛造剥片や粒状滓などが多量、鉄製品を研ぐ大型の砥石など、様々な鉄器の生産や補修を行っていた痕跡が発見された。

26　北原遺跡（第１次）　08341160　（縄文時代、平安時代 / 集落跡）

所在地　東海村大字白方字北原 1245 番 12
調査原因　個人住宅建設
調査年月日　令和５年５月 12 日～６月８日
調査面積　132 ㎡
調査主体　東海村教育委員会
資料保管　東海村教育委員会
報告書名　令和６年度以降刊行予定

調査概要

東海村北部に位置し、久慈川右岸の標高約 21ｍの台地上に立地する。本調査では、平安時代の竪穴建物跡２棟、縄文時代の陥し穴１基が確認された。竪穴建物跡の時期は、出土土器の様相から８世紀後葉～９世紀前葉と考えられる。

27　番城内遺跡　08346103　（平安時代、中世、近世/集落跡）

所在地　大子町下津原 599 の一部ほか
調査原因　久慈川緊急治水対策プロジェクト
調査年月日　令和５年 10 月 10 日～11 月 30 日
調査面積　843 ㎡
調査主体　公益財団法人茨城県教育財団
資料保管　公益財団法人茨城県教育財団
報告書名　令和７年度以降刊行予定

調査概要

大子町南部、久慈川右岸の標高約 90ｍの氾濫平野から台地上に位置する。遺構確認面は３面存在し、第１次面は平安時代で、竪穴建物跡を確認した。第２次面は中世で、方形竪穴遺構などを確認した。中世面を覆うように洪水による砂層が堆積しており、この砂層上部に間層を挟んでさらに洪水砂層が堆積していた。この砂層から磁器片や鉄滓が出土していることから第３次面は近世で、長期間にわたって土地利用されてきたことが判明した。

28　太田尻横穴墓群　08202073　（古墳時代、奈良・平安時代 / 横穴墓）

所在地　日立市東滑川町５丁目 2154 番３ほか２筆
調査原因　道路改良
調査年月日　令和５年７月 24 日～９月 27 日
調査面積　483 ㎡
調査主体　日立市教育委員会
調査支援　株式会社勾玉工房
資料保管　日立市教育委員会
報告書名　令和６年３月３１日刊行予定

調査概要

太平洋に面した標高 20ｍ前後の片側丘陵状海食崖の中腹に立地する。今般の調査では、６世紀末葉に造営された横穴墓で、内部の形状は穹窿形を呈する。埋葬遺体は４体以上で、９世紀中葉に追葬が行われた可能性がある。

29　塚原館跡（つかはらやかたあと）　08222130　（中世/城館跡）

所　在　地　鹿嶋市沼尾 974 ほか
調 査 原 因　県営畑地帯総合整備事業
調査年月日　令和４年９月 20 日～５年８月 31 日
調 査 面 積　201 ㎡
調 査 主 体　公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
資 料 保 管　鹿嶋市どきどきセンター
報 告 書 名　令和９年度以降刊行予定

調査概要

塚原館跡の位置する台地の南部から東部にかけて道路予定地・沈砂池予定地の調査を実施した。調査区からは幾度も建て替えられた掘立柱建物群や粘土貼土坑などの墓域が検出されている。掘立柱建物群には地鎮具と考えられる小皿の埋納遺構もあり、館の建物配置や役割が注目される成果である。段切り遺構では南辺に溝が伴い、切土による整地や柱穴が確認できた。また段切り遺構の外側にも土坑墓群が分布する。

30　梶内遺跡（かじうちいせき）　08222132　（縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代/包蔵地）

所　在　地　鹿嶋市沼尾 986 ほか
調 査 原 因　県営畑地帯総合整備事業
調査年月日　令和４年９月 20 日～５年８月 31 日
調 査 面 積　4,720 ㎡
調 査 主 体　公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
資 料 保 管　鹿嶋市どきどきセンター
報 告 書 名　令和９年度以降刊行予定

調査概要

梶内遺跡の調査区（７・８～14・26・27 区）からは、古墳時代から平安時代の竪穴建物跡を中心とした集落跡を検出している。７区では古墳時代後期の建物跡に奈良時代や平安時代の遺構が重複し、さらに西側は近世以降の道路状遺構に削平されている。古墳時代の遺構からは土師器坏・甕のほか石製模造品、奈良・平安時代の遺構からは墨書土器「神」の出土がみられる。

大宮神社南側の調査区からは、古墳時代後期から奈良時代の竪穴建物跡を検出している。遺跡内西側の方が東側より遺構密度が高いことから、集落の中心と考えられる。

31　竜会城跡（りゅうかいじょうあと）　08222116　（中世/城館跡）

所　在　地　鹿嶋市山之上 114-１ほか
調 査 原 因　保存目的の範囲内容確認調査
調査年月日　令和５年 11 月 13 日～12 月 26 日
調 査 面 積　94 ㎡
調 査 主 体　公益財団法人鹿嶋市文化スポーツ振興事業団
資 料 保 管　鹿嶋市どきどきセンター
報 告 書 名　鹿嶋市の文化財第 177 集『鹿嶋市内遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書 45』鹿嶋市教育委員会　令和６年３月 22 日

調査概要

旧郡家跡の範囲内容確認のため、推定地の一つである竜会城跡を調査した。竜会城跡は田谷沼の東に位置する舌状台地上の西端の標高約 35～36ｍに立地する。今回の調査は、竜会城跡の曲輪と考えられる平場に十字のトレンチを設定したところ、古墳時代の竪穴建物跡５棟、奈良時代の竪穴建物跡１棟、平安時代の土坑１基を確認した。旧郡家に関する遺構は確認できなかったが、これまで竜会城跡内の調査は行われていなかったため、貴重な調査成果となった。

32　天神脇遺跡（てんじんわきいせき）　08203201　（古墳時代、奈良時代/集落跡）

所　在　地　土浦市常名 3090
調 査 原 因　学校施設の建設
調査年月日　令和５年７月１日～７月 25 日
調 査 面 積　145 ㎡
調 査 主 体　土浦市教育委員会
資 料 保 管　土浦市教育委員会
報 告 書 名　令和７年度刊行予定

調査概要

桜川左岸、標高 27ｍの台地縁辺部に立地する。今回の調査で、古墳時代後期から奈良時代の竪穴建物跡２棟などが検出された。古墳時代後期の竪穴建物跡では、カマド周辺の床面から土師器杯、椀が 30 点以上まとまって出土した。カマドは北西壁に構築され、甕が２点設置された状態で検出された。奈良時代の竪穴建物跡は、カマドが北西壁と南東壁に構築され、北西壁から南東壁へと移行している。遺物では土師器や須恵器の甕などが出土した。このほか、時期不明の大型の溝が検出された。

33　神立遺跡（第３次）　08203185　（縄文時代/集落跡）

（かんだついせき）

所在地	土浦市神立町 757 番１ほか
調査原因	個人住宅建設
調査年月日	令和５年 12 月１日～12 月 25 日
調査面積	65 ㎡
調査主体	土浦市教育委員会
資料保管	土浦市教育委員会
報告書名	令和７年度刊行予定

調査概要

霞ヶ浦北岸、樹枝状に延びた谷の最奥部に面した標高 27mの台地上に立地する。今回の調査で、縄文時代中期の竪穴建物跡１棟、土坑 10 基が検出された。遺物は、縄文土器深鉢のほか、土器片錘、磨製石斧、凹石、磨石などが出土した。土坑は径１～３m、断面円柱形で深いピットを伴うものが多い。これらの土坑に先行する時期の、断面フラスコ形の土坑が１基検出された。底面径３m、確認面からの深さが 1.4mと大型の土坑で、中層から深鉢が６点、まとまって出土した。

34　常名天神山古墳　08203233　（古墳時代/古墳）

（ひたなてんじんやまこふん）

所在地	土浦市常名 2445－２ほか
調査原因	学術調査
調査年月日	令和５年 12 月４日～12 月 24 日
調査面積	16.5 ㎡
調査主体	土浦市教育委員会・筑波大学考古学研究室
資料保管	土浦市教育委員会
報告書名	令和８年度刊行予定

調査概要

桜川下流域左岸の新治台地上に立地する、現存長 60mほどの前方後円墳である。墳丘規模及び築造年代を明らかにするため、トレンチ調査を実施した。

調査の結果、後円部は地山削り出し及び盛土、現存する前方部は地山削り出しによって築造されていることが判明した。なお、前方部前端はすでに失われていた。

墳頂部付近のトレンチでは埴輪片が出土した。突出度の高い断面三角形の突帯を伴う薄手の破片も存在し、古墳時代前期後半に関東地方に導入された、初期の円筒埴輪に当たる可能性がある。

35　前神田遺跡（第３次）　08203194　（奈良・平安時代/集落跡）

（まえしんでんいせき）

所在地	土浦市神立町 2590 番 11
調査原因	個人住宅建設
調査年月日	令和６年１月 10 日～１月 25 日
調査面積	44.71 ㎡
調査主体	土浦市教育委員会
資料保管	土浦市教育委員会
報告書名	令和７年度刊行予定

調査概要

境川が開析した、霞ケ浦へ通じる大きな谷に南面する標高 26mの台地上に立地する。

今回の調査では、竪穴建物跡１棟を検出した。遺物は、主に土師器と須恵器が出土した。また、カマド内からは完形に近い土師器甕が出土したほか、覆土中からは鉄鎌が出土した。出土遺物の年代は９世紀代を中心とする。

前神田遺跡では、既往の調査区においてもおおむね同時期の集落が検出されている。９世紀以降の開発を契機に形成された集落の遺跡と考えられる。

36　中道南遺跡　08203482　（古墳時代～平安時代/集落跡）

（なかみちみなみいせき）

所在地	土浦市中字中道南 839-９ほか
調査原因	一般国道６号牛久土浦バイパス建設事業
調査年月日	令和６年１月１日～３月 31 日
調査面積	1,335 ㎡
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

土浦市南部、花室川右岸の標高 13～25mの台地上に位置する。古墳時代から平安時代の集落跡を確認した。平安時代の竪穴建物跡では、支脚が残るカマドを多く確認した。支脚には、土製・石製のほか、小型甕を転用したものがある。また、平安時代の竪穴建物跡２棟からは、「山上」、「豊前」、「長寶ヵ」などの墨書土器が出土した。

37　税所屋敷遺跡（さいしょやしきいせき）　08205109　（縄文時代、奈良・平安時代、中世/包蔵地）

所在地	石岡市茨城一丁目4957番4
調査原因	個人住宅建設
調査年月日	令和５年４月17日～５月24日
調査面積	135㎡
調査主体	石岡市教育委員会
資料保管	石岡市文化財管理センター
報告書名	令和７年度刊行予定

調査概要

恋瀬川左岸の標高約24mの台地上に立地する。確認された遺構は、竪穴建物跡６棟(縄文時代１棟、奈良・平安時代５棟)、土坑１基、炉１基、ピット３基である。奈良・平安時代の竪穴建物跡のうち１棟は、カマドの付け替えが２度行われていた。

遺物は、縄文土器、土師器、須恵器、中世鍋が出土しており、長期間にわたり継続した集落が営まれたことが推測できる。

38　鹿の子遺跡（かこいせき）　08205047　（奈良・平安時代/包蔵地）

所在地	石岡市鹿の子一丁目9333番の一部
調査原因	個人住宅建設
調査年月日	令和５年７月24日～７月28日
調査面積	15㎡
調査主体	石岡市教育委員会
資料保管	石岡市文化財管理センター
報告書名	令和７年度刊行予定

調査概要

東西を谷津に挟まれた標高約 25mの舌状台地上に立地する。確認された遺構は、奈良・平安時代の竪穴建物跡３棟、ピット１基である。竪穴建物跡のうち１棟は、北方向へ壁溝が深くなっており、壁溝と壁面との間でピットが確認されていることから、壁溝を掘り込む際に柱の設置を想定して部分的に深く掘りこんでいる可能性がある。

遺物は、土師器、須恵器が出土している。

39　田島遺跡（たじまいせき）　08205146　（平安時代/集落跡）

所在地	石岡市大字石岡字田島二丁目5560ほか
調査原因	一般国道６号千代田石岡バイパス新設事業
調査年月日	令和５年８月１日～９月30日
調査面積	237.47㎡
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

石岡市の南東部、恋瀬川左岸の標高約13mの河岸段丘上に位置する。平成19年度調査区の北側を調査した。今回調査した５棟の竪穴建物跡のうち４棟は西壁にカマドが構築されており、当遺跡の特徴の一つといえる。

40　中津川遺跡（なかつがわいせき）　08205151　（縄文時代、弥生時代、中世/集落跡）

所在地	石岡市大字中津川字平足塚226-２ほか
調査原因	一般国道６号千代田石岡バイパス新設事業
調査年月日	令和５年８月１日～９月30日
調査面積	508.57㎡
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

石岡市の南東部、恋瀬川左岸の標高約23mの台地上に位置する。令和４年度調査区に隣接する西側及び南側を調査した。前年度同様、円筒形土坑と袋状土坑が混在した縄文時代中期の土坑群などを確認し、加曽利ＥⅠ式期の遺物が出土した。

41　国分遺跡（こくぶいせき）　08205066　（奈良・平安時代/包蔵地）

所在地	石岡市府中四丁目 8212 番１の一部
調査原因	個人住宅建設
調査年月日	令和６年３月１日
調査面積	７㎡
調査主体	石岡市教育委員会
資料保管	石岡市文化財管理センター
報告書名	令和６年度以降刊行予定

調査概要

山王川左岸の標高約 22mの台地上に立地する。確認された遺構は、土坑１基である。壁は硬化し、丸底である

遺物は、奈良・平安時代の両面黒色土師器、紡錘車が確認されている。

42　一本杉遺跡（いっぽんすぎいせき）　08205062　（縄文時代、奈良・平安時代/包蔵地）

所在地	石岡市若宮三丁目 7881 番３
調査原因	個人住宅建設
調査年月日	令和５年４月 17 日～５月 24 日
調査面積	56 ㎡
調査主体	石岡市教育委員会
資料保管	石岡市文化財管理センター
報告書名	令和７年度刊行予定

調査概要

常陸国分寺跡の西方 300m、標高 23～24mの台地上に立地する。確認された遺構は、奈良・平安時代の竪穴建物跡６棟である。調査地の遺構確認面の下層は遺物を含まない暗褐色土層、鹿沼パミス層と続く。鹿沼パミス層は平坦でなく、溝状の窪みも散見される。暗褐色土に対して竪穴建物の建築に先行して土地の造成を行い宅地化している可能性がある。

遺物は、土師器、須恵器、瓦が出土している。

43　鳳原遺跡（ほうばらいせき）　08219195　（縄文時代、平安時代、近世/集落跡）

所在地	牛久市島田町 835 ほか
調査原因	主要地方道竜ケ崎阿見線バイパス整備事業
調査年月日	令和５年 11 月１日～６年３月 31 日
調査面積	13,469 ㎡（6,313 ㎡調査終了、7,156 ㎡遺構確認まで）
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

牛久市南東部、小野川左岸の標高 22～26mの台地上に位置する。縄文時代の遺物包含層や平安時代の集落跡､近世と考えられる塚などを確認した。平安時代の竪穴建物跡と掘立柱建物跡は、今回確認した範囲より北側では確認できないことから、集落跡の北端と想定できる。また、並行する２条の溝跡からは少量の土師器・須恵器・鉄滓が出土しており、平安時代の区画溝の可能性がある。

44　島名境松遺跡（しまなさかいまついせき）　08220391　（縄文時代、古墳時代/集落跡）

所在地	つくば市島名字原新田 3746 ほか
調査原因	島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業
調査年月日	令和５年４月１日～６年３月 31 日
調査面積	532 ㎡
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	『島名境松遺跡３　島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書 XXIX』茨城県教育財団文化財調査報告第 477 集　令和７年３月 21 日　公益財団法人茨城県教育財団

調査概要

つくば市南西部、谷田川と西谷田川に挟まれた標高約 22mの傾斜地に位置する。縄文時代中期の竪穴建物跡２棟などを確認した。令和元年度の調査においても同時期の竪穴建物跡を多数確認していることから、今回確認した竪穴建物跡も、前回調査を行った集落の一部と考えられる。

45　下河原崎高山遺跡（しもかわらざきたかやまいせき）　08220044　（縄文時代、古墳時代、平安時代／集落跡、包蔵地）
下河原崎高山古墳群（しもかわらざきたかやまこふんぐん）　08220054　（古墳時代／古墳）

所　在　地	つくば市下河原崎字三夜山 460-１
調査原因	上河原崎・中西特定土地区画整理事業
調査年月日	令和５年５月１日～５月 31 日
調査面積	733 ㎡
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	『下河原崎谷中台遺跡３・下河原崎高山遺跡・下河原崎高山古墳群３　上河原崎・中西特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書８』茨城県教育財団文化財調査報告第 478 集　令和７年１月 23 日　公益財団法人茨城県教育財団

調査概要

つくば市南西部、西谷田川と支流に開析された標高 16～23ｍの斜面部に位置する。平成 28 年度調査の第 18 号墳の周溝の一部を確認した。平安時代の竪穴建物跡と火葬墓も確認し、縄文時代・古墳時代・平安時代の長い期間、断続的に土地利用されていたことが明らかになった。

46　北条中台遺跡（ほうじょうなかだいいせき）　08220149　（縄文時代～近世 / 集落跡等）

所　在　地	つくば市北条 1413 番
調査原因	個人住宅建設
調査年月日	令和５年５月 10 日～７月 14 日
調査面積	148 ㎡
調査主体	つくば市教育委員会
資料保管	つくば市教育委員会
報告書名	令和８年度刊行予定

調査概要

平沢官衙遺跡南西約 150ｍの標高約 32ｍの台地上に立地する。弥生時代から平安時代の竪穴建物跡 18 棟、土坑 12 基等を確認した。竪穴建物跡は古墳時代後期を中心としており、奈良時代のものは無かった。土坑としたものの中には、溝状のものもあり、布掘りの柱穴跡の可能性がある。

47　佐濵巣遺跡（さこうのすいせき）（第４次）　08220299　（縄文時代、古墳時代～近世 / 集落跡等）

所　在　地	つくば市佐　市道２-2604 号線地内ほか
調査原因	市道改良事業
調査年月日	令和５年５月 16 日～７月 29 日
調査面積	508 ㎡
調査主体	つくば市教育委員会
調査支援	株式会社東京航業研究所
資料保管	つくば市教育委員会
報告書名	『佐濵巣遺跡―市道改良事業に伴う発掘調査報告書―』令和６年３月　つくば市教育委員会

調査概要

桜川西岸の標高約 28ｍの台地上に立地する。縄文時代の竪穴建物跡２棟、土坑 20 基、古墳時代の竪穴建物跡１棟、古墳１基、奈良・平安時代の竪穴建物跡 10 棟を確認した。古墳は、周溝の一部と主体部を調査し、主体部では掘り方や石棺周囲を固めた土層等を確認したが、大きく攪乱されており、出土遺物は無かった。このほか旧石器時代の台形様石器、縄文晩期の大洞式や前浦式の土器、「神功開寶」、平安時代の緑釉陶器等が出土している。

48　栗崎城跡（くりさきじょうあと）（第２次）　08220236　（中・近世 / 城館跡）

所　在　地	つくば市吉沼字坂本 1417 番３
調査原因	個人住宅建設
調査年月日	令和５年７月 20 日～７月 28 日
調査面積	69 ㎡
調査主体	つくば市教育委員会
資料保管	つくば市教育委員会
報告書名	令和８年度刊行予定

調査概要

小貝川西岸の北へ張り出す標高約 20～22ｍ台地上に立地する。１号堀跡は、城の東端を南北方向に伸び、現況水田である低地部との境に位置する。低地部側の法面は未検出のため、堀底とした平坦部は犬走りの可能性もある。この平坦部には複数の方形の掘込みがあり、陥し穴状の土坑を持つ堀跡、あるいは障子堀に改修されている可能性がある。２号堀跡は１号堀跡の内側に位置し、南北方向から東西方向へと屈曲することが確認された。

49　九重東岡廃寺（第４次）　08220121　（奈良・平安時代 / 集落跡）

ここのえひがしおかはいじ

所在地	つくば市東岡250番、251番１
調査原因	保育所建設
調査年月日	令和５年７月31日～９月６日
調査面積	641.5㎡
調査主体	つくば市教育委員会
調査支援	有限会社毛野考古学研究所茨城支所
資料保管	つくば市教育委員会
報告書名	『九重東岡廃寺―保育所開発に伴う発掘調査報告書―』令和６年３月　つくば市教育委員会

調査概要

花室川へ続く谷津に面した標高約25ｍの台地上に立地する。国指定史跡範囲である寺域の西方に位置する。調査では、奈良・平安時代の竪穴建物跡６棟を確認した。隣接する北側の区画整理事業地では、同時代の集落跡が確認されており、今回の調査で同跡が南へ広がることが分かった。

50　前木館跡（第７次）　08220353　（中・近世 / 城館跡）

まえきやかたあと

所在地	つくば市高野　市道３-1176号線地内
調査原因	市道改良工事
調査年月日	令和５年９月５日～９月22日
調査面積	19㎡
調査主体	つくば市教育委員会
資料保管	つくば市教育委員会
報告書名	令和８年度刊行予定

調査概要

谷田川西岸の標高約25ｍの台地上に立地し、調査地は城館跡の南西部に位置する。幅0.7～２ｍの狭小な調査区ではあったが、東西方向の溝跡４条を確認した。１号溝跡は上幅約１ｍ、深さ約0.7ｍで、戦国時代の所産と考えられる。１号と重複する２号溝跡は、上幅約1.2ｍ、深さは約0.6ｍで、近世以降の所産と考えられる。３号溝跡と４号溝跡の規模は不明だが、深さはそれぞれ0.8ｍ、0.5ｍで、前者が戦国時代、後者が近世以降と考えられる。

51　島名本田遺跡（第３次）　08220387　（古墳時代～近世 / 集落跡）

しまなほんでんいせき

所在地	つくば市島名・香取台　市道5-4454号線地内ほか
調査原因	市道改良工事
調査年月日	令和５年７月12日～９月29日
調査面積	410㎡
調査主体	つくば市教育委員会
調査支援	株式会社東京航業研究所
資料保管	つくば市教育委員会
報告書名	『島名本田遺跡―市道改良事業に伴う発掘調査報告書―』令和６年３月　つくば市教育委員会

調査概要

谷田川へ続く谷津に面した標高約23ｍの台地上に立地する。古墳時代中・後期の竪穴建物跡８棟、奈良・平安時代の竪穴建物跡６棟と掘立柱建物跡１棟、中・近世の溝状遺構９条、段切状遺構１基等を確認した。今回の調査地は、区画整理事業地に隣接する市道部分に当たっていたため、同事業の調査で確認されていた遺構の続きを調査することができた。中・近世の遺構調査では、15～16世紀に成立した区画が踏襲・変更されながら変遷する様子が伺えた。

52　松塚高畑遺跡（第３次）　08220527　（古墳時代～平安時代/ 集落跡）

まつつかたかはたいせき

所在地	つくば市松塚字高畑608番３
調査原因	個人住宅建設（浄化槽）
調査年月日	令和５年12月15日
調査面積	1.6㎡
調査主体	つくば市教育委員会
資料保管	つくば市教育委員会
報告書名	令和８年度刊行予定

調査概要

桜川に面した標高約６ｍの台地低位面に立地する。狭小な調査区であったが、奈良・平安時代の竪穴建物跡１棟の南側の一部を検出した。規模は不明だが、遺構面から床面までの深さは、12～18㎝であった。深さ８㎝程度の浅い壁溝を有する。深さ14㎝と９㎝の浅いピット２基を検出した。出入口の施設に関わるものかもしれない。床面は、地山が踏み固められて硬化しており、特に北側が顕著であった。遺物は、須恵器の小片が出土したのみである。

53　大島城跡（おおしまじょうあと）（第２次）　08220541　（中・近世 / 城館跡）

所在地　つくば市上大島 市道１-5027 号線地内
調査原因　市道改良工事
調査年月日　令和５年 10 月 23 日～11 月 24 日
調査面積　85 ㎡
調査主体　つくば市教育委員会
調査支援　株式会社日本窯業史研究所
資料保管　つくば市教育委員会
報告書名　『大島城跡―市道改良事業に伴う発掘調査報告書―』令和６年３月

調査概要
桜川東岸の島状の台地低位面に立地する。城跡の北端から北側を調査し、堀跡４条、土塁跡１条、溝跡１条、井戸跡７基等を確認した。北端で確認した堀跡と土塁跡は、古い遺構を埋めて築造されている。２～４号堀跡は重複しており、16 世紀に規模や形状を変えながら造り替えられている。井戸跡は近世以降の所産と考えられるが、狭小な調査区の中で７基も確認されたことは、この地が井戸川と呼称されていることも含め、当時の土地利用を考える上で興味深い。

54　苅間西ノ下遺跡（かりまにしのしたいせき）（第２次）　08220437　（奈良・平安時代 / 集落跡）

所在地　つくば市苅間　市道５-1828 号線地内
調査原因　市道改良工事
調査年月日　令和５年 12 月 19 日～12 月 25 日
調査面積　24 ㎡
調査主体　つくば市教育委員会
資料保管　つくば市教育委員会
報告書名　令和８年度刊行予定

調査概要
蓮沼川に面した台地上位面に立地する。平安時代の竪穴建物跡を２棟確認した。平面規模は、１号が南北３m以上、東西 3.6m以上、２号が南北３m以上、東西４m以上である。確認面から床面までの深さは、１号が 25 ㎝、２号が 35 ㎝である。隣接する第１次調査地でも平安時代の竪穴建物跡１棟を確認していることから、周辺一帯には同時代の集落跡が広がっているものと考えられる。

55　大角豆遺跡（ささぎいせき）（第７次）　08220113　（縄文時代～近世 / 集落跡）

所在地　つくば市大角豆 829 番１
調査原因　個人住宅建設
調査年月日　令和５年９月４日～12 月 28 日
調査面積　375 ㎡
調査主体　つくば市教育委員会
資料保管　つくば市教育委員会
報告書名　令和８年度刊行予定

調査概要
花室川西岸の台地上に立地する。遺跡南側を調査し、竪穴建物跡 22 棟、溝跡４条、地下式坑１基等を調査した。建物跡の時期は、縄文時代中期や古墳時代前期が主体である。溝跡や地下式坑は中世の所産であり、東側の南北方向の溝跡は隣地に残る土塁跡に沿うものと考えられる。特筆すべき遺物としては、古墳時代前期の三連の土器、和鏡がある。

56　上岩崎貝塚（かみいわさきかいづか）（第１次）　08220569　（縄文時代 / 集落跡）

所在地　つくば市上岩崎 2143 番１
調査原因　個人住宅建設（浄化槽）
調査年月日　令和６年１月 18 日
調査面積　５㎡
調査主体　つくば市教育委員会
資料保管　つくば市教育委員会
報告書名　令和８年度刊行予定

調査概要
西谷田川へ続く谷津に面した台地上に立地する。遺跡中央西側を調査し、土坑５基、ピット１基を確認した。土坑は径 0.8～1.2mで、１・２号が深さ約 30 ㎝と浅く、３～５号は約１mと深い。これらは主に縄文時代後期のものと考えられる。なお、確認調査では、縄文時代後期前葉の漆塗りの土器が出土している。

57　水守遺跡（第３次）（みもりいせき）　08220181　（縄文時代～近世 / 集落跡）

所在地	つくば市水守字殿坪 993 番１
調査原因	個人住宅建設（浄化槽）
調査年月日	令和６年３月８日
調査面積	3.2㎡
調査主体	つくば市教育委員会
資料保管	つくば市教育委員会
報告書名	令和８年度刊行予定

調査概要

桜川低地へ続く谷津に面した台地上位面に立地する。遺跡北側を調査し、竪穴建物跡２棟を確認した。２棟は重複しており、１号竪穴建物跡は、２号を埋めて造られている。奈良・平安時代のものと考えられる。１号竪穴建物跡の覆土の上には黒褐色土層があり、室町時代の土師質土器皿の破片が多く含まれる。同層は、同時代の整地層と考えられ、確認調査では同層からの掘込みの可能性のあるプランを複数確認した。

58　谷田部陣場西遺跡（やたべじんばにしいせき）　08220632　（縄文時代、古墳時代/集落跡）

所在地	つくば市谷田部 E16-５　ほか
調査原因	島名・福田坪一体型特定土地区画整理事業
調査年月日	令和５年４月１日～６年３月 31 日
調査面積	38,106 ㎡（9,186 ㎡調査完了、28,920 ㎡遺構確認まで）
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

つくば市南西部、谷田川と西谷田川に挟まれた標高約 22mの台地上に縄文時代中期と古墳時代の集落跡を確認した。縄文時代中期の集落跡は、竪穴建物跡や袋状土坑、円筒状土坑が激しく重複し、長期間にわたり集落が営まれていたことがわかった。古墳時代の集落跡は、４世紀から６世紀前葉にかけて営まれており、各時期の土師器をはじめ、須恵器の高坏や鉄製品などが出土している。

59　村田貝塚（むらたかいづか）　08441006　（縄文時代、近世/集落跡・貝塚）

所在地	稲敷市村田 208－１ほか
調査原因	道路整備工事
調査年月日	令和５年４月３日～６月 26 日
調査面積	272 ㎡
調査主体	稲敷市教育委員会
調査支援	株式会社地域文化財研究所
資料保管	稲敷市教育委員会
報告書名	『村田貝塚　市道（江）2350 号線道路整備工事に伴う発掘調査報告書』令和６年２月９日発行

調査概要

小野川左岸の標高 20～30mの筑波・稲敷台地縁辺部から台地上に立地する。縄文時代中期前葉から後葉にかけての集落跡と阿玉台期の貝層等を確認した。貝層は阿玉台期に形成され、ハマグリなどを主体とした内湾性の貝が多く確認され、阿玉台式土器をはじめ、刺突具や装飾品などの骨角器、貝刃や貝輪・鋏歯部研磨品などの貝製品のほか、土器片錘などの漁撈具が多量に出土した。阿玉台式土器の微細な変化や漁撈活動の在り方を辿ることのできる重要な資料となった。

60　長者山遺跡（ちょうじゃやまいせき）　08441167　（奈良・平安時代/道路跡）

所在地	稲敷市下君山字山王台 3310－２ほか
調査原因	道路整備工事
調査年月日	令和６年３月 11 日～３月 16 日
調査面積	96 ㎡
調査主体	稲敷市教育委員会
調査支援	有限会社毛野考古学研究所茨城支所
資料保管	稲敷市教育委員会
報告書名	『長者山遺跡　市道（江）1-22 号線道路整備工事に伴う埋蔵文化財調査報告書』令和６年３月 29 日発行

調査概要

稲敷台地の東南端、小野川左岸の標高 28～30mの台地平坦部に立地する。奈良・平安時代の溝跡２条が確認され、土師器の坏・甕、須恵器の甕片が出土している。２条の溝は木下良氏が想定した推定古代東海道の東側に近接する東西方向の区画溝と推定され、その後、道路として使用されている。１号溝が道路として整備された時期は９世紀前半と想定される。２号溝の開削時期は不明であるが、８世紀代には使用が開始されていたとみられ、規模や形態から集落内の溝ではなく、官衙的要素が想定される。

61　沼端遺跡（ぬまはしいせき）　08483055　（古墳時代、平安時代、近世 / 集落跡）

所　在　地　つくばみらい市筒戸字沼端 3200 番－３ほか
調 査 原 因　個人住宅建設
調査年月日　令和６年２月１日～２月 22 日
調 査 面 積　58.50 ㎡
調 査 主 体　つくばみらい市教育委員会
調 査 支 援　有限会社毛野考古学研究所
資 料 保 管　つくばみらい市教育委員会
報 告 書 名　『沼端遺跡 －個人住宅建設事業に伴う発掘調査報告書－』 令和６年３月 29 日 つくばみらい市教育委員会

調査概要

　つくばみらい市南端、小貝川西岸に位置する猿島・北相馬台地の河岸段丘下で標高約 18mの丘陵上に立地する。試掘調査で確認された古墳時代後期の竪穴建物跡２軒のうち、土木工事による削平予定箇所に当たる１軒の発掘調査を実施した。当該遺構は焼失家屋であり、炭化材の出土状況から建物構造を類推することが可能である。また、カマドの焚口が一部残存しており、その幅と高さを確認することができた。主な出土遺物は土師器、土製品（土玉）、石製品（磨石）である。

62　実穀神田遺跡（じっこくしんでんいせき）　08443200　（縄文時代、古墳時代～平安時代、江戸時代/集落跡）

所　在　地　阿見町実穀 970 ほか
調 査 原 因　主要地方道土浦稲敷線バイパス整備事業
調査年月日　令和５年４月３日～９月 30 日
調 査 面 積　11,095 ㎡
調 査 主 体　公益財団法人茨城県教育財団
資 料 保 管　公益財団法人茨城県教育財団
報 告 書 名　令和７年度以降刊行予定

調査概要

　阿見町南西部、乙戸川左岸の開析低地及び標高約 24mの台地上に位置する。古墳時代から平安時代の集落跡を確認した。古墳時代の竪穴建物跡は、６世紀中葉の１棟で張り出し部を確認した。７世紀中葉の１棟は地山掘り抜きの長い煙道のカマドで、馬具が出土している。奈良時代の竪穴建物跡は８世紀前葉が中心で、うち１棟の焼失建物跡のカマドは遺存状態が良く、表面をスサ入り粘土で仕上げていた状況を確認できた。

63　羽黒遺跡（はぐろいせき）　08541038　（縄文時代、古墳時代～平安時代、室町時代/集落跡・城館跡）

所　在　地　古河市大字前林字羽黒 2947-６ほか
調 査 原 因　一級河川女沼川河川改修事業
調査年月日　令和５年４月 11 日～８月 31 日
調 査 面 積　2,430 ㎡
調 査 主 体　公益財団法人茨城県教育財団
資 料 保 管　公益財団法人茨城県教育財団
報 告 書 名　令和７年度以降刊行予定

調査概要

　古河市南西部、女沼川左岸の標高約 13mの微高地上に位置する。平成 12・13・16 年度に続く第４次調査である。今回の調査では、縄文時代から室町時代にかけて断続的に土地利用がされていたことを確認した。平安時代の竪穴建物跡からは墨書土器や腰帯具が出土していることから、識字層や役人等の存在が想定される。室町時代では確認した溝跡２条が方形に巡ることから、有力者の館跡と考えられる。

64　東の門西の門城跡（ひがしのかどにしのかどしろあと）（第６次）　08543015　（古墳時代～中世/集落跡・城館跡）

所　在　地　古河市山田字諏訪前 977 番１ほか
調 査 原 因　県営圃場整備事業
調査年月日　令和５年 11 月 27 日～６年３月５日
調 査 面 積　910 ㎡
調 査 主 体　古河市教育委員会
調 査 支 援　株式会社日本窯業史研究所
資 料 保 管　古河市教育委員会
報 告 書 名　令和７年３月刊行予定

調査概要

　市域南東部、大川（旧長井戸沼東枝）右岸、標高約 20m前後の台地縁辺部から平坦部に所在する。本年度は、遺跡範囲北西部に位置する道路敷部分を対象とした。

　調査区内から、竪穴建物跡 21 棟、掘立柱建物跡２棟などを確認し、古墳時代中期～古代の集落跡のさらなる広がりが確認された。当該期の土師器や須恵器などの他に、特出される遺物として、灰釉陶器段皿、銅製鉈尾がある。中世以降の遺構は溝跡１条のみであり、当該期の遺物の出土も少量であった。

65 十文字東遺跡（じゅうもんじひがしいせき） 08541142 （奈良・平安時代 / 集落跡）

所在地	古河市釈迦字十文字 1265 番４ほか
調査原因	道路改良工事
調査年月日	令和６年３月４日～３月 13 日
調査面積	50 ㎡
調査主体	古河市教育委員会
調査支援	株式会社東京航業研究所
資料保管	古河市教育委員会
報告書名	令和７年３月刊行予定

調査概要

市域南部、女沼川(旧釈迦沼)左岸台地平坦面上、旧水海沼につながる小支谷谷頭の北側標高約 14 m前後に立地する。道路改良工事時に、既存道路下で不時発見された竪穴建物跡１棟の周辺を調査した。竪穴建物跡は、南辺が水道管で壊されているものの北にカマドをもつ一辺が４m程の方形と見られる。出土した土師器・須恵器から８世紀前半と考えられ、その他に、奈良・平安時代とみられる土坑１基、ピット１基が確認されたことから、周辺に同時期の小規模な集落跡が想定される。

66 香取前遺跡（かとりまえいせき） 08207054 （縄文時代～近世/集落跡）

所在地	結城市武井 725-１番地ほか
調査原因	県営圃場整備事業
調査年月日	令和５年５月 26 日～６年３月 15 日
調査面積	9,000 ㎡
調査主体	結城市教育委員会
調査支援	株式会社勾玉工房
資料保管	結城市教育委員会
報告書名	令和６年度以降刊行予定

調査概要

結城市南西部、西仁連川東岸の微高地上に位置する。縄文時代から戦国時代の集落跡などを確認し、縄文時代～近世までの遺物が出土した。特筆する成果として、縄文時代では前期の竪穴建物跡を確認した。弥生時代では後期の竪穴建物跡を確認し、管玉が出土した。中世では、馬小屋と考えられる竪穴状遺構や掘立柱建物跡、馬を埋葬した土坑、井戸跡などの遺構を確認し、遺物では焼印や土馬、馬骨などが出土した。

67 結城廃寺跡（ゆうきはいじあと） 08207021 （奈良時代～中世/寺院跡）

所在地	結城市上山川字結城寺北乙 46-２番地ほか
調査原因	史跡整備
調査年月日	令和５年８月１日～６年３月 15 日
調査面積	383.5 ㎡
調査主体	結城市教育委員会
調査支援	国士館大学考古学研究室
資料保管	結城市教育委員会
報告書名	令和６年度以降刊行予定

調査概要

結城市東部、鬼怒川西岸の台地上に位置する。史跡整備に伴う調査を行い、奈良・平安時代の僧坊跡及び鐘楼跡、経蔵跡の掘込地業の範囲を確認した。また、古代及び中世の区画溝を新たに確認した。

各建物跡からは、僧坊跡の掘込地業内から瓦片とともに８世紀前半の土師器が出土した。鐘楼跡・経蔵跡の掘込地業内からは、多量の瓦片が出土した。そのほか特筆する遺物として、新羅系土器が出土した。

68 石倉西遺跡（いしくらにしいせき） 08502057 （縄文時代、奈良・平安時代/集落跡）

所在地	筑西市松原字石倉 2091-１ほか
調査原因	主要地方道筑西つくばバイパス改築事業
調査年月日	令和５年４月 10 日～８月 31 日
調査面積	2,785 ㎡
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

筑西市東部、小貝川と大川に挟まれた標高約 28 mの平坦な低台地上に位置する。昨年度調査区の南側を調査した。奈良・平安時代を中心とする集落跡である。特に奈良時代は小形の竪穴建物跡と大型の竪穴建物跡、掘立柱建物跡で構成される集落であったことがうかがえる。

69　清水遺跡（しみずいせき）　08546054　（縄文時代、古墳時代、平安時代、室町時代/集落跡）

所在地	境町塚崎 2429 ほか
調査原因	境町利根川左岸河川防災ステーション事業
調査年月日	令和５年 11 月１日～６年３月 29 日
調査面積	4,935 ㎡（4,245 ㎡調査終了、690 ㎡遺構確認まで）
調査主体	公益財団法人茨城県教育財団
資料保管	公益財団法人茨城県教育財団
報告書名	令和７年度以降刊行予定

調査概要

境町南西端部、利根川左岸の標高約 13mの低地上に位置する。縄文時代・古墳時代・平安時代の集落跡を確認した。古墳時代の竪穴建物跡からは、炭化材やミニチュア土器が出土していることから、建物を廃絶する際に祭祀的行為が行われたと考えられる。平安時代の竪穴建物跡からは羽口や鉄滓が出土していることから、調査区の周辺で製鉄が行われていた可能性がある。

令和７年３月 31 日発行

茨城の文化財　第 63 集

茨城県教育委員会